

# SC-R5050 / SC-R5050L

## ユーザーズガイド (抜粋版)

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。

## 商標

「EPSON」、 「EPSON EXCEED YOUR VISION」、 「EXCEED YOUR VISION」 は、 セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、 Mac OS、 OS X、 Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、 Windows、 Windows Vista は、 米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、 Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、 米国 YouTube 社 (YouTube,LLC) の商標または登録商標です。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

## インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

# もくじ

|                                    |          |                           |           |
|------------------------------------|----------|---------------------------|-----------|
| <b>マニュアルの見方</b> .....              | <b>5</b> | Web Config の使い方 .....     | 35        |
| マークの意味 .....                       | 5        | 起動方法 ....                 | 35        |
| 安全に関するマーク ....                     | 5        | 終了方法 ....                 | 35        |
| 一般情報に関する表示 ....                    | 5        | ソフトウェアの削除 .....           | 36        |
| 掲載画面 .....                         | 5        |                           |           |
| 掲載イラスト .....                       | 5        | <b>基本の操作</b> .....        | <b>37</b> |
| マニュアルの構成 .....                     | 5        | 適切に印刷するための作業の流れ .....     | 37        |
| 動画マニュアルの見方 .....                   | 5        | メディアセット前のご注意 .....        | 37        |
| PDF マニュアルの見方 .....                 | 6        | メディアセット時のご注意 .....        | 38        |
|                                    |          | メディアのセット方法 .....          | 38        |
| <b>ご使用の前に</b> .....                | <b>7</b> | セットしたメディアの設定 .....        | 44        |
| 各部の名称と働き .....                     | 7        | 自動巻取りユニットの使い方 .....       | 46        |
| 正面 ....                            | 7        | 紙管の取り付け方 ....             | 46        |
| 内部 ....                            | 9        | 外巻きでの巻き取り方 ....           | 48        |
| 背面 ....                            | 10       | 内巻きでの巻き取り方 ....           | 49        |
| インクユニット ....                       | 11       | メディア設定値の最適化（一括自動調整） ..... | 51        |
| 操作パネル .....                        | 13       | 印刷調整時のご注意 ....            | 51        |
| 画面の見方と操作 .....                     | 14       | 一括自動調整の手順 ....            | 52        |
| 画面の見方 ....                         | 14       | 一括自動調整が行えないとき ....        | 52        |
| 操作方法 ....                          | 20       | メディアの交換方法 .....           | 55        |
| シグナルランプの見方 .....                   | 21       | メディア終了時の交換方法 ....         | 55        |
| 添付ソフトウェアの紹介 .....                  | 22       | 使用中のメディアの交換方法 ....        | 56        |
| 提供ソフトウェア ....                      | 22       | 巻き取ったメディアの取り外し方 .....     | 57        |
| 内蔵ソフトウェア ....                      | 23       | 印刷前の確認 .....              | 58        |
| Epson Edge Dashboard の使い方 .....    | 24       | 印刷途中に設定を変更する .....        | 59        |
| 起動方法 ....                          | 24       | 各ヒーターの温度を変更したいとき ....     | 59        |
| 本機の登録 ....                         | 24       | バンディングを補正したいとき ....       | 59        |
| 本機の状態の確認と管理 ....                   | 25       | 印刷可能領域 .....              | 61        |
| 終了方法 ....                          | 26       |                           |           |
| Epson Edge Print の使い方 .....        | 26       | <b>メンテナンス</b> .....       | <b>63</b> |
| メイン画面の構成 ....                      | 26       | メンテナンスの種類と実施時期 .....      | 63        |
| 使用メディアに適切な設定で印刷する（EMX を使った印刷） .... | 28       | 定期清掃箇所と実施時期 ....          | 63        |
| 大きな画像を分割して印刷する（タイリング） ....         | 31       | 消耗品の箇所と交換時期 ....          | 64        |
| EPSON Software                     |          | その他のメンテナンス ....           | 65        |
| Updater の使い方 .....                 | 34       | 準備するもの .....              | 66        |
| 更新されたか確認してアップデート ....              | 34       | 作業時のご注意 .....             | 66        |
| アップデートの通知を受け取る ....                | 35       | 定期清掃の仕方 .....             | 67        |

|                      |    |
|----------------------|----|
| 毎日の清掃 ....           | 67 |
| 洗淨液の使い方 ....         | 68 |
| プリントヘッド周辺の清掃 ....    | 68 |
| 乾燥防止キャップの清掃 ....     | 70 |
| 吸引キャップの清掃 ....       | 73 |
| フラッシング用吸収材周辺の清掃 .... | 74 |
| メディアクリーナーの清掃 ....    | 76 |
| インクパックのかくはんと交換 ..... | 77 |
| かくはんの方法 ....         | 77 |
| 交換方法 ....            | 78 |
| 廃インク処理 .....         | 80 |
| 準備と交換時期 ....         | 80 |
| 廃インクカウンターについて ....   | 80 |
| 廃インクボトルの交換 ....      | 80 |
| 使用済み消耗品の処分 .....     | 81 |

---

## 付録 ..... 82

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 消耗品とオプション .....           | 82 |
| インクパック ....               | 82 |
| メンテナンス用品 ....             | 83 |
| 使用可能なメディア .....           | 84 |
| パス数別の印刷長とジョブの作り方 .....    | 85 |
| パス数別の印刷長一覧 ....           | 85 |
| ジョブの作り方 ....              | 85 |
| システム条件 .....              | 86 |
| Epson Edge Dashboard .... | 86 |
| Epson Edge Print ....     | 87 |
| Web Config ....           | 87 |
| 仕様一覧 .....                | 88 |
| サービス・サポートのご案内 .....       | 90 |
| 各種サービス・サポートについて ....      | 90 |
| 保守サービスのご案内 ....           | 90 |
| お問い合わせ先 .....             | 92 |
| 製品に関する諸注意と適合規格 .....      | 93 |

# マニュアルの見方

## マークの意味

### 安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。        |
|  <b>注意</b> | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。 |

### 一般情報に関する表示

|   |   |
|---|---|
|  <b>重要</b> | 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。 |
|  <b>参考</b> | 補足説明や参考情報を記載しています。  |
|            | 関連する内容の参照先を示しています。  |
| [プリンター設定]   | 操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[ ]で囲んで示します。                                |
| [OK] ボタン  | 操作パネルのボタン名称を示しています。   |

## 掲載画面

- 本書に掲載している画面は実際の画面と若干異なることがあります。
- 本書に掲載指定の Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。

## 掲載イラスト

本書に掲載しているイラストは、特に指定がない限り SC-R5050 です。

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

## マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。PDF マニュアルは、Adobe Acrobat Reader やプレビュー (Mac) などでご覧ください。

|                          |   |
|--------------------------|---|
| セットアップガイド (冊子)           | 本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。   |
| ユーザーズガイド (抜粋版) (本書)      | 日常使用するうえで必要な、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。                           |
| オンラインマニュアル               |   |
| ユーザーズガイド (PDF)           | 本機の操作方法や日常お使いいただく上で必要な事項、メンテナンス作業、困ったときの対処方法など本機の使い方全般を説明しています。 |
| こんなときには                  | よくあるご質問や本機を効率よく利用するためのヒントを紹介しています。                              |
| Epson Video Manuals (動画) | メディアのセットやメンテナンスの方法を動画でご覧になれます。                                  |
| ネットワークガイド (PDF)          | ネットワークプリンターとして使用するための情報を記載しています。                                |

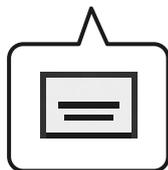
## 動画マニュアルの見方

メディアのセットや基本的なメンテナンス作業を紹介した動画マニュアルを YouTube にアップしています。動画マニュアルは、『オンラインマニュアル』のトップページで [Epson Video Manuals] をクリックするか、以下の青字の部分をクリックしてご覧いただけます。

### [動画マニュアル](#)

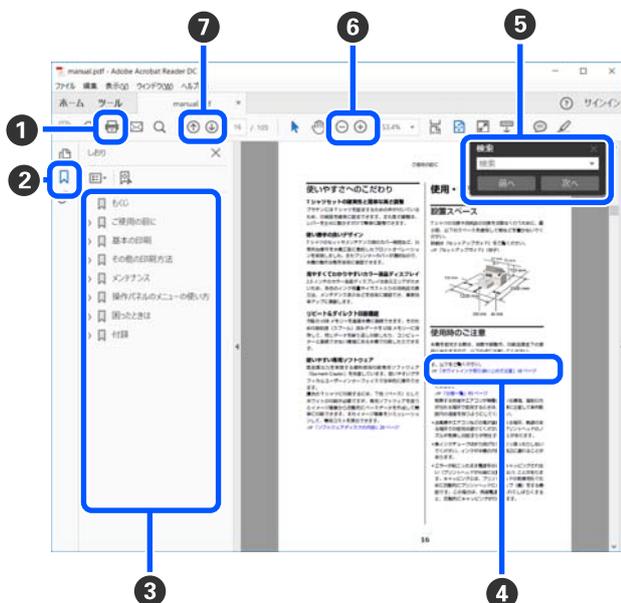
スマートフォンやタブレット端末からは、本機に貼られた QR コードラベルからアクセスしてご覧いただけます。

なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



## PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときをクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを開いたり表示したりします。

- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。

- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。元のページに戻るときは、以下のように行います。

**Windows の場合**

【Alt】 キーを押したまま【←】 キーを押します。

**Mac の場合**

【command】 キーを押したまま【←】 キーを押します。

- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

**Windows の場合**

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

**Mac の場合**

【編集】メニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

**Windows の場合**

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーカーズーム] を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

**Mac の場合**

【表示】メニュー - 【ズーム】 - 【マーカーズーム】の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

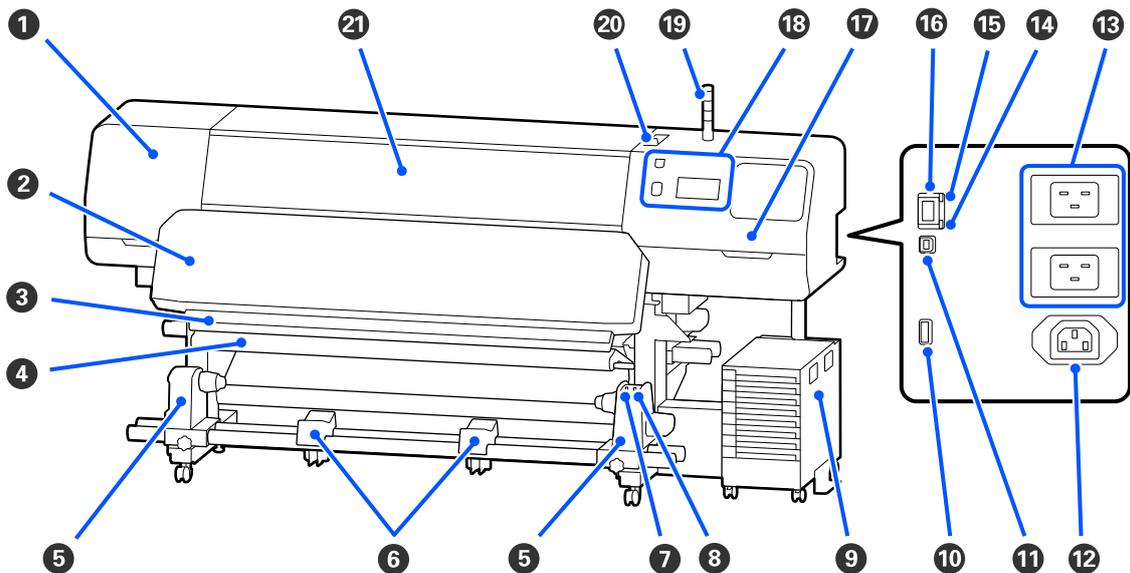
- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

# ご使用前に

## 各部の名称と働き

### 正面

SC-R5050 のイラストで説明しています。



#### ① メンテナンスカバー (左)

プリントヘッド周辺を清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 68 ページ

#### ② 硬化ヒーター

印刷後のインクを硬化・定着させます。硬化させない状態の印刷物に触るとインクで手が汚れます。

#### ③ カッター溝

メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。

☞ 「使用途中のメディアの交換方法」 56 ページ

#### ④ テンションバー

メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

☞ 「自動巻き取りユニットの使い方」 46 ページ

#### ⑤ メディアホルダー

メディア巻き取り用の紙管を装着します。左右両側にあります。

☞ 「自動巻き取りユニットの使い方」 46 ページ

#### ⑥ メディアサポート

巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

#### ⑦ Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Off にすると巻き取りません。

#### ⑧ Manual スイッチ

手で巻き取るときに操作するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

#### ⑨ インクユニット

☞ 「インクユニット」 11 ページ

#### ⑩ Option ポート

インクユニットに付属の接続ケーブルを接続します。

☞ 「セットアップガイド」 (冊子)

#### ⑪ USB ポート

USB ケーブルでコンピューターと接続します。

#### ⑫ 電源コネクタ #3

インクユニットに付属の電源コードを接続します。

☞ 「セットアップガイド」 (冊子)

### ⑬ 電源コネクタ #1/電源コネクタ #2

プリンターに付属の電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

### ⑭ データランプ

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 接続状態です。

点滅 : 接続状態でデータ受信中です。

### ⑮ ステータスランプ

ネットワークの通信速度が色で示されます。

赤色 : 100Base-TX

緑色 : 1000Base-T

### ⑯ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル (カテゴリー 5e 以上) をお使いください。

### ⑰ メンテナンスカバー (右)

ワイパーユニットの交換やキャップ周辺の清掃をするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

[☞ 「乾燥防止キャップの清掃」 70 ページ](#)

[☞ 「吸引キャップの清掃」 73 ページ](#)

### ⑱ 操作パネル

[☞ 「操作パネル」 13 ページ](#)

### ⑲ シグナルランプ

本機の状態を 3 色のランプの点灯/点滅でお知らせします。全てのランプが消灯しているときは、本機の電源が入っていません。

ランプの色の基本的な意味は以下の通りです。



赤 : エラーのため印刷できない状態です。

黄 : 警告のメッセージがあるときやメンテナンス・ポーズなどで本機を操作中です。

緑 : 印刷可能な状態で待機中か印刷中です。

ランプの色と点灯/点滅の組み合わせで、本機の状態を詳細にお知らせします。

シグナルランプの見方は以下をご覧ください。

[☞ 「シグナルランプの見方」 21 ページ](#)

### ⑳ メディアセットレバー

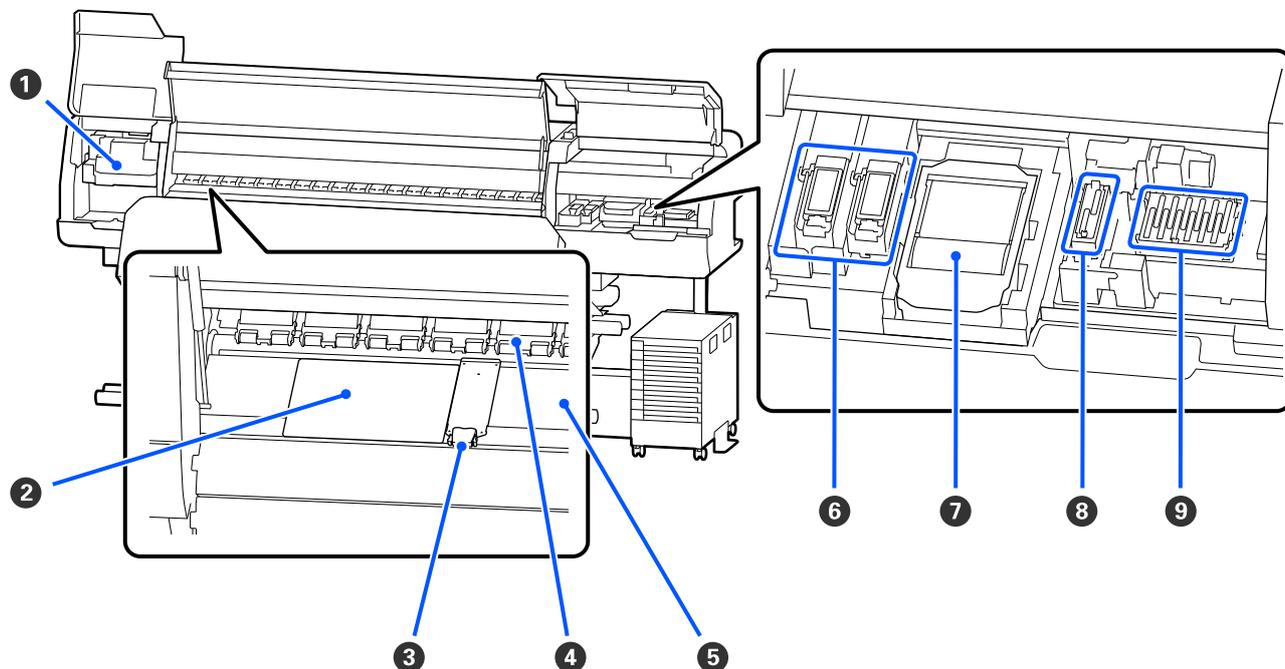
メディアをセットしたらメディアセットレバーを正面側に倒してメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディアセットレバーを背面側に倒してメディアを解放します。

### ㉑ プリンターカバー

メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

## 内部

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧ください。定期的に清掃や交換をしてください。



### ① プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。操作パネルの画面メッセージに従って清掃してください。

☞ [「プリントヘッド周辺の清掃」 68 ページ](#)

### ② 保温板

プラテンヒーターの熱ムラを防止して印刷品質の低下を予防します。セットしたメディアの幅が 54 インチ以下のときは、必ず保温板をセットしてください。

### ③ メディア押さえ板

メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り付けて印刷します。

☞ [「メディアのセット方法」 38 ページ](#)

### ④ 加圧ローラー

印刷時にメディアを上から押さえます。メディアセットレバーの操作と連動して上がったり、下がったりします。

### ⑤ プラテンヒーター

インクの定着を安定させます。毛羽ゴミやホコリ、インクが付着していると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となるので、毎日清掃してください。

☞ [「毎日の清掃」 67 ページ](#)

### ⑥ フラッシング用吸収材

フラッシング時にカラーインクとオペイマイザー（OP）がここに排出されます。右側が OP 用、左側がインク用です。定期清掃時に確認して汚れていたら清掃してください。

☞ [「フラッシング用吸収材周辺の清掃」 74 ページ](#)

### ⑦ ワイパーユニット

プリントヘッドのノズル面に付いたインクを拭き取ります。ワイパーユニットは消耗品です。操作パネルの画面メッセージに従って交換してください。

☞ [オンラインマニュアルから「ユーザーズガイド」をご覧ください。](#)

### ⑧ 吸引キャップ

このキャップでプリントヘッドのノズルからインクを引き出します。操作パネルの画面メッセージに従って清掃してください。

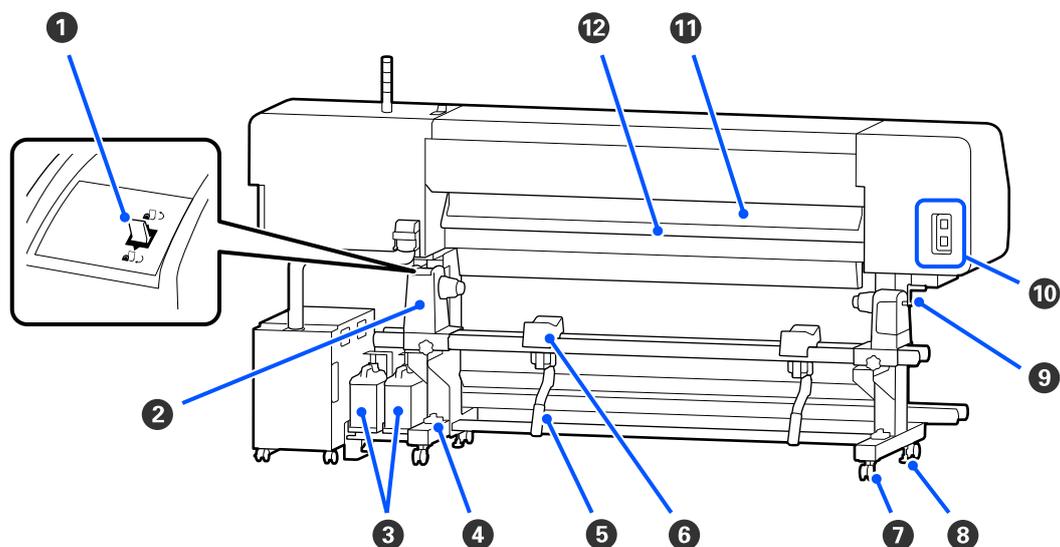
☞ [「吸引キャップの清掃」 73 ページ](#)

### ⑨ 乾燥防止キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。操作パネルの画面メッセージに従って清掃してください。

☞ [「乾燥防止キャップの清掃」 70 ページ](#)

## 背面



### ① 駆動スイッチ

メディア交換時にメディアを巻き戻します。

### ② メディアホルダー

メディアを装着します。左右両側にあります。

### ③ 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。カラーインク用（左）とオブティマイザー（OP）用（右）に区分されています。

操作パネルの画面のメッセージに従って新しい廃インクボトルと交換してください。

☞ 「[廃インク処理](#)」 80 ページ

### ④ 水準器

じゅうたん張りや傾いた床に設置する際に、本機の水平状態を確認します。左右両側にあります。

☞ 『[セットアップガイド](#)』（冊子）

### ⑤ リフトレバー

メディアをメディアホルダーに装着する際に重いと感じるときは、このレバーを使うと負担なくメディアをメディアホルダーの位置まで持ち上げられます。左右両側にあります。

### ⑥ メディアサポート

メディアをメディアホルダーに装着するとき、一旦ここに置いてから装着作業をします。左右両側にあります。

### ⑦ キャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は、キャスターを常にロックした状態でお使いください。

### ⑧ アジャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。じゅうたん張りや傾いた床に設置する際に、水準器で確認して本機を水平状態に調整します。設置時に水平調整を行ったときは、本機を移動する際には必ずアジャスターをキャスターよりも上げてから移動してください。

☞ オンラインマニュアルから『[ユーザーズガイド](#)』をご覧ください。

### ⑨ ハンドル

メディアを右側のメディアホルダーに装着後、ハンドルを回すとメディアホルダーが押し込まれメディアの紙管に加圧します。

### ⑩ 電源コネクター #4/電源コネクター #5

硬化ヒーターに付属の電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

### ⑪ メディアクリーナー

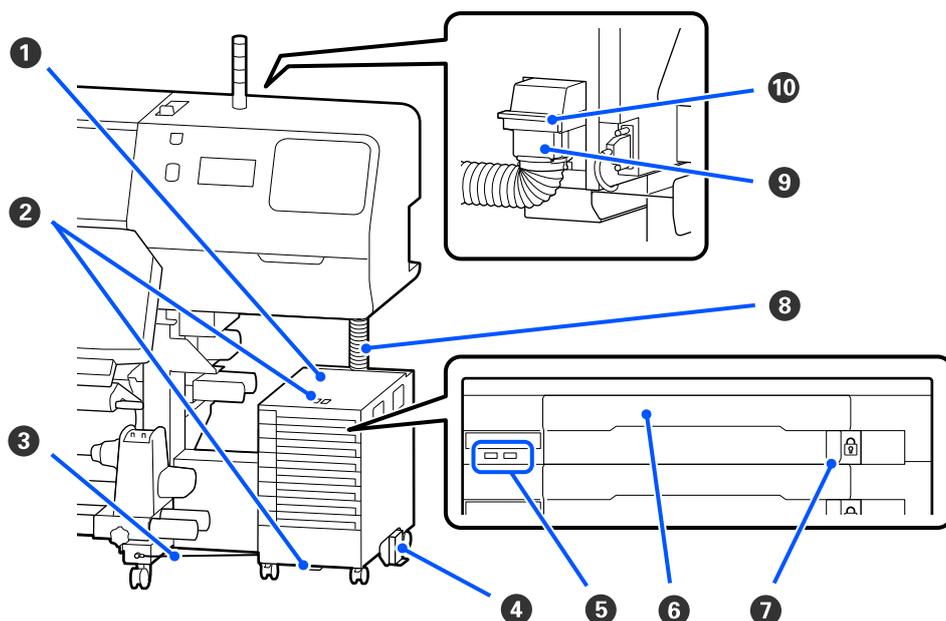
メディア表面の毛羽ゴミ、ホコリを除去します。

☞ 「[メディアクリーナーの清掃](#)」 76 ページ

### ⑫ プリヒーター

印刷前にメディアを予熱して、印刷部が急激に温度変化しないようにします。

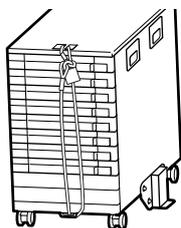
## インクユニット



### ① インクユニット

本機にインクを供給します。全てのインクパケットレイにインクパックを装着してください。

### ② セキュリティーワイヤー取り付け部



インクパックの無断持ち出しを防止するため、市販のセキュリティーワイヤーを上下の取り付け部に通して取り付けます。

### ③ 固定ワイヤー

必ず、固定ワイヤーを本機の脚の正面と背面にネジで固定してお使いください。固定ワイヤーでつながずに、インクユニットを本機に接続した状態でインクユニットを動かすと、インクチューブが破損するおそれがあります。

### ④ 転倒防止板

インクユニットの転倒防止のため、必ず両側に取り付けしてお使いください。

### ⑤ LED ランプ

対象のインクパケットレイに装着しているインクパックやインクユニットの状態が以下の通り点灯/点滅で示されます。

青色 点灯 : 本機にインクを供給中です。インクパケットレイを引き出さないでください。

青色 点滅 : インクパックのかくはん時期です。インクパケットレイを引き出してかくはんしてください。

☞ [「かくはんの方法」 77 ページ](#)

オレンジ 点灯/点滅 : エラーまたは警告が生じています。点灯か点滅かは、エラー/警告の内容によって異なります。エラー/警告の内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。必要に応じてインクパケットレイを引き出せます。

### ⑥ インクパケットレイ

ラベルで示す色のインクパックを装着します。全てのインクパケットレイをインクユニットにセットしてください。

**7 ロックスイッチ**

インクパケットレイを引き出すときは、ロックスイッチを右に移動してロックを解除します。インクパケットレイをセット後はロックスイッチを左に移動してロックします。

**8 インクチューブ**

インクパックから本機にインクを供給するチューブです。

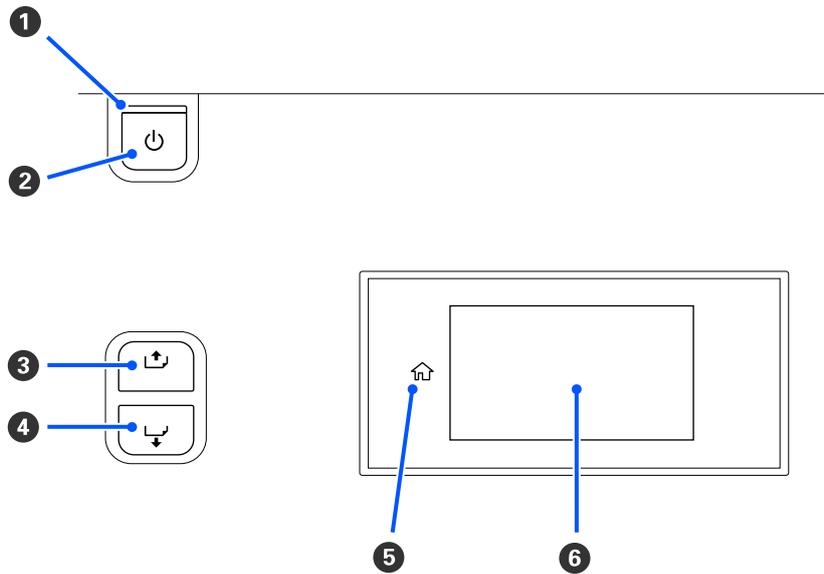
**9 インクチューブコネクター**

インクチューブと本機を接続するコネクターです。本機輸送時以外は常に接続した状態でお使いください。

**10 コネクターロックレバー**

インクチューブコネクターをロックしています。セットアップ時にロックした以降は、操作しないでください。

## 操作パネル



### ① 点ランプ（電源ランプ）

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 電源が入っています。

点滅 : データ受信中または本機の電源を切る、プリントヘッドのクリーニングなどの処理中です。

消灯 : 電源が入っていません。

### ② 【⏻】ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入れたり、切ったりします。

### ③ 【↶】ボタン（巻き戻しボタン）

メディアセットレバーの状態によって、動作が以下の通り異なります。

- メディアセットレバーを正面側に倒した状態のとき

ボタンを押すとメディアが巻き戻ります。メディアの先端が印刷開始位置に達すると巻き戻しが停止します。一旦ボタンから指を離して再度押すと巻き戻しが再開します。ボタンを押し続けると、巻き戻し速度が速くなります。短く1押しすると0.4 mm ずつ巻き戻せるのでメディアの位置合わせの微調整時に便利です。

- メディアセットレバーを背面側に倒した状態のとき

印刷面外巻きのメディアをセットしているときにボタンを押すとメディアが巻き戻ります。

### ④ 【↷】ボタン（送りボタン）

メディアセットレバーの状態によって、動作が以下の通り異なります。

- メディアセットレバーを正面側に倒した状態のとき

ボタンを押すとメディアが送られます。ボタンを押し続けると、送り速度が速くなります。短く1押しすると0.4 mm ずつメディア送りできるのでメディアの位置合わせの微調整時に便利です。

- メディアセットレバーを背面側に倒した状態のとき

印刷面内巻きのメディアをセットしているときにボタンを押すとメディアが巻き戻ります。

### ⑤ 家（ホーム）

メニュー操作時など（家点灯時）にホーム画面に戻るときに押します。

本機の状態により 家（ホーム）が使えないときは、消灯します。

### ⑥ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。📖 [「画面の見方と操作」14 ページ](#)

# 画面の見方と操作

## 画面の見方

ここでは、以下の2つの画面の見方を説明します。

### ホーム画面

本機の現在の状態を確認できます。

### 始動時調整画面

主要な調整値を手早く変更できます。新規のメディアを使い始めた当初などに安定した印刷品質に至るまで調整を頻繁に繰り返すようなときに便利です。

ホーム画面と始動時調整画面は  を押すたびに切り替わります。

## ホーム画面



### 1 (メニュー)

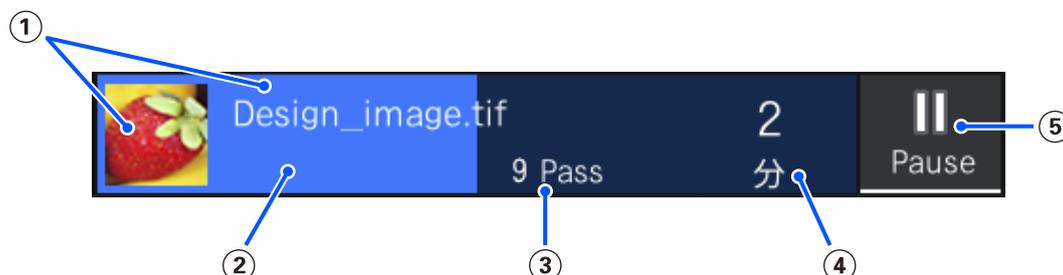
設定メニューが表示されます。

 オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。

## ② 状態表示エリア

本機の状態や警告の通知が表示されます。本エリアには最新の警告通知のみが表示されます。全ての警告通知を確認するときは **i** を押して確認できます。

印刷ジョブを受け付けると、表示内容が下図のように変わります。表示の見方は以下の通りです。



- ① 印刷中の画像のプレビューとファイル名を示しています。
- ② 印刷の進捗を示すプログレスバーです。
- ③ 印刷パス数を示しています。
- ④ 印刷完了までの推定時間です。ヒーターが設定温度に達するまでの加熱時間や印刷後の硬化時間、設定によってはプリントヘッドの暖機時間なども含まれます。
- ⑤ ポーズ(一時停止)ボタンです。  
ボタンを押して、すぐに印刷を停止する（[即時停止]）/現在印刷中のページ（単ページのときはジョブ）を印刷後に停止する（[ページ間停止]）を選択して停止します。一時停止中画面の[再開]を押すとポーズ状態が解除され印刷を再開します。ただし[即時停止]を選択したときは、印刷再開時に印刷の乱れが生じることがあります。  
ヒーターが設定温度に達するまでのウォーミングアップ中は、[Cancel] ボタンになります。ボタンを押すとジョブがキャンセルされます。調整パターン印刷時のウォーミングアップ中は[開始] ボタンとなり、ヒーター温度が低くてもボタンを押すと印刷を開始できます。

## ③ メディア情報

現在選択中の登録メディアの番号・名称と現在セットしているメディアの幅が表示されます。[残量管理] を [オン] に設定しているときは、セットしているメディアの残量も表示されます。このエリアを押すと設定メニューの [メディア設定] が表示され、別の登録メディア番号に変更したり、選択している登録メディア番号の設定を変更したりできます。

## ④ 消耗品の状態

インクパックなどの消耗品の残量の目安や状態が表示されます。このエリアを押すと、より詳細な残量の目安や各消耗品の型番を確認できます。

SC-R5050L をお使いのときは、このエリアを押すと以下の確認や設定が行えます。

- 現在インクを供給している（稼働している）インクパックがどちらかの確認
- 非稼働のインクパックの状態の確認
- 稼働インクパックの手動切り替え

各表示の見方は、以下の通りです。



### インクパックの状態

インク残量の目安を示しています。インク残量が少なくなるとバーが低くなります。バーの下のアルファベットはインク色の略号です。略号とインク色の対応は以下の通りです。

- BK : ブラック
- Y : イエロー
- M : マゼンタ

## ご使用前に

- C : シアン
- LM : ライトマゼンタ
- LC : ライトシアン
- OP : オプティマイザー
- ML : メンテナンスリキッド

インクパックの状態により、以下の通りバーの部分の表示が変わります。



： インクが残り少ないため、新しいインクパックの準備が必要です。  
SC-R5050L をお使いのときは、もうすぐインク供給が自動で同色のもう一方のインクパックに切り替わりますので、切り替わる方のインクパックにインク残量が十分あることを確認してください。



： インク残量が限界値以下です。新しいインクパックと交換してください。  
SC-R5050L をお使いのときは、インク残量が限界値以下になると、インク供給が自動で同色のもう一方のインクパックに切り替わります。



： インクパックのかくはん時期です。インクユニットの LED ランプが青色点滅しているときはインクパケットレイを引き出してかくはんできます。青色点灯時はインクパケットレイは引き出さないでください。



： SC-R5050L をお使いのときのみ表示されます。  
インクパックがセットされていないインクパケットレイをインクユニットに取り付けています。インクユニットが故障するおそれがありますので、早急にインクパックをセットしてください。



： SC-R5050L をお使いのときのみ表示されます。  
インクユニットの全てのロックスイッチがロックされていることを確認して画面の指示に従ってください。



： クリーニングインクパックが装着されています。



### 廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安を示しています。空き容量が少なくなるとバーが低くなります。バーの下のアルファベットは廃インクボトルの識別略号です。略号の意味は以下の通りです。



： カラーインク用廃インクボトル



： オプティマイザー（OP）用廃インクボトル

廃インクボトルの状態により、以下の通りバーの部分の表示が変わります。



： 廃インクボトルがもう少しで満杯になります。新しい廃インクボトルの準備が必要です。



### ワイパーユニットの状態

ワイパーユニットの残量の目安を示しています。残量が少なくなるとバーが低くなります。



： ワイパーユニットの残量が少ないため、新しいワイパーユニットの準備が必要です。

## 5 ヒーター温度

各ヒーターの設定している温度が表示されています。左からプリヒーター、プラテンヒーター、硬化ヒーターの順です。各ヒーターの温度状態により数値の下のアイコンが以下の通り変わります。

 : 加熱中です。

 : 冷却中です。

## 6 予熱開始/解除

各ヒーターはジョブが送られると加熱を開始し、全てのヒーターが設定温度に達すると印刷を開始します。

〔予熱開始〕を押すと各ヒーターは予熱を開始して、プリヒーターとプラテンヒーターは常時設定温度を維持します。硬化ヒーターは待機時温度を維持します。

事前に予熱状態にしていると、ジョブが送られたときに短時間で印刷を開始できます。

このエリアを押すたびに、全ヒーターの予熱の開始と解除が行えます。なお、設定メニューの〔ヒーターオフ移行時間設定〕で設定している時間が経過すると全てのヒーターがオフになります。印刷ジョブが送られると加熱を開始しますが、必要に応じて〔予熱開始〕を押してください。

また、設定メニューの〔ヒーター温度〕の〔ヒーター〕を〔オフ〕に設定しているときは、〔予熱開始〕を押しても無効となり予熱は開始されません。ジョブが送られても〔オフ〕に設定しているヒーターは過熱しません。〔ヒーター〕の設定は各ヒーターごとに設定できます。

## 7 プラテンギャップ

現在のメディア情報 (3) のプラテンギャップの設定値が表示されます。このエリアを押すと設定画面が表示され値を変更できます。

## 8 保守/定期クリーニングの実施時期予告

保守/定期クリーニングが実施されるまでの残りの印刷時間が表示されます。

ジョブの印刷時間を予測し、表示されている時間より長い印刷時間になるときは印刷開始前に自動でプリントヘッドのクリーニングが実施されます。

必要に応じてこのエリアを押して任意にプリントヘッドのクリーニングが行えます。

なお、印刷中のプリントヘッドの周辺温度やインク吐出状態によっては、プリントヘッドを保護するために実施時期が早まることがあります。

また、電源を入れ直すと予告表示にかかわらず保守クリーニングが実施されることがあります。

## 9 (プリンター状態)

警告通知があるときは、 のように右肩に  が付きます。このエリアを押して表示される画面で〔メッセージ一覧〕を押すと、警告通知の一覧画面が表示されます。一覧で各項目を押すと、対処方法や詳細情報を確認できます。警告に応じて対処したものは、一覧から消去されます。

## 10 (環境温度・湿度)

現在の温度・湿度が表示されます。このエリアを押すと、本機の使用環境温度・湿度の範囲を確認できます。適切な環境条件下で使用しないと正しく印刷できないことがあります。

## 11 / (接続状態切り替え)

本機とコンピューターの接続状態がオンかオフを以下の通りアイコンで示します。

接続オン : 

接続オフ : 

このエリアを押すたびに接続オン/接続オフが切り替わります。

例えば、プリントヘッド周辺の清掃を行った後でノズルチェックパターンを印刷したり、プリントヘッドのクリーニングをしたりと、いくつかのメンテナンス作業を続けて行いたいときなどは、各作業の合間にジョブが受け付けられるのを防ぐために、事前に接続オフにしてからメンテナンス作業を行うと効率よく作業を完了できます。

なお、本機の動作状態によっては切り替えられないときがあります。この場合はアイコンの色がグレーに変わって(グレーアウト)機能が無効なことを示します。

12  (画面切り替え)

このエリアを押すたびに、ホーム画面と始動時調整画面が切り替わります。

13  (内部照明)

内部照明の点灯、消灯を切り替えます。内部照明がついているときに、このエリアを押すと消灯します。消えているときに押すと点灯します。

なお、本機の動作状態によっては点灯/消灯できないことがあります。この場合はアイコンの色がグレーに変わって(グレーアウト)機能が無効なことを示します。

14  (カット位置にメディア送り)

現在選択している登録メディアの設定によっては、印刷完了後の印刷終端がプラテン上にあります。

印刷終端をカット位置まで送りたいときは、このエリアを押してカット位置まで送ることができます。なお、印刷終端がカット位置にある状態でカット位置まで送る操作をすると、プラテン上の印刷開始位置がカット位置まで送られます。

## 始動時調整画面

以下では、ホーム画面と異なる部分のみを説明します。各調整は、印刷途中でも値を変更できます。調整した結果は現在選択しているメディア設定に登録されます。



1 乾燥時間の調整

「乾燥動作」が「乾燥時間設定に従う」に設定されているときには、現在選択している登録メディア番号の選択されているパスモードに設定されている「乾燥時間」の設定値が表示されます。以下を押して値を直接変更できます。

 : 表示時間より短くしたいとき

 : 表示時間より長くしたいとき

2 プラテンギャップの調整

現在のメディア設定のプラテンギャップの設定値が表示されます。設定値を変更したいときは、このエリアを押して変更します。

3 メディア送り補正

印刷途中でバンディングを補正したいときは、このエリアを押してメディア送り補正を行います。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング(濃い色のスジ)が発生しますので、+方向に補正します。

逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング(白または薄い色のスジ)が発生しますので-方向に補正します。値は送り量の何% +または-に補正しているかを表しています。

#### ④ ヒーター温度の調整

を押すとプリヒーター、プラテンヒーター、硬化ヒーターの設定温度を変更できます。セットしているメディアや現在の印刷パス数によっては硬化ヒーターの温度が低いとインクが硬化されず巻き取り時にメディア裏面がインクで汚れる原因となります。逆に高すぎるとメディアの縮み、波打ちの原因となります。プラテンヒーターの温度を上げすぎると、ノズルの目詰まりが発生することがあります。温度を変更する際は、適切な温度になるように調整してください。

#### ⑤ 予熱開始/解除

各ヒーターはジョブが送られると加熱を開始し、全てのヒーターが設定温度に達すると印刷を開始します。

〔予熱開始〕を押すと各ヒーターは予熱を開始して、プリヒーターとプラテンヒーターは常時設定温度を維持します。硬化ヒーターは待機時温度を維持します。

事前に予熱状態にしていると、ジョブが送られたときに短時間で印刷を開始できます。

このエリアを押すたびに、全ヒーターの予熱の開始と解除が行えます。なお、設定メニューの〔ヒーターオフ移行時間設定〕で設定している時間が経過すると全てのヒーターがオフになります。印刷ジョブが送られると加熱を開始しますが、必要に応じて〔予熱開始〕を押してください。

また、設定メニューの〔ヒーター温度〕の〔ヒーター〕を〔オフ〕に設定しているときは、〔予熱開始〕を押しても無効となり予熱は開始されません。ジョブが送られても〔オフ〕に設定しているヒーターは過熱しません。〔ヒーター〕の設定は各ヒーターごとに設定できます。

## 操作方法

ホーム画面、始動時調整とも黒地のエリアは表示エリアで押しても反応しません。グレーのタイル状のエリアは操作エリアで押すと画面が遷移したり値が変わったりします。

画面上部の各機能ボタンは、本機の動作状態によっては機能を実行できないときがあります。機能を実行できないときは、アイコンの色がグレーに変わり（グレーアウト）ボタンを押しても反応しません。



操作エリアは、押して操作します。しかし、以下のようにスクロールバーが表示されているときは指を上下に動かして（スライド）画面をスクロールできます。スクロールはスクロールバー上下のアイコンを押して行うこともできます。



メッセージの画面などに以下の「操作方法を見る」ボタンがあるときは、このボタンを押して操作方法のガイドを見ることができます。



## シグナルランプの見方

本機の状態を3色のランプの点灯/点滅でお知らせします。ランプの色は上から順に赤、黄、緑です。赤や黄が点灯/点滅しているときは、本機にエラーや警告が生じています。エラーや警告の内容は操作パネルの画面で確認できます。

| ランプの状態 |    |       | 本機の状態   |
|--------|----|-------|---|
| 赤      | 黄  | 緑     |   |
| 消灯     | 点滅 | 消灯    | 起動/停止動作中  |
| 消灯     | 消灯 | 点灯    | 待機中(印刷待ち状態)   |
| 消灯     | 消灯 | 点滅    | 印刷中   |
| 消灯     | 点灯 | 点灯/点滅 | 消耗品の交換時期が間近   |
| 消灯     | 点灯 | 消灯    | 印刷開始不可  |
| 点灯     | 消灯 | 消灯    | エラー状態<br>エラーの内容は、画面で確認してください。   |
| 点滅     | 消灯 | 消灯    | 解除できないエラー状態<br>画面のメッセージを確認して、エプソンソリューションコールセンターに連絡してください。<br>エプソンソリューションコールセンターの連絡先 ☎ <a href="#">「お問い合わせ先」</a><br><a href="#">92 ページ</a> |
| 消灯     | 点滅 | 消灯    | メンテナンス作業中   |
| 消灯     | 点灯 | 点灯    | ポーズ中(印刷停止中)   |
| 消灯     | 点灯 | 点滅    | ポーズ中(印刷中)   |
| 消灯     | 点灯 | 消灯    | 接続オフ (ジョブ受付不可)  |

## 添付ソフトウェアの紹介

本機には、以下の CD とソフトウェアパッケージが付属しています。

- ソフトウェアディスク

収録されているソフトウェアの内容は、下表をご覧ください。

- Epson Edge Print (ソフトウェアパッケージ)

Epson Edge Print は、わかりやすい操作で容易に使えるソフトウェア RIP です。

インターネットを介してインストールします。インストール方法は、『セットアップガイド』(冊子) をご覧ください。

## 提供ソフトウェア

提供ソフトウェアは下表の通りです。

Windows 用は付属のソフトウェアディスクに収録されています。Mac やディスクドライブ非搭載のコンピューターをお使いのときは <http://epson.sn> からインストールしてください。

各ソフトウェアの詳細は、各ソフトウェアのオンラインヘルプ、または『ネットワークガイド』(オンラインマニュアル) を参照してください。

**参考**

プリンタードライバーは提供していません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。本機には、エプソン製ソフトウェア RIP 「Epson Edge Print」が別 CD で付属しています。  
エプソンのホームページでは、本機対応のプラグインソフトウェアなどを紹介しています。  
<https://www.epson.jp>

| ソフトウェア名称                   | 概要  |
|----------------------------|---|
| Epson Edge Dashboard *     | <p>インストール後は常駐ソフトとして働きます。Epson Edge Print に印刷設定ファイル (EMX ファイル) を引き渡したり更新したり、登録プリンターのステータスを通知したりします。このほかに対応するエプソンプリンターに対して以下の管理が行えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネットでエプソンが提供する、以下の様々な情報をスムーズに取得いただけます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 印刷設定ファイル (EMX ファイル)</li> <li>• プリンターファームウェアの更新情報 (Epson Edge Dashboard から簡単にファームウェアのアップデートが行えます)</li> <li>• 付属のソフトウェアディスクやセットアップナビからインストールしたソフトウェアとマニュアルの更新情報 (更新情報が届いたら EPSON Software Updater を起動して、簡単にアップデートが行えます。)</li> <li>• エプソンからのお知らせ</li> </ul> </li> <li>• Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。</li> <li>• コンピューターから簡単にメディア設定値の設定や変更をしてプリンターに書き出せます。</li> </ul> <p>🔗 <a href="#">「起動方法」 24 ページ</a><br/>🔗 <a href="#">「終了方法」 26 ページ</a></p> |
| EPSON Software Updater     | <p>インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルや Epson Edge Dashboard、Epson Edge Print もアップデートできます。</p>   |
| Epson 通信ドライバー (Windows のみ) | <p>Epson Edge Dashboard、Epson Edge Print 使用時やコンピューターと本機を USB 接続して使用するときは、Epson 通信ドライバーが必要です。必ずインストールしてください。</p>   |
| EpsonNet Config SE         | <p>コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。</p>  |

\* インターネットからソフトウェアをダウンロードしてインストールします。コンピューターをインターネットに接続してインストールしてください。

## 内蔵ソフトウェア

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。

| ソフトウェア名称機能 | 機能   |
|------------|--|
| Web Config | ネットワーク管理者向けのソフトウェアです。<br>ネットワークセキュリティの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。<br><a href="#">🔗 「Web Config の使い方」 35 ページ</a> |

# Epson Edge Dashboard の使い方

ここでは、Epson Edge Dashboard の基本的な使い方を説明します。ただし付属のソフトウェアは、随時バージョンアップを行い利便性の向上や機能強化をしています。最新の詳細情報は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

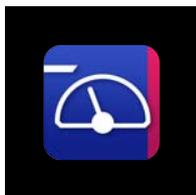
## 起動方法

Epson Edge Dashboard は Web アプリケーションです。

### 1 次のどちらかの方法で起動します。

#### Windows

- デスクトップのタスクバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックして [Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] の順にクリックします。

#### Mac

- デスクトップのメニューバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックして [Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



#### Linux

- [ Applications ] - [ Other ] - [ Epson Edge Dashboard ] の順にクリックします。

### 2 Epson Edge Dashboard が起動します。

## 本機の登録

Epson Edge Dashboard は登録したプリンターに対して監視・管理やメディア設定のコピーができます。

Windows でお使いのときは、本機が自動登録されるので、Epson Edge Dashboard を起動後すぐに監視・管理を行えます。自動登録されないときは、以下の条件で本機を使用しているか確認して手動で登録してください。

- 本機に付属の通信ドライバーがコンピューターにインストールされている
- コンピューターと本機が接続されている
- 本機が使用できる状態になっている

Mac、Linux でお使いのときは自動登録されません。Epson Edge Dashboard を初めて起動したときはプリンターの登録画面が表示されるので手動で登録してください。

## 手動登録の手順

### 1 プリンターリストに表示されているプリンターを確認します。

#### Windows

目的のプリンターがプリンターリストにあることを確認します。必要に応じて [追加検索] をクリックしてください。クリックすると、登録可能なプリンターを検索してプリンターリストに追加します。

#### Mac/Linux

- コンピューターとプリンターを USB で接続しているとき  
[追加検索] をクリックするとプリンターがリストアップされます。
- コンピューターとプリンターをネットワークで接続しているとき  
[検索オプション] をクリックしてネットワーク上のプリンターの IP アドレスを入力し、+ をクリックします。その後、[追加検索] をクリックすると目的のプリンターがリストアップされます。

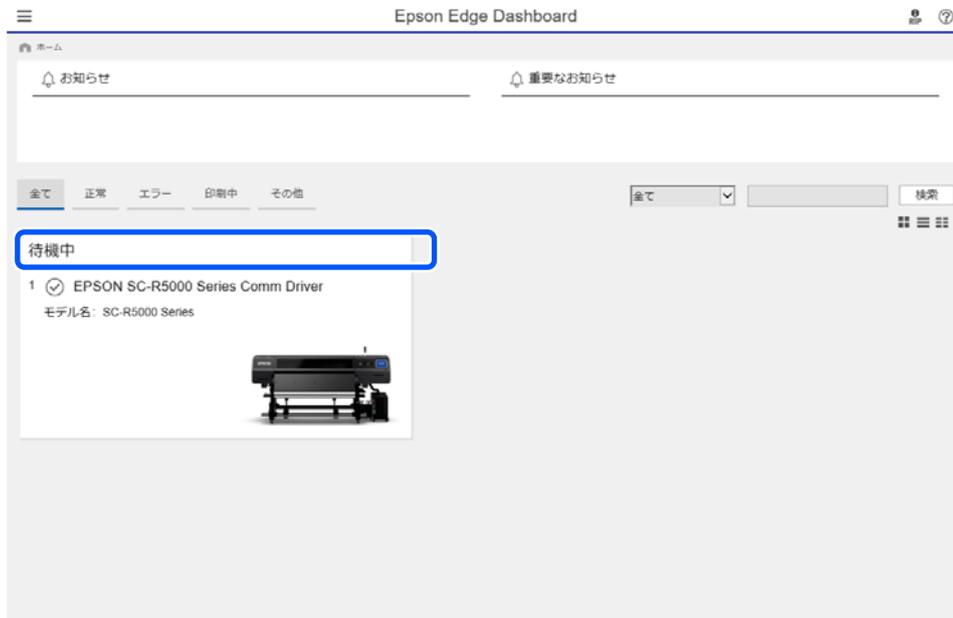
### 2 登録するプリンターの [プリンター名] の横に ✓ を付けます。

### 3 [適用] をクリックします。

プリンターリストへの変更が確定します。

## 本機の状態の確認と管理

- 1 ホーム画面で状態を確認したいプリンターの囲みの部分をクリックします。

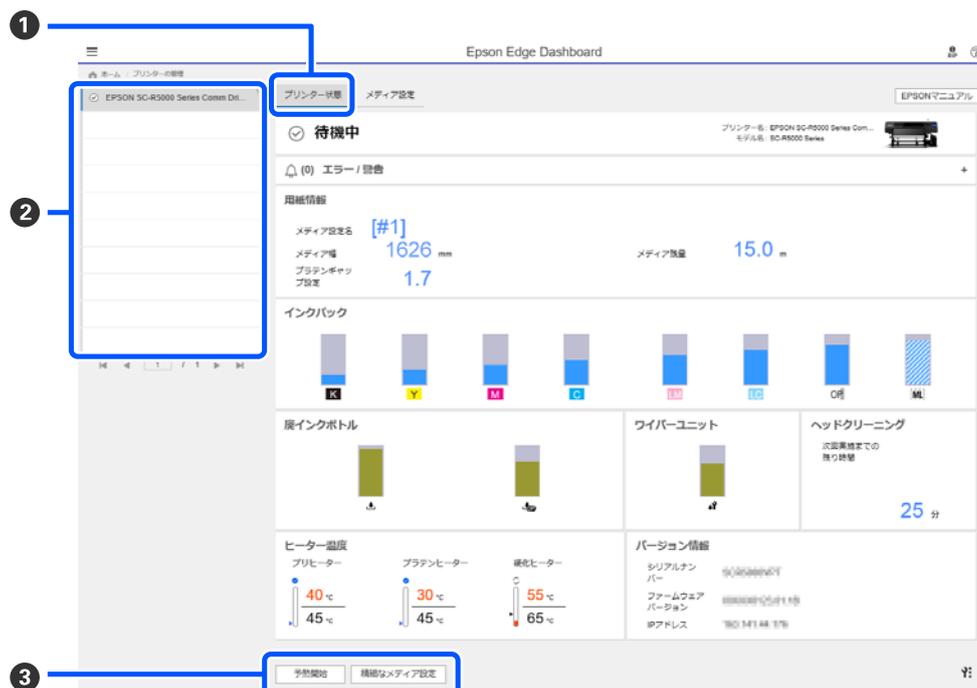


- 2 [プリンター状態] タブ (1) が選択されていることを確認します。

プリンターの管理画面が表示されます。消耗品の状態アイコンの見方は本機の操作パネルの画面のアイコンと同様です。

本ソフトウェアに複数台のプリンターを登録しているときは、登録プリンターリスト (2) で監視対象のプリンターを切り替えて確認できます。

いくつかのメンテナンス機能は、本ソフトウェアから画面下のボタン (3) をクリックして実行できます。実行される内容は本機の設定メニューから実行するのと同じです。



## 終了方法

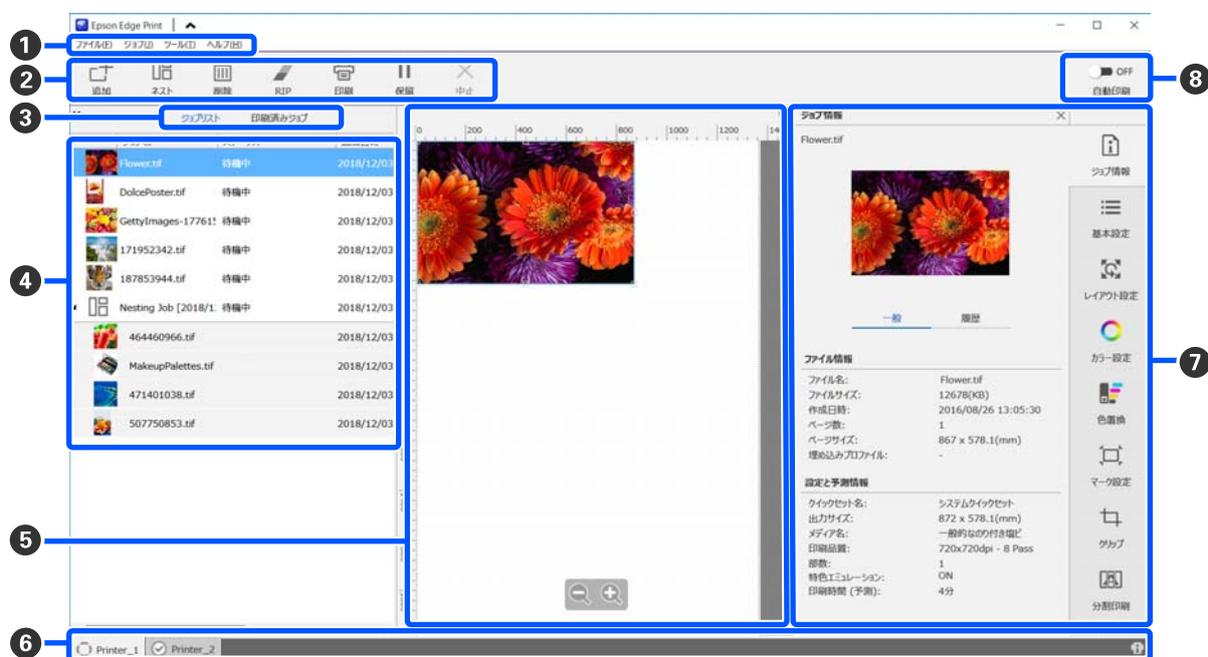
Web ブラウザーを終了します。ただし、Epson Edge Dashboard は常駐アプリケーションですので動作は終了しません。

## Epson Edge Print の使い方

ここでは、Epson Edge Print の基本的な使い方を説明します。ただし付属のソフトウェアは、随時バージョンアップを行い利便性の向上や機能強化をしています。最新の詳細情報は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

## メイン画面の構成

Epson Edge Print を起動すると、以下のメイン画面が表示されます。  
メイン画面の構成と機能は以下の通りです。



|   | 部位名称     | 機能  |
|---|----------|---|
| ① | メニューバー   | 各メニューから操作や設定が行えます。<br>タイトル行の ▲ ▼ をクリックするとメニューバーを非表示/再表示できます。  |
| ② | ジョブツールバー | ジョブリスト/印刷済みジョブリスト (④) で選択したジョブに対して以下の操作が行えます。<br>□+: ジョブリストに印刷データを選択して追加します。<br>🗑️/🗑️: 選択した複数のジョブから1つのネストジョブを作成します。<br>ネストジョブを選択すると、🗑️が🗑️に切り替わりネスト解除ができます。<br>🗑️: 選択したジョブをリストから削除します。<br>🖨️: 選択したジョブの RIP 処理のみを行います。<br>🖨️: 選択したジョブを RIP しながら印刷します。RIP 済みのジョブを選択したときは、印刷のみを行います。<br>✖️: 実行中の RIP 処理や印刷を中止します。<br>⏸️/🔄: 選択したジョブを保留ジョブにします。保留ジョブは、自動印刷切り替えボタン (⑥) を ON にして自動印刷にしたときの印刷対象から外れます。<br>保留中のジョブを選択すると、⏸️が🔄に切り替わり、保留を解除できます。自動印刷時に保留を解除すると待機ジョブに戻り順番の最後に印刷されます。 |

ご使用前に

|   | 部位名称              | 機能   |
|---|-------------------|--|
| ③ | リスト切り替えボタン        | ジョブリスト/印刷済みジョブリストを切り替えます。<br>現在選択されているリスト名が枠囲みされています。  |
| ④ | ジョブリスト/印刷済みジョブリスト | ジョブリストには、印刷待ちか印刷中のジョブのサムネイルや元データ名、ステータスなどが表示されます。印刷が完了したジョブは、自動で印刷済みジョブリストに移行します。  |
| ⑤ | プレビューエリア          | ジョブリスト (④) で選択したジョブのプレビューを確認できます。<br>白い部分がメディアを表しています。メディア幅は、ジョブ設定メニューの ≡ (基本設定) - [メディアサイズ] の設定に応じて変わります。メディアの左右端から破線までの間隔は、余白です。<br>プレビュー画像をドラッグして印刷位置を変えることもできます。<br>プレビューエリア下方の   をクリックするとプレビューエリアの表示を縮小/拡大できます。   |
| ⑥ | プリンター切り替えタブ       | 本ソフトウェアに登録しているプリンター名とプリンターステータスが表示されています。タブをクリックして操作対象のプリンターを切り替えます。白色のタブが、現在操作対象になっているプリンターです。<br>ステータスアイコンの意味は、次の通りです。<br><ul style="list-style-type: none"> <li> :印刷可能状態 (待機中) です。</li> <li> :印刷中です。</li> <li> :警告等が発生しています。</li> <li> :エラーが発生しています。</li> <li> :プリントヘッドのクリーニング、パネル操作など印刷以外で動作中です。</li> <li> :電源が入っていない、または接続されていません。</li> </ul> |
| ⑦ | ジョブ設定メニュー・設定エリア   | ジョブリスト (④) で選択した待機中ジョブの印刷やレイアウト、入出力プロファイル等の設定を行います。<br>右側のアイコンがジョブ設定メニューです。選択した項目に応じて設定エリアの内容が変わります。   |
| ⑧ | 自動印刷切り替えボタン       | ボタンをクリックするたびに ON/OFF が切り替わります。<br><ul style="list-style-type: none"> <li> ON に設定していると、ジョブリスト (④) に印刷データを追加するだけで順次印刷を開始します。ジョブリストに待機中のジョブがあるときは、待機中ジョブも順次印刷されます。</li> <li> OFF に設定していると、ジョブリストに印刷データを追加後にジョブを選択して印刷を実行するまで印刷されません。</li> </ul> ジョブを複数まとめてネストや RIP してから印刷するときは、  OFF に設定してネストや RIP 作業を行ってから  ON に変更します。   |

## 使用メディアに適切な設定で印刷する（EMXを使った印刷）

お使いのメディアに適切に印刷するためには、使用メディアに適したメディア設定値とプリント情報を本機と Epson Edge Print に登録する必要があります。

これは、メディアにはそれぞれ独自に特徴があるからです。例えば、多量にインクが必要なもの、乾燥に時間がかかるものなどです。メディアに合った設定で印刷しないと、満足のいく印刷結果になりません。

しかし、複数の設定項目の最適値を探り使用メディアに最適な印刷ができるように設定するのは、煩雑で時間も手間もかかり大変です。

ここでは、エプソンが無償で提供する印刷設定ファイル（EMX ファイル）を使ってエキスパートから設定して実現していた印刷品質で簡単に印刷する方法を説明します。

## 印刷の準備

### 動作環境の確認

以下の点を確認してください。

- 本機と Epson Edge Print が正しく接続され、電源が入っている。
- RIP サーバー（Epson Edge Print がインストールされているコンピューター）がインターネットに接続している。
- Epson Edge Print が起動している。
- 本機が Epson Edge Print に登録されている。
- 本機にメディアがセットされ印刷可能状態になっている。

### 印刷データの準備

Epson Edge Print に対応したデータ形式の印刷データを準備します。

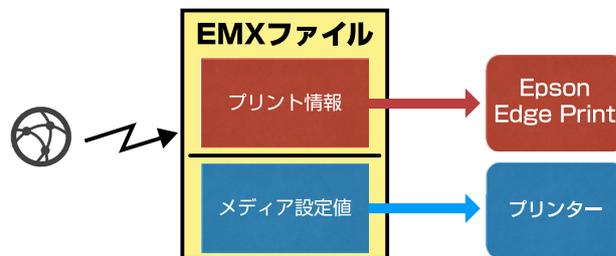
対応データ形式の詳細は、Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

一般的には、次の理由から PDF をお勧めします。

- 画像のリンク切れやレイアウト崩れがない。
- 文字のアウトライン化が不要。
- 画像処理ソフトのバージョンが異なっても表示に違いがない。

## EMX ファイルの準備

EMX ファイルは、市販メディアに適切に印刷するのに必要な以下の情報を 1 つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです。



### プリント情報

メディアの ICC プロファイルやパス数、解像度など Epson Edge Print に登録する設定値です。

### メディア設定値

お使いのメディアに適したヒーター温度やプラテンギャップ、搬送テンションなど本機の登録メディア管理に登録する設定値です。

ここでは、Epson Edge Print で EMX ファイルを取得して登録する手順を説明します。

EMX ファイルを取得するには、RIP サーバーがインターネットに接続している必要があります。

- 1 ツールメニュー - [プリセット管理] - （プリント情報の管理）の順にクリックします。  
プリント情報の管理画面に切り替わります。
- 2 +（追加）をクリックします。  
プリント情報追加ウィザードが始まります。
- 3 **[EMX ファイルを取得して追加]** を選択して [次へ] をクリックします。  
エプソンが無償で提供する EMX ファイルの一覧が表示されます。
- 4 お使いのメディアに対応する **EMX ファイル** を選択します。  
EMX ファイルを 1 つ選択します。EMX ファイルは、一度に複数を選択できません。  
すでに取得した EMX ファイルは、グレースアウトして選択できません。

【状況】に【更新あり】と表示されているものは、取得後にEMXファイルが更新されたことを示しています。

【更新あり】と表示されたEMXファイルを選択して取得すると、取得済のファイルに上書きされます。

## 5 【次へ】をクリックします。

取得したEMXファイルのメディア設定値を本機にコピーできます。コピーするときは、【プリンターにメディア設定値をコピーする】にチェックを付けて手順6に進みます。

コピーしないときは、手順7に進みます。

## 6 EMXファイル内のメディア設定値のコピー先を選択して【実行】をクリックします。

選択しているプリンターに登録されている登録メディア番号(1~50)が表示されますので、手順4で取得したEMXファイル内のメディア設定値のコピー先(登録メディア番号)を指定します。

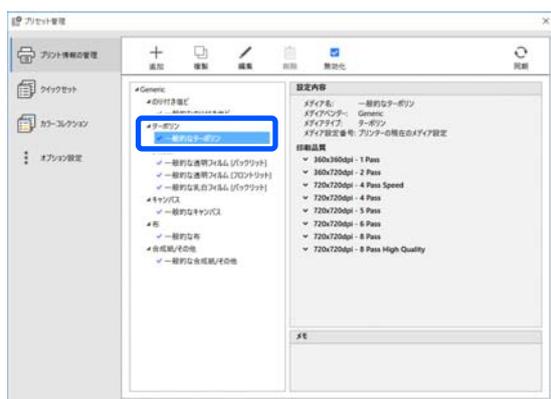
空欄の番号を選択すると追加されます。既に登録済みの番号を選択すると上書きされます。

## 7 【完了】をクリックします。

取得と登録が行われます。

登録が完了すると、プリント情報リストに登録されたプリント情報が追加されます。

プリント情報は、メディア名称で識別します。



メディア名称の左の✓は、有効になっていることを示しています。有効なプリント情報は、ジョブ設定メニューの☰(基本設定)の【メディア名】で選択できるようになります。【メディア名】に表示される項目が多くなりすぎて選択しにくいときは、この画面で不要なプリント情報を選択して☑(無効化)をクリックします。メディア名称の左の✓が消えて無効なプリント情報になります。

取得したプリント情報を元に設定をカスタマイズしたり、新たにプリント情報を作成したりできます。

プリント情報の編集や追加の詳細は、Epson Edge Printのヘルプをご覧ください。

## 本機の準備

取得したEMXファイルのメディア設定値を本機にコピーした後は、本機の設定メニューから印刷調整を行います。印刷調整を行うと、お使いのメディアやプリンターの個体差を補正してお使いの組み合わせ(メディアとプリンター)で最適な印刷ができるようにメディア設定値が最適化されます。

印刷調整をしないと、印刷結果にバンディングや粒状感が生じることがあります。

### 1 実際に使用するメディアを本機にセットします。

メディアのセットが終了すると、操作パネルの画面にセットしたメディアの情報の設定ウィンドウが表示されます。

### 2 「EMXファイルの準備」の手順6で選択した番号を選択します。

メディア情報の設定が完了するとホーム画面が表示されます。

指定した登録メディア番号が表示されたこと、【印刷できます。】と表示されていることを確認します。



### 3 設定メニューの【印刷調整】を実行します。

詳細な手順は、以下をご覧ください。

[☞ 「メディア設定値の最適化\(一括自動調整\)」](#)  
51 ページ

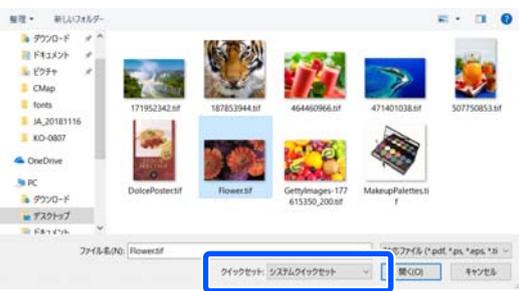
## 印刷の手順

- 1 ジョブツールバーの  (追加) をクリックして印刷データをジョブリストに追加します。  
または、ジョブリスト上に印刷データファイルをドラッグ&ドロップします。

追加した印刷データのサムネイルやデータ名がジョブリストに表示されます。

**参考**

 (追加) をクリックして印刷データを選択するとき、合わせてクイックセットも選択できます。



クイックセットは、印刷ジョブの設定一式を保存したもので、この設定に従ってジョブが生成されます。クイックセットの詳細は、Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

- 2 ジョブリストで印刷するジョブを選択します。  
プレビューエリアに印刷画像が表示されます。

- 3 ジョブ設定メニューの  (基本設定) をクリックします。

設定エリアが基本設定に切り替わりメディアサイズ、メディア名（プリント情報）、印刷品質（解像度・パス数）などを設定できます。

詳細は Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

- 4 ジョブツールバーの  (印刷) をクリックして印刷を開始します。

### 容量が大きなものを印刷するとき

お使いの RIP サーバーの性能にもよりますが、長尺やネストジョブなど容量が大きなものは、印刷の途中でプリントヘッドが止まったり動いたりすることがあります。このようなときは、RIP 処理をしてから印刷することをお勧めします。

詳細は Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

### 順番を決めてまとめて印刷したいとき

ジョブリストに複数のジョブがあるときは、印刷する順番を決めてまとめて印刷を指定できます。

まとめて印刷を指定したときは、印刷順にジョブリストを並び替えることができます。

詳細は Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

印刷中は、ジョブリストの [ステータス] 欄に [印刷中] と表示されます。また、プレビューエリアに印刷の残り時間の目安が表示されます。

**参考**

印刷開始前にプリンター切り替えタブのステータスを確認してください。ステータスアイコンが次のどれかになっていると印刷できません。

-  : エラーが発生しています。
-  : プリントヘッドのクリーニング、パネル操作など印刷以外で動作中です。
-  : 電源が入っていない、または接続されていません。プリンターを印刷可能な状態にしてください。

印刷が完了したジョブは、自動で印刷済みジョブリストに移行します。

印刷済みジョブリストの使い方の詳細は Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

ジョブの拡大/縮小印刷、画像の一部分のみ印刷、メディア幅よりも大きな画像を印刷するには、ジョブ設定メニューで行います。

詳細は Epson Edge Print のヘルプをご覧ください。

## 印刷の中止

印刷途中で印刷をやめたいときは、以下の手順で中止します。

- 1 ジョブリストで印刷を中止するジョブを選択してジョブツールバーの  (中止) をクリックします。  
または、印刷を中止するジョブ名上で右クリックメニューを表示して [中止] を選択します。

- 2 確認画面が表示されたら [はい] をクリックします。

## 大きな画像を分割して印刷する (タイリング)

ここでは、Epson Edge Print の代表的な機能の説明をします。

印刷するメディアの幅よりも大きな画像を印刷するとき、メディアに印刷できる大きさで画像をいくつかに分けて印刷できます。

印刷後に貼り合わせて1枚の画像にするために、のり代を付加することもできます。

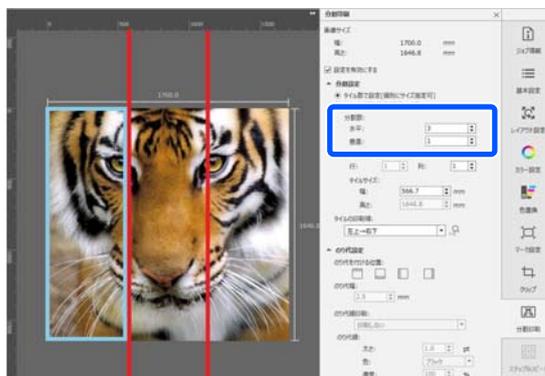
以降で画像を分割する手順を説明します。

### 画像の分割方法

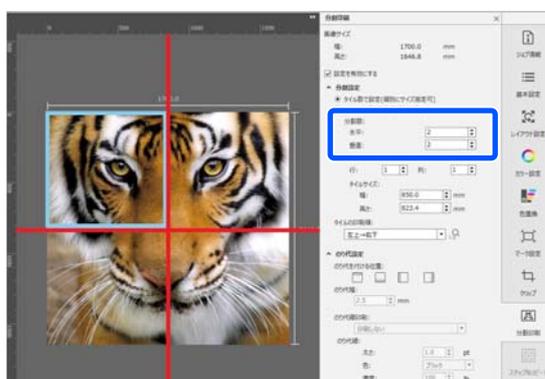
- 1 ジョブリストで分割するジョブを選択します。
- 2 ジョブ設定メニューで  (分割印刷) をクリックします。  
設定エリアが分割印刷の設定に変わります。
- 3 [設定を有効にする] にチェックを付けます。  
設定項目が有効になります。
- 4 [分割設定] で分割する大きさを設定します。  
分割した一つ一つの画像を「タイル」と呼びます。  
分割する個数で設定するときは、[タイル数で設定] を選択します。  
タイルのサイズを指定して分割するときは、[タイルサイズで設定] を選択します。  
タイル数で設定するときは、手順5に進みます。  
タイルサイズで設定するときは、手順7に進みます。

### 5 [分割数] でいくつに分割するのか設定します。

例：水平に3分割



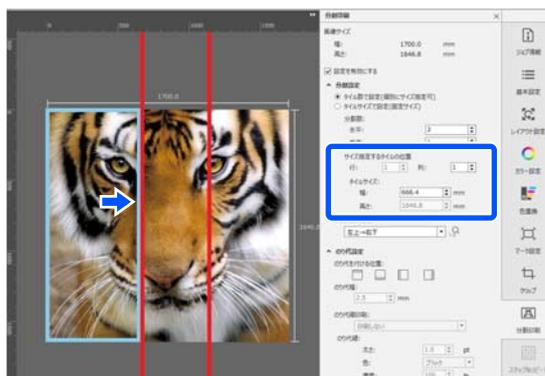
例：水平・垂直とも2分割



### 6 分割したタイルのサイズを微調整できます。

手順5の水平3分割の例で目の位置で分割され貼り合わせが生じるのを回避したいときなどは、以下の手順で左上のタイルを選択してタイルサイズを調整します。

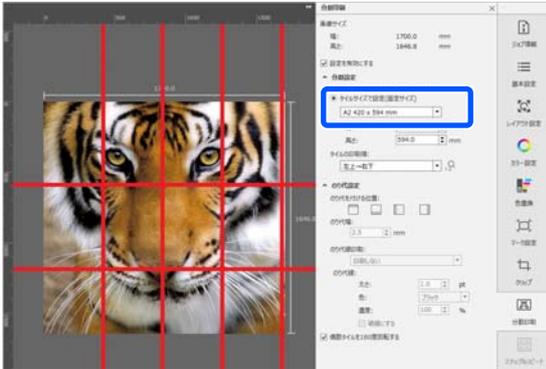
- ① マウスカーソルで対象のタイルをクリックするか [サイズ指定するタイルの位置] で対象のタイルの位置を指定します。  
調整対象のタイルが水色の枠で示されます。
- ② 水色の枠線をドラッグするか、[タイルサイズ] で値を入力してサイズを調整します。



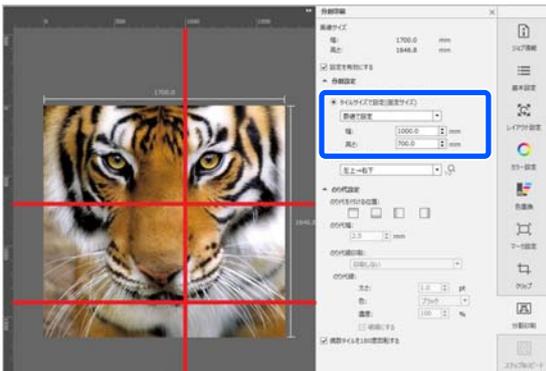
手順 8 に進み、のり代の設定をします。

**7** 【タイルサイズで設定】で分割サイズを設定します。

例：A2 サイズに設定

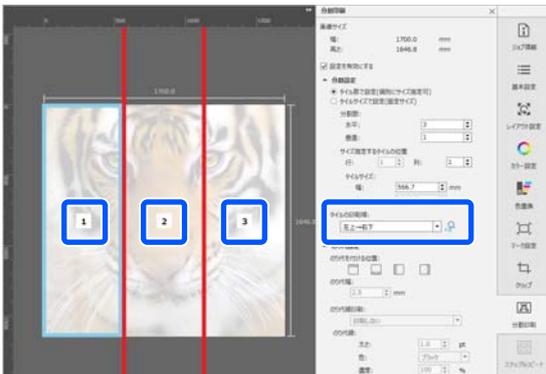


例：数値で設定で幅 1000 mm、高さ 700 mm に設定



**8** 【タイルの印刷順】でタイルを印刷する順番を設定します。

【タイルの印刷順】を選択して  をクリックすると、プレビューエリアの各タイルに印刷順を表す番号が表示されます。

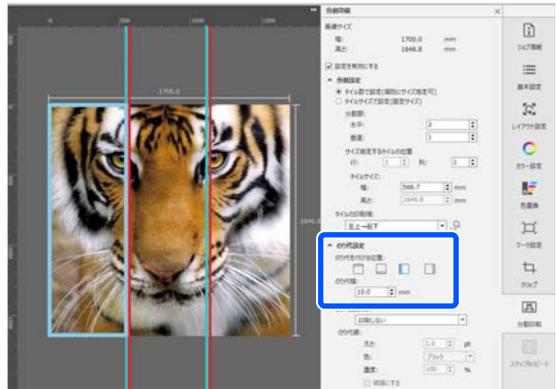


**9** 【のり代設定】で貼り合わせ用ののり代を設定します。

① 【のり代を付ける位置】でのり代をどこに設定するかを設定します。

② 【のり代幅】でのり代の横幅を設定します。

例：【のり代幅】10 mm、【のり代を付ける位置】左側



画像とのり代の境界線を印刷したいときは、手順 10 に進みます。

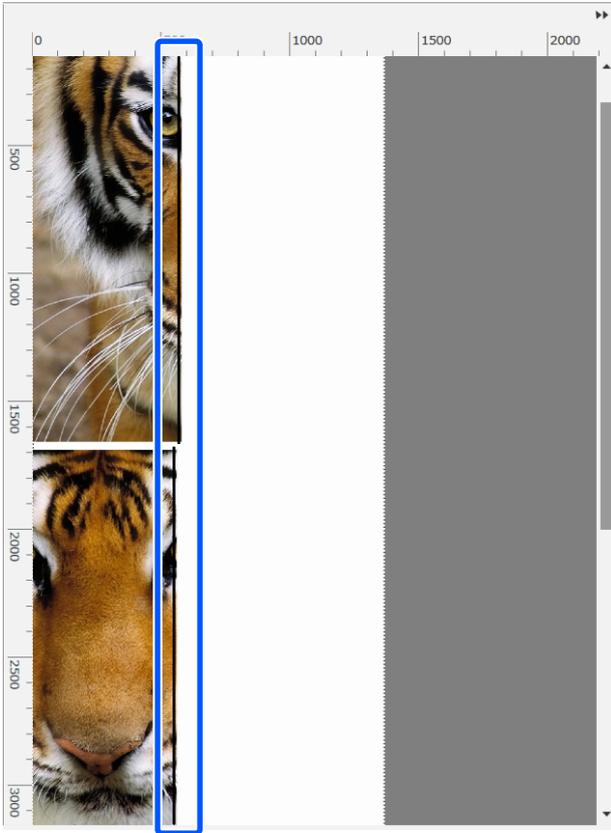
画像とのり代の境界線を印刷しないときは、手順 11 に進みます。

**10** 【のり代線印刷】で、【画像上と余白に印刷する】または【余白だけに印刷する】を選択します。

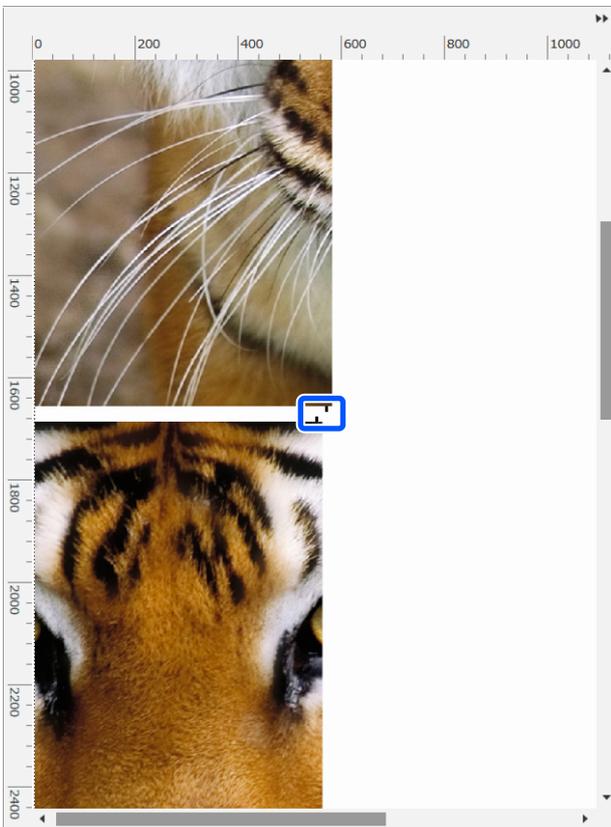
画像とのり代の境界線が印刷され、貼り合わせの目印として使えます。

【のり代線】で境界線の太さ、色、濃度を変更して線がわかりやすくなるように調整できます。【破線にする】にチェックを付けると、境界線を実線から破線に変更できます。

例：[画像上と余白に印刷する] に設定

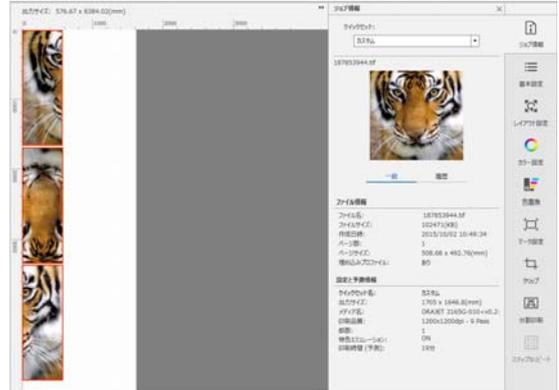


例：[余白だけに印刷する] に設定



**11** 分割の設定が完了したらジョブ設定メニューで (分割印刷)、 (色置換)、 (クリップ) 以外を選択すると、プレビューエリアが印刷プレビューに切り替わります。

例： (ジョブ情報) 選択時



**参考**

ジョブ設定メニューで (レイアウト設定) をクリックすると、タイルの配置を変更できます。  
例えば、縦一列に並んでいるタイルをメディアの幅に合わせて横に並べて印刷すると、メディアの無駄を省くことができます。  
ただし、タイルの配置によっては、貼り合わせ時につなぎ目に色差が生じることがあります。

## 特定のタイルを印刷しないとき

[分割印刷] 設定で画像を分割後、特定のタイルを印刷しないときは、以下の手順で印刷を解除できます。

**1** 印刷しないタイル上で右クリックメニューを表示します。

**2** [印刷する] をクリックしてチェックを外します。

[印刷する] のチェックを外したタイルにはアイコンが表示されます。

印刷対象に戻したいときは、チェックを付けます。

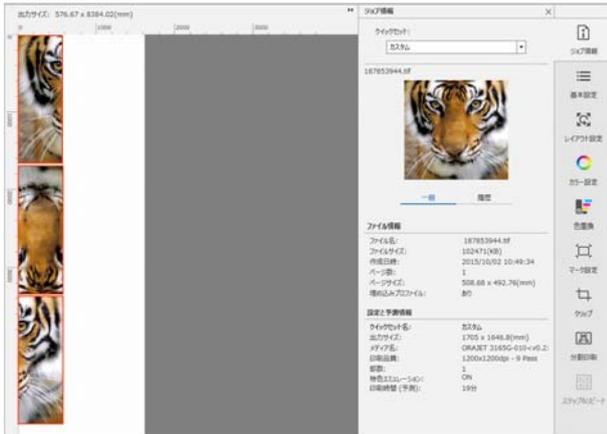
**参考**

タイル上の右クリックメニューで、[全ての選択を解除] を選択すると、全てのタイルが印刷対象外になります。  
1つのタイルだけを印刷したいときは、印刷したいタイル上の右クリックメニューで [全ての選択を解除] を選択してから、[印刷する] にチェックを付けます。

## つなぎ目の色ズレが目立つとき

貼り合わせ時につなぎ目の色ズレが目立つときは、[分割印刷] 設定の [偶数タイルを 180 度回転する] のチェックが外れていないかを確認してください。

チェックを付けると、タイルが交互に上下反転状態で印刷され、色ズレが目立たなくなります。



また、本機の設定メニューで [プリントヘッド暖機動作] を [オン] に設定すると色ズレが改善されます。

📄 オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。

## EPSON Software Updater の使い方

### 更新されたか確認してアップデート

- 1 以下の状態になっていることを確認します。
  - コンピューターがインターネットに接続されている。
  - 本機とコンピューターが通信できている。

- 2 EPSON Software Updater を起動します。

#### Windows 8.1/Windows 8

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

#### Windows 8.1/Windows 8 以外

スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

#### Mac OS X

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

#### 参考

Windows では、デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

- 3 アップデートするソフトウェアやマニュアルを選んで更新します。

以降は画面の指示に従ってください。

#### !重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアは EPSON Software Updater では更新できません。エプソンのホームページで最新版のソフトウェアを確認してください。  
<https://www.epson.jp>

## アップデートの通知を受け取る

- 1 EPSON Software Updater を起動します。
- 2 [確認の間隔設定] をクリックします。
- 3 本機の [間隔] の欄で更新の確認を行う間隔を選択して [OK] をクリックします。

## Web Config の使い方

起動方法や機能の概要を説明します。

### 起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターで起動します。

- 1 本機の IP アドレスを確認します。  
印刷可能な状態であることを確認します。  
 (メニュー) を押して [本体設定] - [ネットワーク設定] - [有線接続状態] の順に選択します。
- 2 本機とネットワークで接続されているコンピューターで **Web** ブラウザーを起動します。
- 3 **Web** ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、[Enter] または [Return] キーを押します。

書式：

IPv4 : http://本機の IP アドレス/

IPv6 : http://[本機の IP アドレス]/

例：

IPv4 : http://192.168.100.201/

IPv6 : http://[2001:db8::1000:1]/

### 終了方法

Web ブラウザーを終了します。

## ソフトウェアの削除

### ！重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

### Windows

Epson Edge Dashboard、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。

- 1 本機の電源を切り、コンピューターと接続しているケーブルを外します。
- 2 ソフトウェアをインストールしているコンピューターで [コントロールパネル] の [プログラム] - [プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 3 削除するソフトウェアを選択して [アンインストールと変更]（または [変更と削除]）をクリックします。  
以下を選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。XXXXX には、型番の数字が入ります。
  - EPSON SC-RXXXXX Series Comm Driver プリンターアンインストール[Epson Edge Dashboard] を選択すると、Epson Edge Dashboard を削除できます。
- 4 本機のアイコンをクリックして、[OK] をクリックします。
- 5 この後は、画面の指示に従ってください。  
削除を確認するメッセージが表示されたら [はい] をクリックします。

Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

### Mac

Epson Edge Dashboard の削除方法を説明します。

- 1 [Epson Edge Dashboard] を終了します。
- 2 [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] - [Epson Edge Dashboard アンインストーラー] をダブルクリックします。

以降は画面の指示に従ってください。

# 基本の操作

## 適切に印刷するための作業の流れ

以下の流れに従って作業していただくと、お使いのメディアに適切に印刷できます。

### 1. 本機にメディア設定値を、RIP にプリント情報を登録する

お使いのメディアの特徴に応じたメディア設定値を本機に、プリント情報を RIP に登録します。  
エプソンは、主要な市販メディア別にメディア設定値とプリント情報を 1 つにまとめたファイル (EMX ファイル) を提供しています。  
本機に付属のソフトウェア RIP 「Epson Edge Print」を使うと以下の作業をウィザード形式で簡単に行えます。

- EMX ファイルのダウンロード
- プリント情報を Epson Edge Print に自動登録
- メディア設定値を本機に登録

詳細は、以下をご覧ください。

🔗 「使用メディアに適切な設定で印刷する (EMX を使った印刷)」 28 ページ



### 2. 3 時間を超える印刷長のジョブは RIP で 3 時間以内になるように設定する

本機は、3 時間以上続けて印刷できません。3 時間以内で印刷できる印刷長は RIP の印刷品質で設定したパス数により異なります。

パス数別の印刷長は以下をご覧ください。また、3 時間以内に収まるジョブにする方法も以下をご覧ください。

🔗 「パス数別の印刷長とジョブの作り方」 85 ページ



### 3. 本機にメディアをセットしてメディア設定をする

メディアをセットして 1. でメディア設定値を登録した登録メディアの番号を選択したりメディア長さを入力したりします。

🔗 「メディアのセット方法」 38 ページ

🔗 「セットしたメディアの設定」 44 ページ



### 4. 自動巻取りユニットにメディアを取り付ける

メディアを巻き取りながら印刷するときは、自動巻取りユニットにメディアを取り付けます。

🔗 「自動巻取りユニットの使い方」 46 ページ



### 5. メディア設定値の最適化をする (新規メディア使用時)

1. で本機に登録したメディア設定値を使い始める前に 1 度行います。

お使いのメディアやプリンターの個体差を補正してお使いの組み合わせ (メディアとプリンター) で最適な印刷ができるようにメディア設定値の最適化 (印刷調整) を行います。

🔗 「メディア設定値の最適化 (一括自動調整)」 51 ページ



### 6. 本機の状態を確認する

印刷業務をスタートするに当たり、インク残量やプリントヘッドのノズルの状態を点検します。

🔗 「印刷前の確認」 58 ページ



### 7. 印刷する

RIP で印刷を実行します。

本機に付属のソフトウェア RIP 「Epson Edge Print」を使った印刷の詳細は、以下をご覧ください。

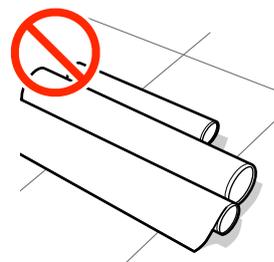
🔗 「使用メディアに適切な設定で印刷する (EMX を使った印刷)」 28 ページ

## メディアセット前のご注意

メディアの保管・取り扱い時は、メディア表面にゴミや毛羽が付かないように、特に以下の点を守ってください。ゴミや毛羽がついたメディアを使うとノズルの目詰まりや印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

### むき出しのまま直接メディアを床に置かない。

メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



## メディアセット時のご注意

### ⚠ 注意

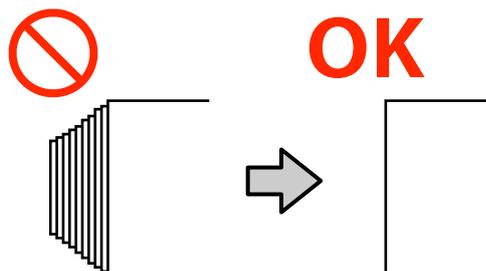
- 硬化ヒーターやヒーター、メディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアは重いので、1人で運ばないでください。
- プリンターカバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

### メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。この結果、印刷品質の低下や故障に至ることがあります。

### 左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろるように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。



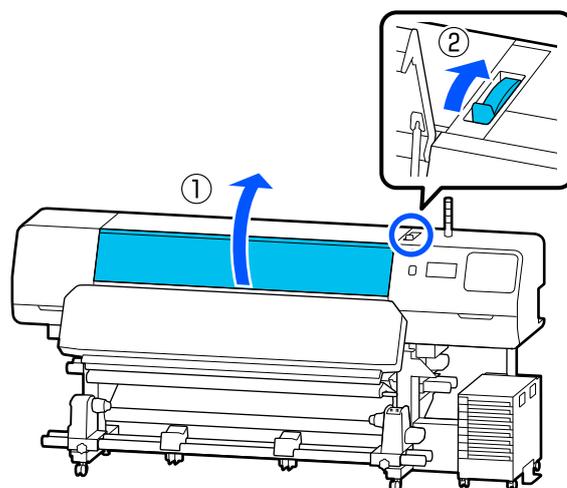
## メディアのセット方法

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

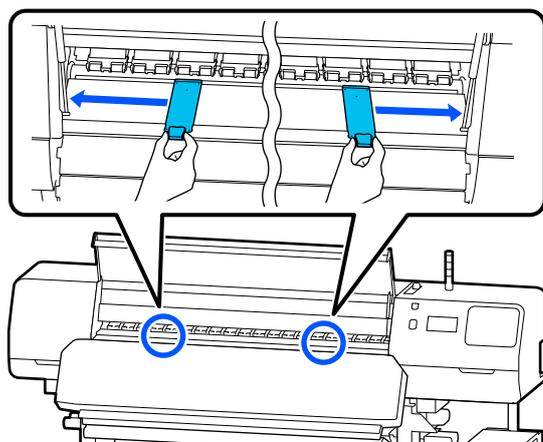
**1** ホーム画面に「プリンターカバーを開けてメディアをセットしてください」と表示されていることを確認します。

**2** プリンターカバーを開けてからメディアセットレバーを背面側に倒します。

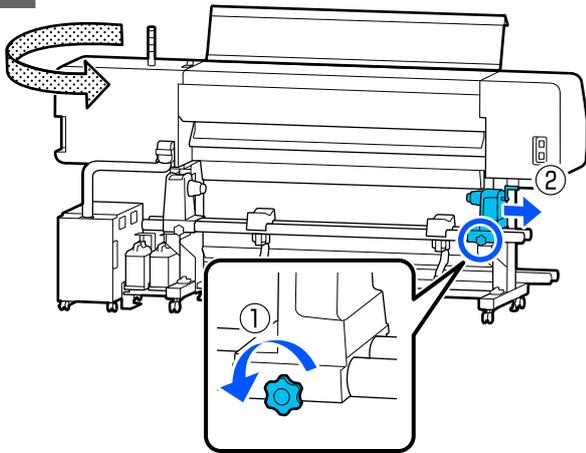


**3** メディア押さえ板のつまみを両側から押さえたまま、プラテンの左右端へ退避させます。

プラテン上に保温板があるときは、取り外してからメディア押さえ板を移動させてください。

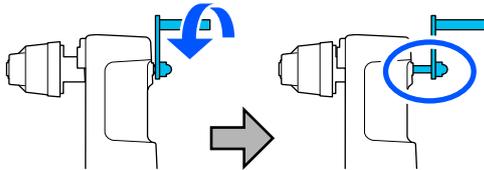


4



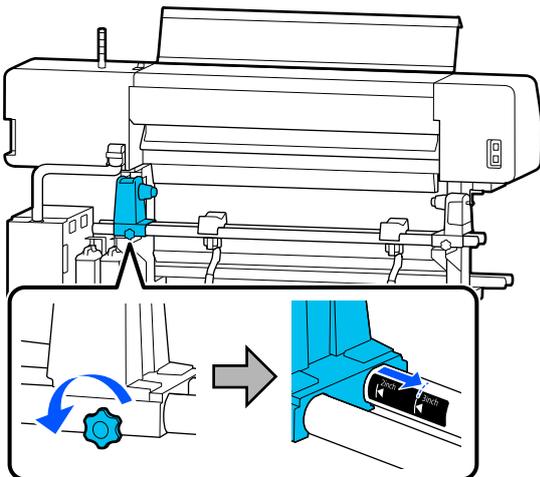
**!重要**

右側のメディアホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。



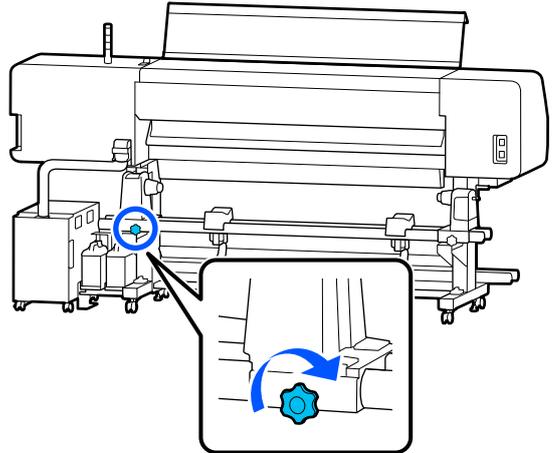
5

左側のメディアホルダーの固定ねじを緩め、セットするメディアの紙管内径サイズに応じて、メディアホルダーをセット位置に移動します。

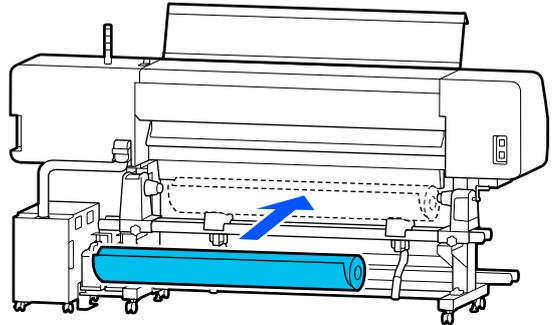


6

固定ネジは回らなくなるまできつく締めます。



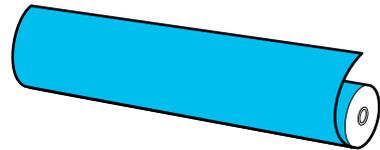
7



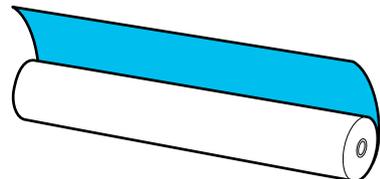
**参考**

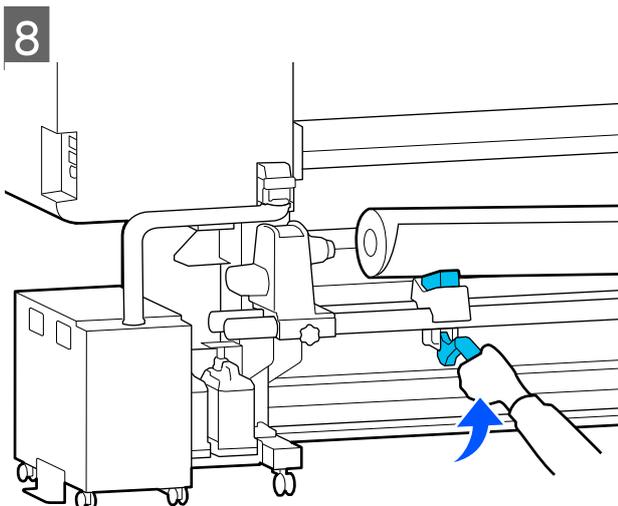
メディアの巻き仕様により、ロールメディアの置き方が以下のように異なります。

**印刷面外巻き**

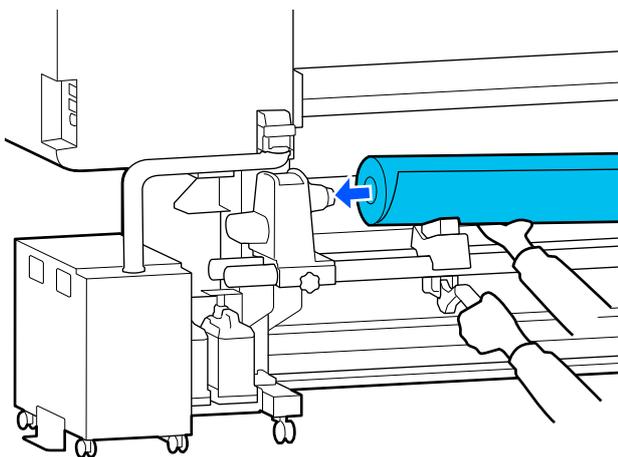


**印刷面内巻き**



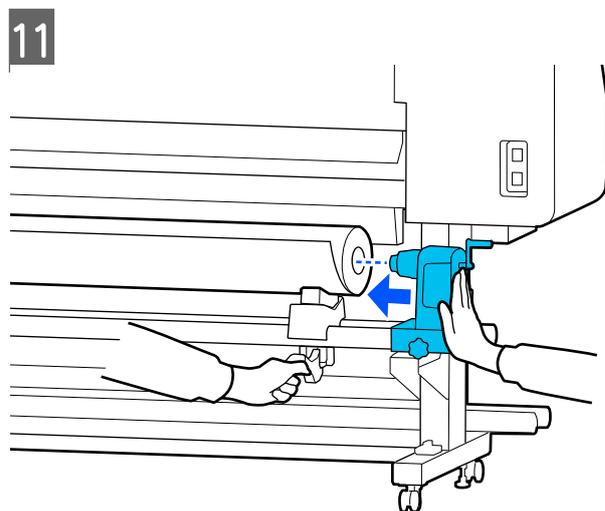
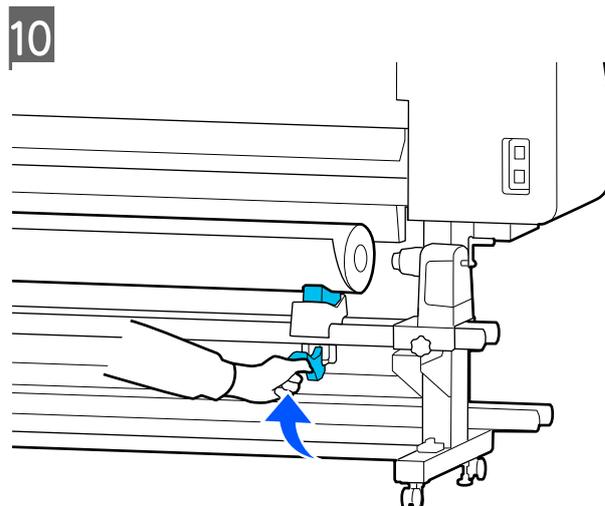


**9** メディアの紙管をメディアホルダーにしっかり挿入します。



**参考**

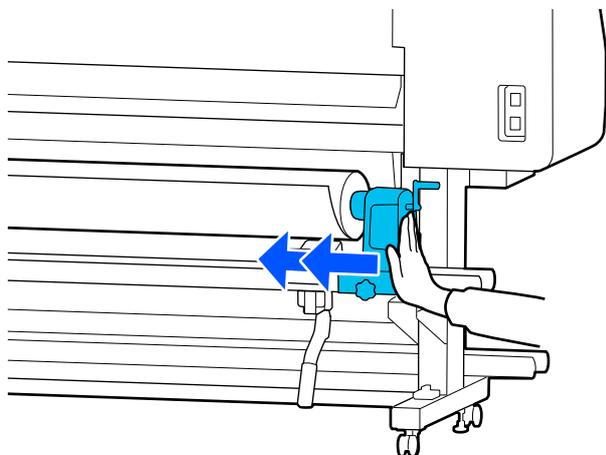
ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもメディアホルダーに紙管部分が届きません。  
手で補ってメディアホルダーに紙管を挿入してください。



**参考**

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもメディアホルダーに紙管部分が届きません。  
手で補ってメディアホルダーに紙管を挿入してください。

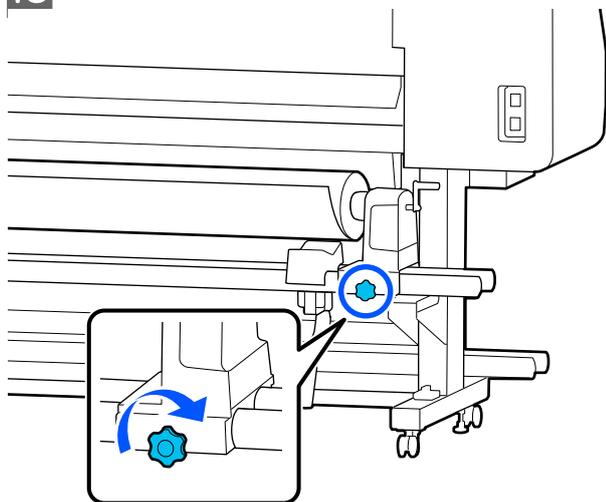
- 12 メディアホルダーを紙管に十分に差し込むために、2回押し付けます。



**!重要**

メディアホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、メディアホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア送りが正しく行えません。このため、印刷結果にバンディングが生じることがあります。

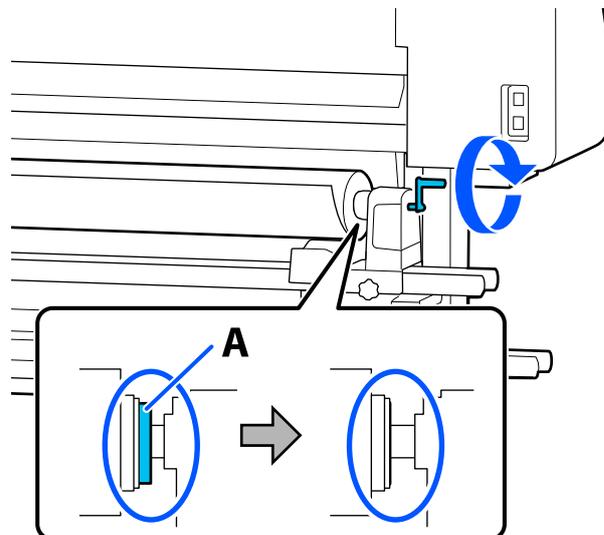
- 13 固定ネジは回らなくなるまできつく締めます。



**!重要**

- メディアホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にメディアホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷品質低下の原因となります。
- ロールの左右の端がそろっていないときは、そろえ直してください。

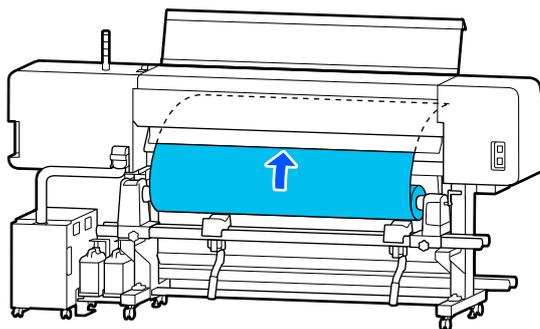
- 14 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。



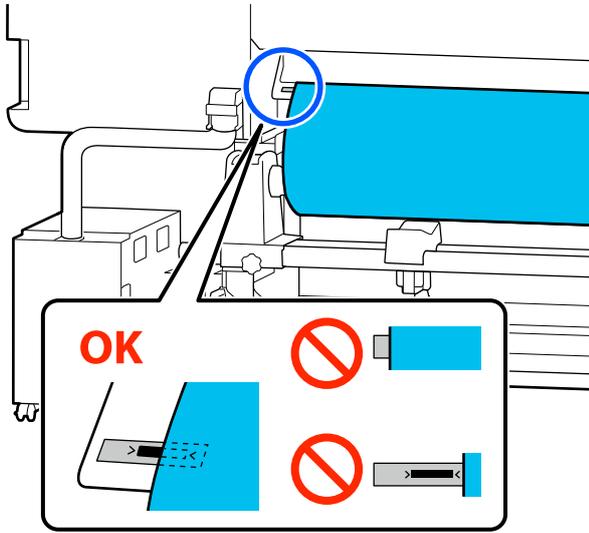
**!重要**

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとメディアホルダーが破損するおそれがあります。ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のメディアホルダー固定ネジを緩めて、手順 4 からやり直してください。

- 15 メディアを挿入口から 30cm ほど挿入します。



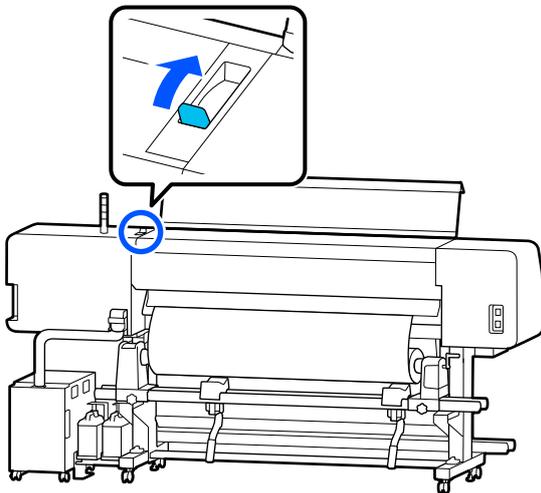
- 16 メディアの左端が下図の通り、ラベルの四角の範囲内を通っていることを確認します。



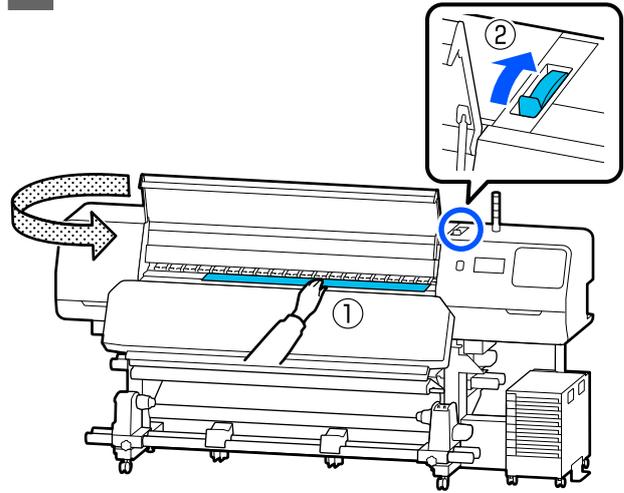
参考

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出しているときは、必ず手順 16 から逆順で手順 4 まで戻ってメディアホルダーの位置を調整してください。メディアをセットした状態で、メディアホルダーの位置を動かさないでください。

- 17 挿入したメディアが落ちないようにメディアセツトレバーを正面側に倒します。



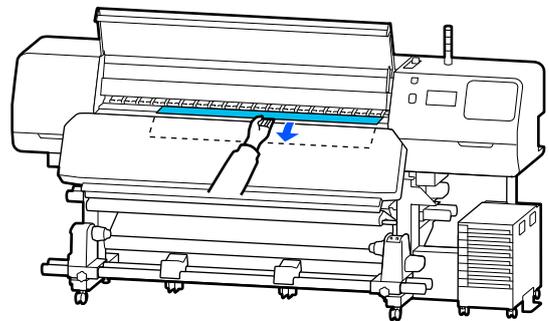
- 18



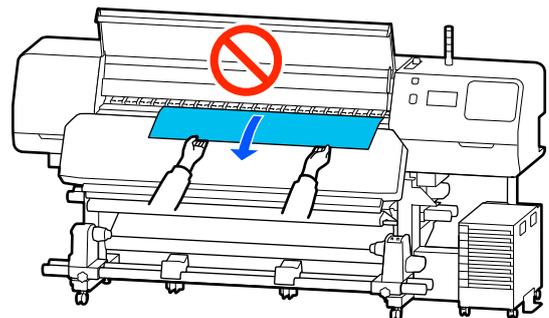
- 19 メディアの中央を片手で持って、メディアの先端が硬化ヒーターの入り口に入る位置までまっすぐに引き出します。

！重要

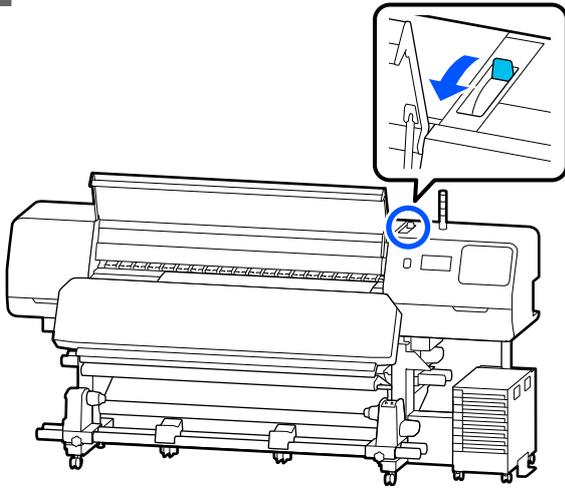
メディアの先端部分が波打ったり熱で変形しているときは、その部分をすべて加圧ローラーより手前に引き出してください。波打ち、変形部分を加圧ローラーで押さえると正しく印刷できません。



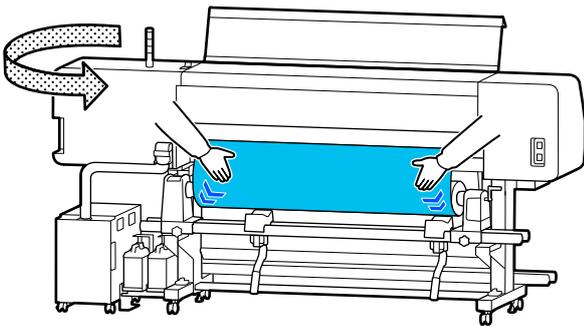
メディアを両手で引き出さないでください。メディアが斜行・蛇行する原因となります。



20



21 メディアの両端を軽くたたいて、左右で張りに違いがあるか確認します。



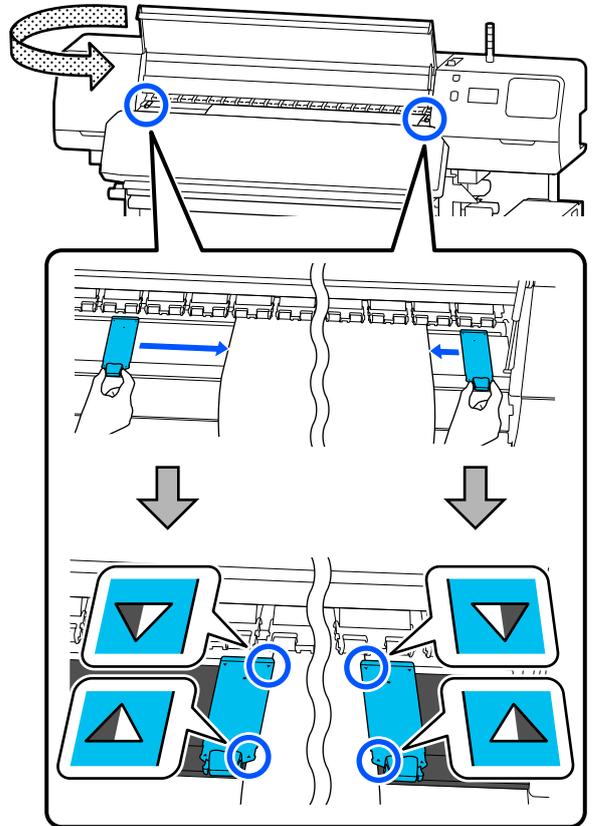
張りに違いがあるときは、メディアが歪んで取り付けられています。

本機正面に回り、メディアセットレバーを背面側に倒して、メディアの歪みを直してください。

歪みを直したら、メディアセットレバーを正面側に倒します。

22

メディア押さえ板のつまみを両側から押さえたまま、メディア端の上まで移動します。メディア押さえ板の穴の中央にメディアの端が位置するように合わせます。

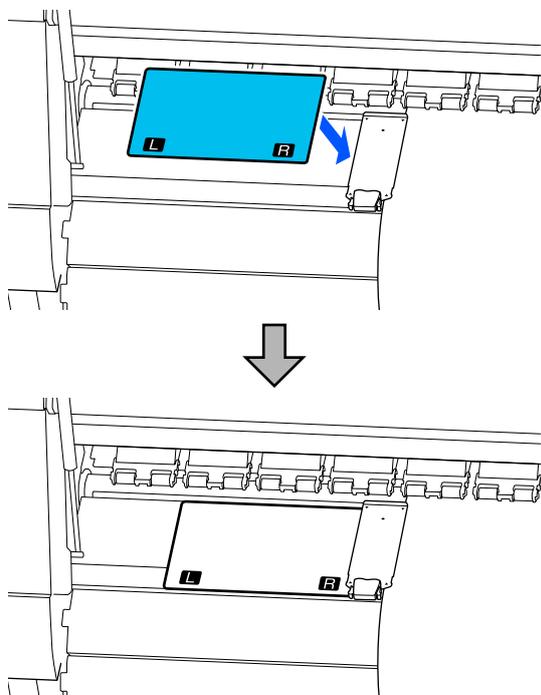


**！重要**

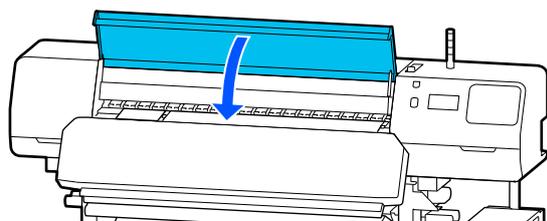
- メディアの厚さが 0.5 mm 以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。メディア押さえ板を使わないときは、保温板も使わないでください。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れるときはメディア押さえ板を使用しないでください。

- 23** メディア幅が 54 インチ以下のメディアをセットしたときは、付属の保温板を左のメディア押さえ板の左側に差し込みます。

保温板の R 側が右になるようにセットしてください。



**24**



## セットしたメディアの設定

メディアのセットが終了したら、操作パネルの画面表示に従って、セットしたメディアに対する次の設定を行います。

### 1. 登録メディアの番号を選択

セットしたメディアに対応するメディア設定値が登録されている登録メディア番号を選択します。



### 2. ロール巻き方向選択

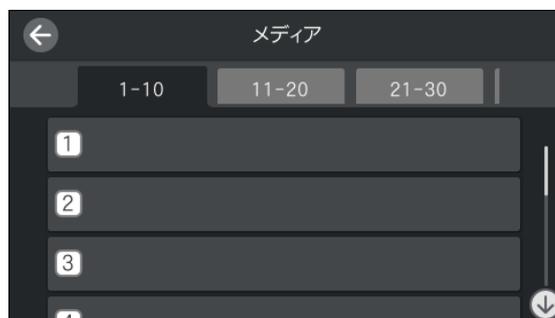
セットしたメディアロールの巻き方向を選択します。



### 3. メディア長さを設定

セットしたメディアの長さを設定します。ここで入力した長さに基づきメディアの残量管理が行われます。

- 1** メディアのセットが完了すると画面にメディア設定画面が表示されます。[メディア] を押してセットしたメディアに対応したメディア設定値が保存されている登録メディア番号を押します。

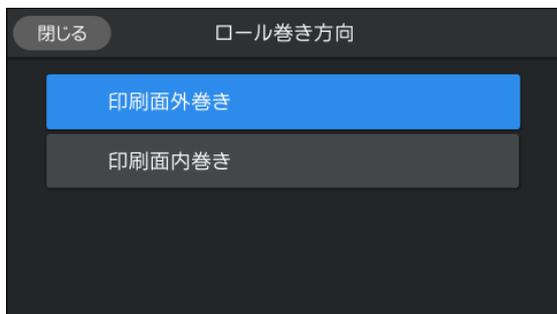


【登録メディア管理】で【メディアタイプ】が設定されていない登録メディア番号を選択したときは、メディアタイプを選択する画面が表示されます。セットしたメディアにあったメディアタイプを選択してください。

新規のメディアで、まだメディア設定がされていないときは、一旦未設定の番号を選択してメディアの給紙完了後に【登録メディア管理】を実施してください。

## 2 ロール巻き仕様を確認します。

メディア設定画面でセットしているメディアの巻き方向に合った巻き方向になっているか確認します。万一、違っているときは [ロール巻き方向] を押し設定を変更します。



## 3 使用中で交換したメディアでメディア残量値が印刷されているものは、残量管理の設定をします。

[用紙残量] - [残量管理] の順に押して [オン] にします。[オフ] になっていると残量管理は行われません。[残量] を押してメディアの先端に印刷されているメディア残量値を入力します。



### 参考

#### 残量管理-オンで有効になる 2つの機能

以下の2つの機能で、印刷前におおよそのメディア残量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなります。

- メディア残量の表示  
設定したメディアの長さとおおよそのメディア残量を推定し、操作パネルの画面に残量値を表示します。
- メディア残量警告  
設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセージが表示されます。

## 4 画面の指示に従い、メディアを自動巻取りユニットにセットして使用するときは [巻き取り位置まで送る] を押します。

自動巻取りユニットへのメディアのセット方法は以下をご覧ください。

[🔗 「自動巻取りユニットの使い方」 46 ページ](#)

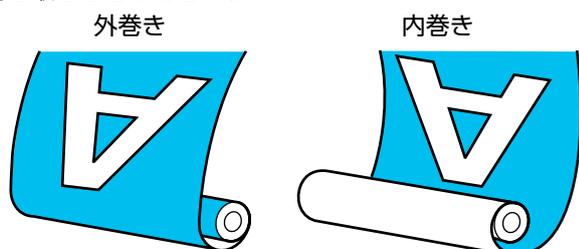
自動巻取りユニットを使用しないときは [完了] を押します。

しばらくして画面に [印刷できます。] と表示されたら、印刷が開始できます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

## 自動巻取りユニットの使い方

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。



外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。  
内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

### ⚠ 注意

- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧ください。メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するおそれがあります。
- メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼働部に巻き込まれないように注意してください。けがをするおそれがあります。

## 紙管の取り付け方

巻き取るメディアの幅よりも長い紙管を用意してください。

メディアが紙管からはみ出さずに正しく巻き取ることができます。

**1** メディアを貼り付け位置まで送ります。

メディアのセットに続いて操作しているとき画面の指示に従い、[巻き取り位置まで送る] を押しとメディアが貼り付け位置まで送られます。

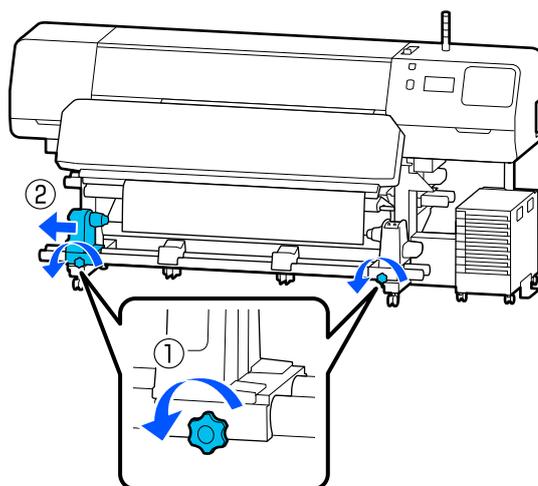
### 上記以外するとき

操作パネルの【】 ボタンを押し続けてメディアホルダーの位置までメディアを送ります。

### !重要

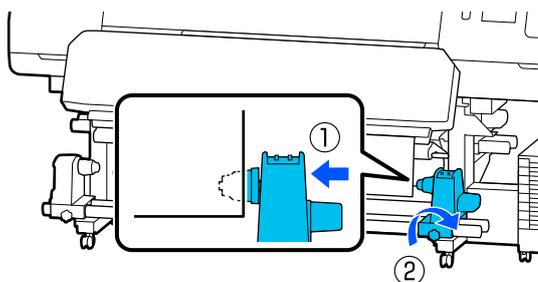
メディアは、手で引き出さないでください。手で引き出すと、巻き取り時にメディアがねじれる原因となります。

**2**



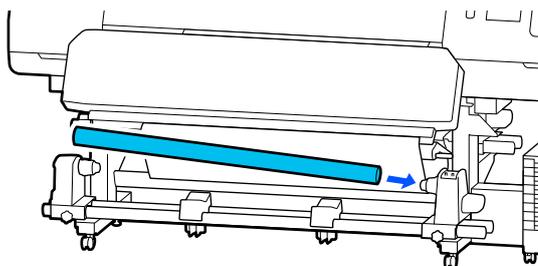
**3**

メディアホルダーをメディア右端に合わせて、固定ネジを締めます。

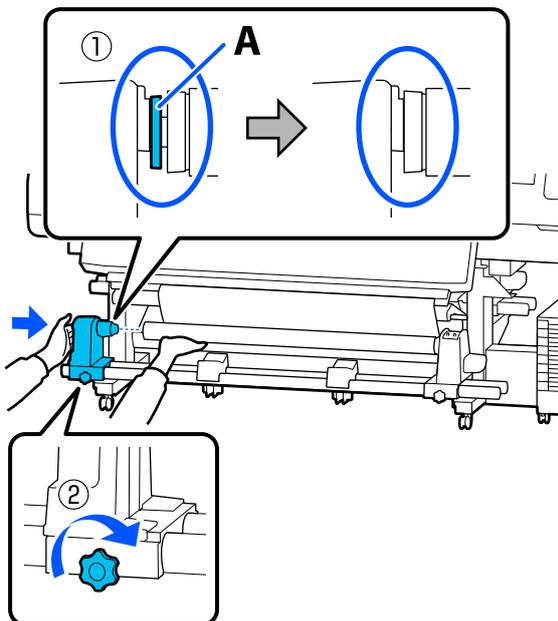


**4**

右側のメディアホルダーに紙管を差し込みます。



- 5** 図の A の部分が完全に入り込むまで押し付けたまま固定ネジを締めます。

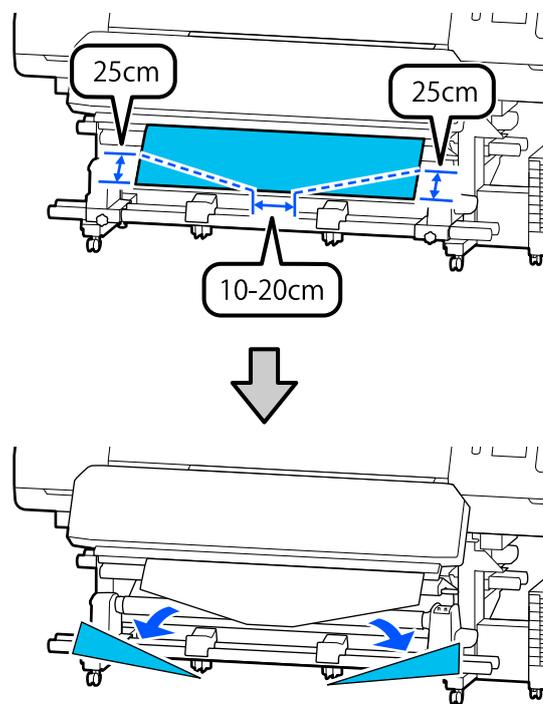


**!重要**

A の部分が隠れたら、それ以上は押し込まないでください。押し込みすぎると、正しく巻き取れないことがあります。

- 6** メディアの中央を 10～20cm 残して、左右とも高さ 25cm 以上になるように角をカットします。

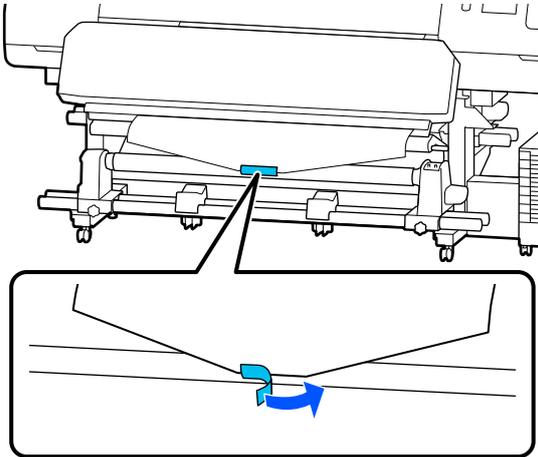
カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れない不具合を防げます。



続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。  
 外巻きで巻き取るとき [「外巻きでの巻き取り方」 48 ページ](#)  
 内巻きで巻き取るとき [「内巻きでの巻き取り方」 49 ページ](#)

## 外巻きでの巻き取り方

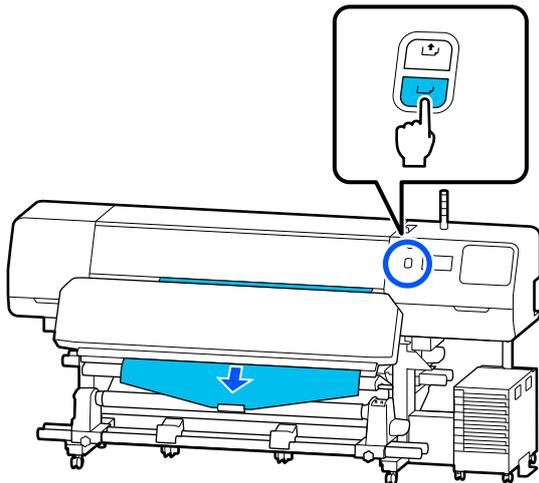
- 1 メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら、市販の粘着テープで巻き取り紙管に貼り付けます。



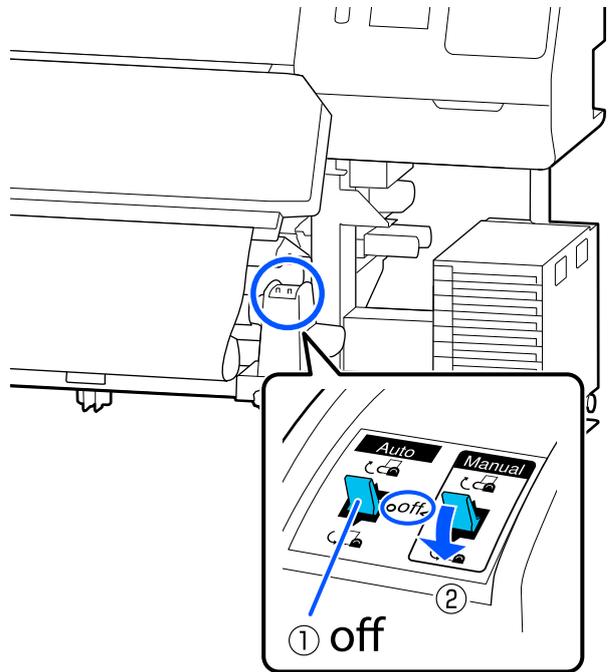
**！重要**

メディアをびんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

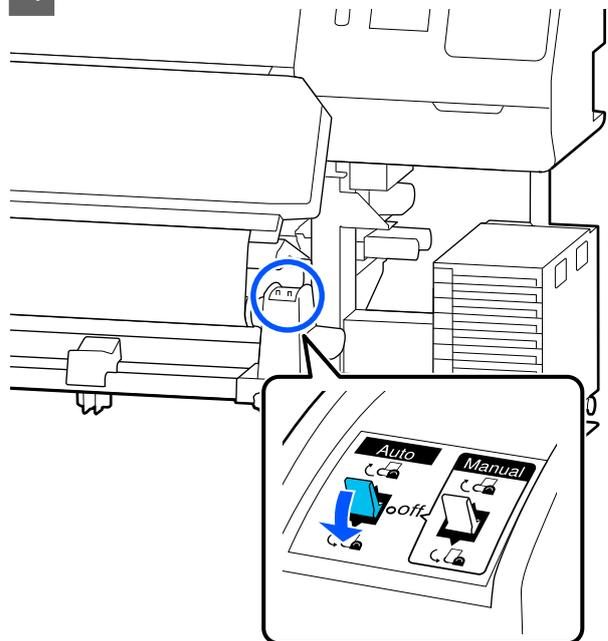
- 2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。



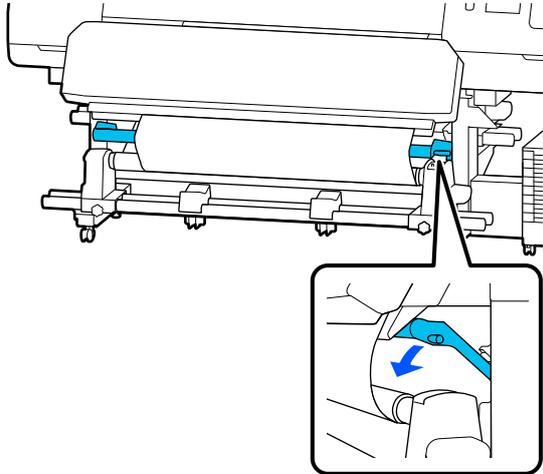
- 3 **Auto** スイッチを **Off** にして、**Manual** スイッチを **☺** 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせてます。



- 4 **Auto** スイッチを **☺** にセットします。

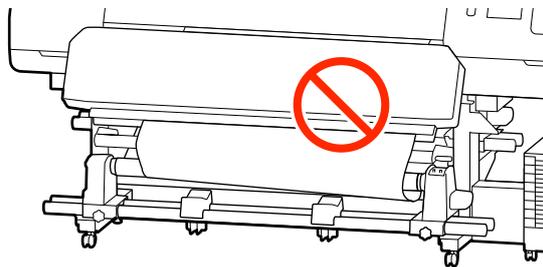


- 5** テンションバーがメディアに軽く触れるまで倒します。



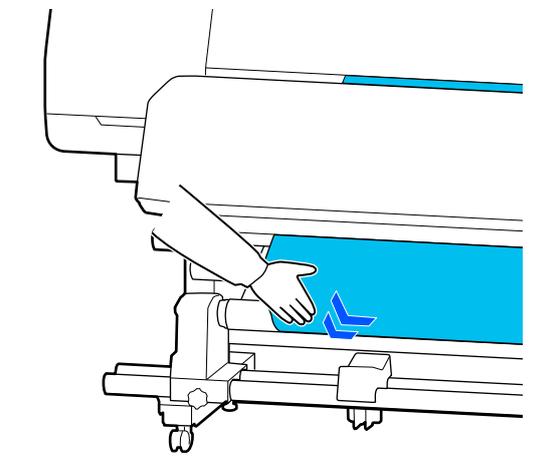
- 6** メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。

下図のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、手順 1 からやり直してください。

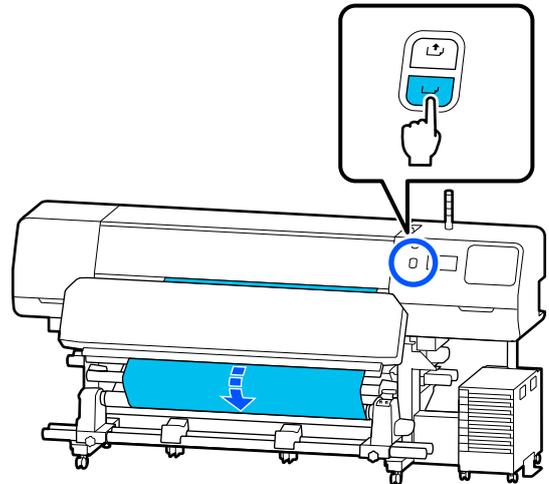


**参考**

下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの違いを確認できます。



- 7** メディアが 1~2 周巻き取られるまで、【▶】ボタンを押し続けます。

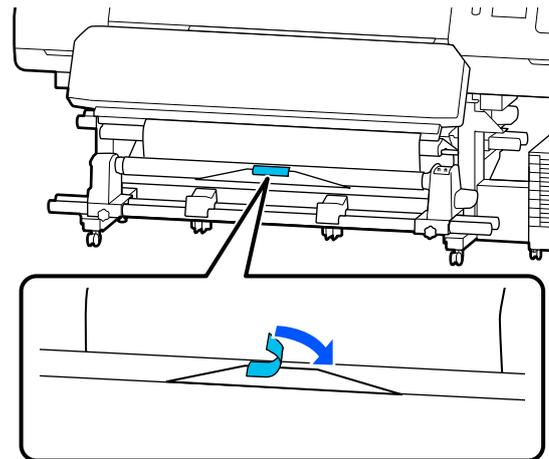


- 8** 画面で【完了】を押します。

ホーム画面に切り替わり、【印刷できます。】と表示されたら、印刷が開始できます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

## 内巻きでの巻き取り方

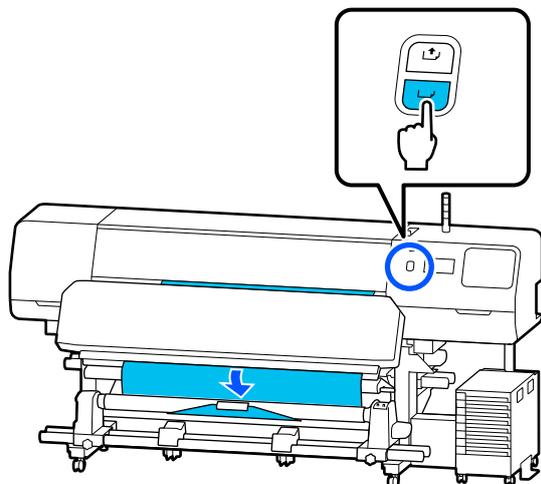
- 1** メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら紙管の裏側から表側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。



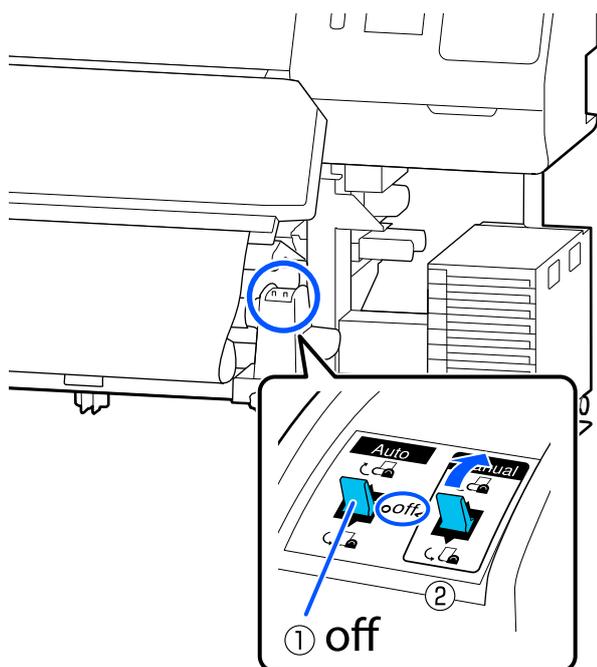
**!重要**

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

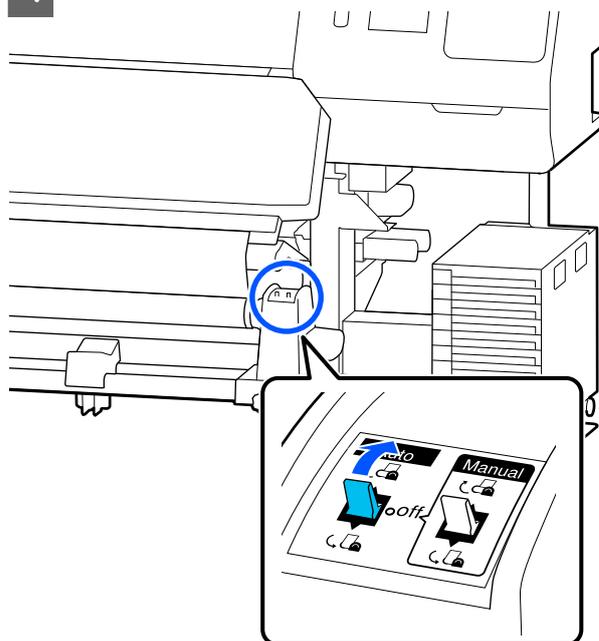
- 2** 操作パネルの【】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。



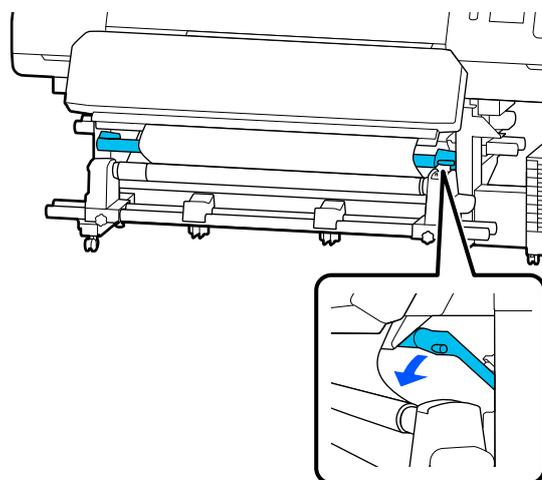
- 3** Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを  側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。



- 4** Auto スイッチを  にセットします。

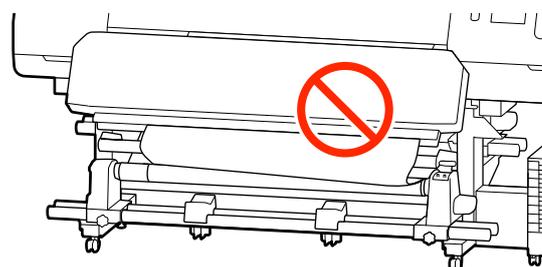


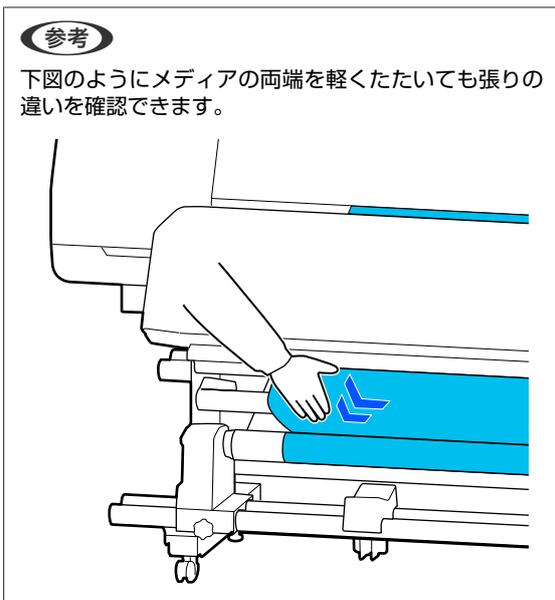
- 5** テンションバーがメディアに軽く触れるまで倒します。



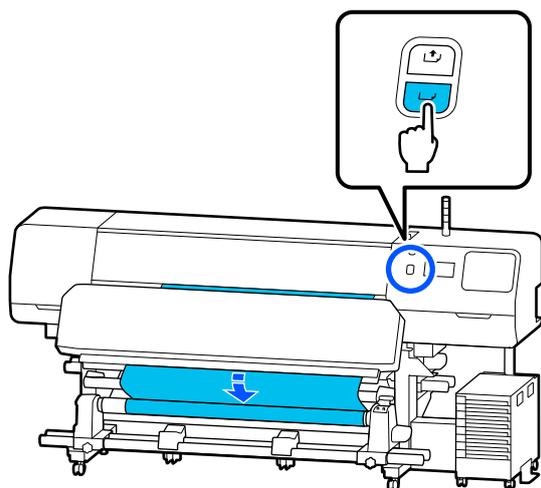
- 6** メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。

下図のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたんでいるときは、手順 1 からやり直してください。





- 7** メディアの両端が紙管まで届き 1~2 周巻き取られるまで、【↓】ボタンを押し続けます。



- 8** 画面で【完了】を押します。  
 ホーム画面に切り替わり、【印刷できます。】と表示されたら、印刷が開始できます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

## メディア設定値の最適化 (一括自動調整)

メディア設定値の最適化は、以下の場合に行う必要があります。メディア設定値を最適化するには、【印刷調整】の【一括自動調整】を行います。

### EMX ファイルのメディア設定値を本機に登録したとき

Epson Edge Print/Epson Edge Dashboard で、ダウンロードした EMX ファイルのメディア設定値を本機に登録したときは、お使いのメディアや本機の個体差を補正してお使いの組み合わせ（メディアとプリンター）で最適な印刷ができるように最適化を行います。

### メディア設定値を保存後に【高度な設定】を変更したとき

## 印刷調整時のご注意

本機にセットしたメディアに合わせて調整されます。

- 調整が必要なメディアを実際に印刷するときの状態ですく本機にセットしてください。  
 自動巻取りユニットに取り付けて印刷するときは、印刷調整時も自動巻取りユニットにメディアを取り付けて行います。
- 必ずメディア設定値を本機に登録したとき、あるいは設定メニューの【登録メディア管理】で設定した名称を【メディア選択】で選択してください。

**ノズルが目詰まりしていない状態で実施してください。**

ノズルが目詰まりしていると、正しく調整されません。チェックパターン（標準）を印刷し目視で確認して、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングをしてください。

**メディア残量が約 1.6 m 以上あることを確認してください。**

メディア残量が約 1.6 m 以上ないと硬化動作などの途中でメディアエンドのエラーとなることがあります。エラーになると調整が行えないことがありますので調整前にメディア残量を確認してください。

## 一括自動調整の手順

一括自動調整は、パターンを印刷しながら、メディア送り調整とプリントヘッドの位置調整が自動で行われます。パターンの印刷で使用するメディア長の目安は、以下の通りです。

約 300 mm

お使いのメディアによっては、一括自動調整ができないことがあります。エラーになったり、一括自動調整を行っても印刷結果にバンディングや粒状感がみられるときは、印刷調整メニューから[手動調整]を行ってください。

☞ [「一括自動調整が行えないとき」52 ページ](#)

### 1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態にメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

☞ [「メディアのセット方法」38 ページ](#)

☞ [「自動巻取りユニットの使い方」46 ページ](#)

### 2 (メニュー) を押し、[メディア設定] - [印刷調整] - [一括自動調整] の順に押します。

### 3 [開始] を押します。

自動調整が始まり、調整パターンが印刷されます。調整が終了するまで、しばらくお待ちください。

## 一括自動調整が行えないとき

[メディア送り調整] と [プリントヘッドの位置調整] を別々に行います。どちらも印刷されたパターンを目視で確認して測定値を入力して調整します。

調整を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ [「印刷調整時のご注意」51 ページ](#)

印刷調整メニューの [手動調整] で [メディア送り調整] と [プリントヘッドの位置調整] の両方を選択して調整を開始したときは、メディア送り調整が完了すると続けてプリントヘッドの位置調整が開始されます。

どちらか一つを選択して調整を開始すると目的の調整だけが行われます。

## メディア送り調整

印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が発生するときにも行います。

[手動（標準）] と [手動（実測）] のどちらかを選択して調整できます。

### 手動（標準）

通常は、こちらを選択して調整します。

☞ [「手動（標準）の設定手順」53 ページ](#)

### 手動（実測）

キャンバスなど凸凹したメディアや布などにじみが多いメディアに印刷長を正確に印刷したいときの調整です。

☞ [「手動（実測）の設定手順」53 ページ](#)

パターンの印刷で使用するメディア長の目安は、以下の通りです。

[手動（標準）] 実行時：約 100 mm

[手動（実測）] 実行時：約 770 mm

## 手動（標準）の設定手順

- 1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

🔗 [「メディアのセット方法」38 ページ](#)

🔗 [「自動巻取りユニットの使い方」46 ページ](#)

- 2  (メニュー) を押し、[メディア設定] - [印刷調整] - [手動調整] の順に押します。

[メディア送り調整] 左の  を押します。アイコンが  に変わり調整種類選択の画面が表示されます。

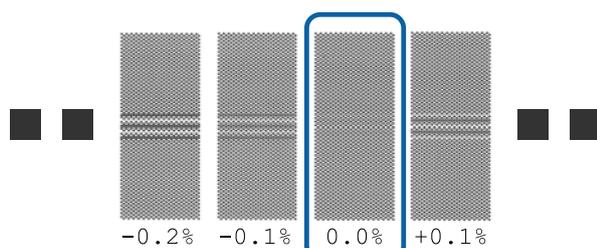
- 3 [手動（標準）] を押します。

- 4 [OK] を押して [開始] を押します。

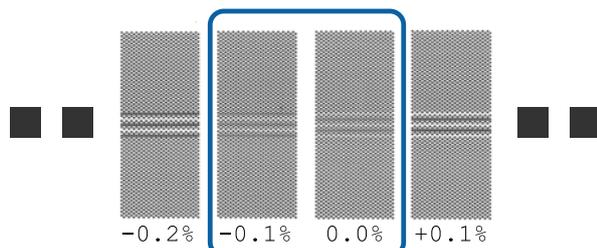
調整パターンが印刷されます。印刷が終了するまでお待ちください。

- 5 印刷された調整パターンを確認します。

A と B の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやすれがないパターンを選びます。以下の場合には「0.0%」を選びます。



重なりやすれが同等のパターンが並んだときは、手順 6 で中間の値を入力します。以下の場合には「-0.05%」と入力します。



全ての調整パターンに重なりやすれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやすれが少ないパターンを選びます。

この場合は、手順 6 を行い手順 7 で [はい] を押ししてください。

- 6 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

A、B それぞれ、選択したパターンの下に印刷されている値を設定して [OK] を押します。

- 7 同じ調整を再度行うか選択します。

手順 5 で重なりやすれが同等のパターンが並んでいたときは [はい] を選択してください。入力した測定値を反映した調整パターンで再度調整が行えます。

[いいえ] を押すと [メディア送り調整] が終了します。プリントヘッドの位置調整も選択したときは、引き続きプリントヘッドの位置調整の調整パターン印刷確認画面に移行します。

[プリントヘッドの位置調整] を選択しなかったときは、[手動調整] が終了します。

## 手動（実測）の設定手順

- 1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

🔗 [「メディアのセット方法」38 ページ](#)

🔗 [「自動巻取りユニットの使い方」46 ページ](#)

- 2  (メニュー) を押し、[メディア設定] - [印刷調整] - [手動調整] の順に押します。

[メディア送り調整] 左の  を押します。アイコンが  に変わり調整種類選択の画面が表示されます。

- 3 [手動（実測）] を押します。

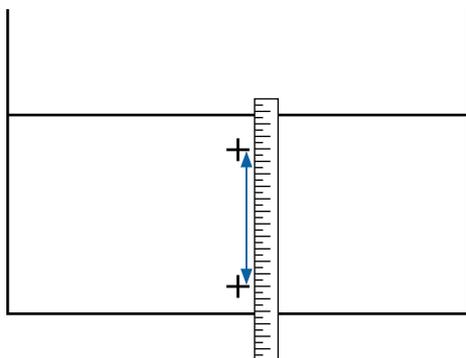
**4** [OK] を押して [開始] を押します。

調整パターンが印刷されます。印刷が終了するまでお待ちください。

印刷が終わると硬化を行い印刷終端がカット位置まで送られます。

**5** 印刷された調整パターンを確認します。

調整パターンの終端でカットして平らな面に広げてスケールで測ります。スケールは、0.5 mm まで測れるものを使ってください。



**6** 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

手順 5 で測った値を設定して [OK] を押します。プリントヘッドの位置調整も選択したときは、引き続きプリントヘッドの位置調整の調整パターン印刷確認画面に移行します。実際の使用状態に合わせて自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを自動巻取りユニットにセットしてから調整パターンを印刷してください。

[プリントヘッドの位置調整] を選択しなかったときは、[手動調整] が終了します。

## プリントヘッドの位置調整

印刷結果に粒状感があるときにも行います。

**1** 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

[🔗 「メディアのセット方法」 38 ページ](#)

[🔗 「自動巻取りユニットの使い方」 46 ページ](#)

**2**  (メニュー) を押し、[メディア設定] - [印刷調整] - [手動調整] の順に押します。

[プリントヘッドの位置調整] 左の  を押します。アイコンが  に変わります

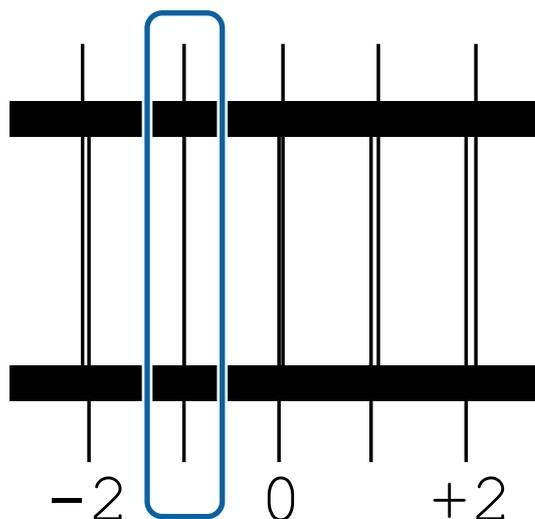
**3** [OK] を押して [開始] を押します。

調整パターンが印刷されます。印刷が終了するまでお待ちください。

**4** 印刷された調整パターンを確認します。

A、B の 2 ブロックが印刷されます。いずれも、最も線が細く見える（線が重なっている）パターンを選択します。以下の場合には、「-1」を選びます。

重なりやすれが同等のパターンが並んだときは、一旦細く見えると思うパターンを選び手順 6 を行い手順 7 で [はい] を押します。



**5** 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

**-/+** を押して手順 4 で確認した番号を設定し、**[OK]** を押します。

**6** チェックパターンの数だけ番号を設定し、**[OK]** を押します。

**7** 同じ調整を再度行うか選択します。

手順 5 で重なりやすれが同等のパターンが並んでいたときは **[はい]** を選択してください。入力した測定値を反映した調整パターンで再度調整が行えます。

**[いいえ]** を押すと **[プリントヘッドの位置調整]** が終了します。

## メディアの交換方法

メディアが残っている状態で、別のメディアと交換するときとメディアが終了したときに新しいメディアと交換するときの手順を説明します。

状況に応じて以下をご覧ください。

[🔗 「メディア終了時の交換方法」 55 ページ](#)

[🔗 「使用中のメディアの交換方法」 56 ページ](#)

## メディア終了時の交換方法

印刷の途中でメディアが終了すると、操作パネルの画面にメディアなしエラーが表示されます。

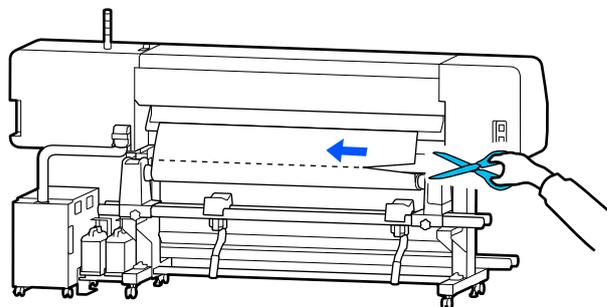
**1** メッセージの内容を確認します。

**【メディアがセットされていません。】と表示されたとき**

手順 3 に進みます。

**【背面に回り、ロールメディアをハサミで切り離します。】と表示されたとき**

市販のはさみを使って本機背面の紙管のすぐ上でメディアを切り離します。



**2** 画面で **[OK]** を押すと印刷できた部分までの硬化が始まります。

硬化が完了すると、**【メディアがセットされていません。】**と表示されます。

**3** 印刷を継続するときは、自動巻取りユニットからメディアを取り外して新しいメディアをセットします。

[🔗 「巻き取ったメディアの取り外し方」 57 ページ](#)

[🔗 「メディアのセット方法」 38 ページ](#)

- 4** 新しいメディアのセットが完了して印刷できる状態になると、続きの印刷が始まります。

## 使用中のメディアの交換方法

使用中のメディアを交換するときは、以下の順番で作業をしてください。

**1.メディアをカットする。**



**2.メディアを取り外す。**

「巻き取ったメディアの取り外し方」 57 ページ

## メディア残量値の印刷

事前に以下の2つの設定を [オン] にしていると、メディアをカット位置に送る操作をしたとき、メディアの残りの長さとお機の情報を印刷してからメディア端末がカット位置まで送られます。取り外す未印刷のメディアの長さを印刷しておき、次回このメディアをセットしたときは、印刷された長さを残量管理設定で入力すれば、正確な残量管理に役立ちます。

- [残量管理] - [オン]
- [用紙残量情報] - [オン]

本機の情報は、以下の通りです。[残量管理] を [オフ] にしていると、以下の内容だけが印刷されます。

- モデル名：本機の機種名
- シリアル番号：本機のシリアル番号
- 日時：印刷した日時
- バンク番号：印刷時に選択していた登録メディアの番号
- メディア種：印刷時に選択していた登録メディアのメディアタイプ
- メディア幅：自動検出したメディア幅値

## メディアのカット方法

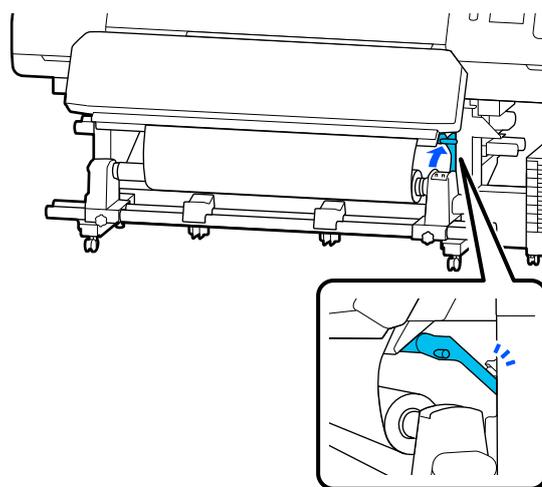
- 1** 印刷可能状態であることを確認します。
- 2** 印刷端末がカット位置（カッター溝の位置）になっているかを確認します。

現在選択している登録メディアの設定によっては印刷端末が以下のどちらかにあります。

**カット位置まで印刷端末が送られているとき**  
手順 3 に進みます。

**カット位置まで印刷端末が送られていないとき**  
操作パネルの画面で （カット位置にメディア送り）を押して印刷端末をカット位置まで送ります。

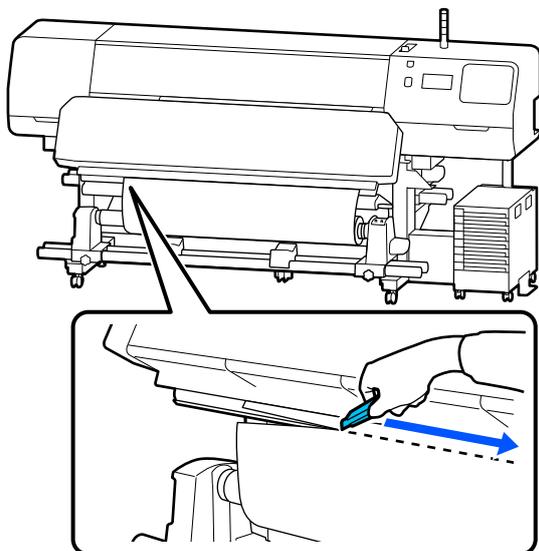
- 3** 自動巻取りユニットを使用しているときは、テンションバーを起こします。



- 4** カッターを垂直に持ち、カッターの刃がカッター溝の側面にしっかり沿うように移動させます。

**⚠ 注意**

- 硬化ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 硬化ヒーターの中に手を入れないでください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指を切らないように注意してください。

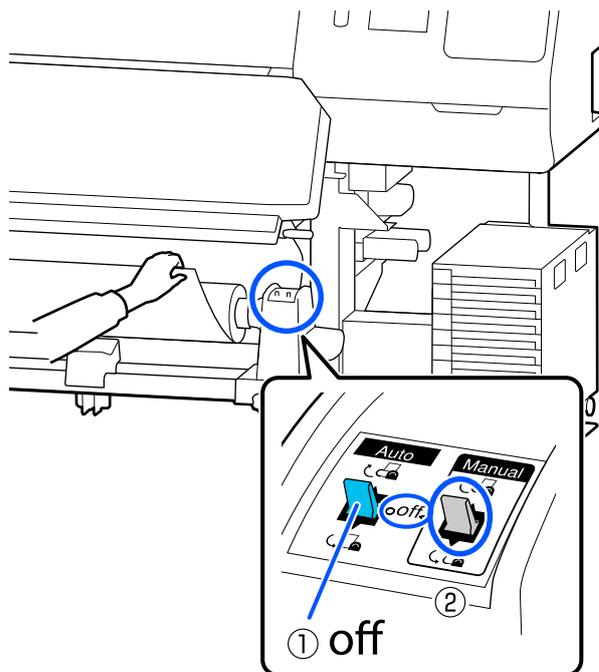


## 巻き取ったメディアの取り外し方

**⚠ 注意**

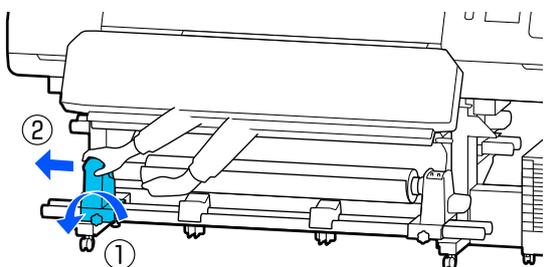
- 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2人以上で行ってください。
- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧ください。正しく作業してください。  
メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するおそれがあります。

- 1** **Auto** スイッチを **Off** にします。巻き取りの巻き仕様に応じて **Manual** スイッチを操作して、切り離れたメディアを最後まで巻き取ります。

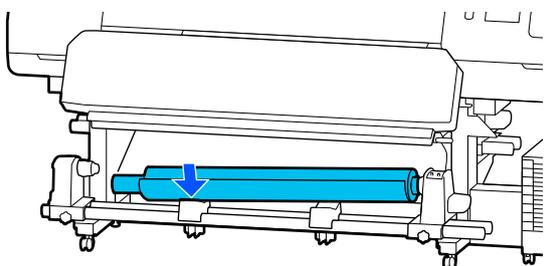


2 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの左側を下から支えます。

3 左側のメディアホルダーの固定ネジを緩めて、メディアホルダーを引き抜きます。

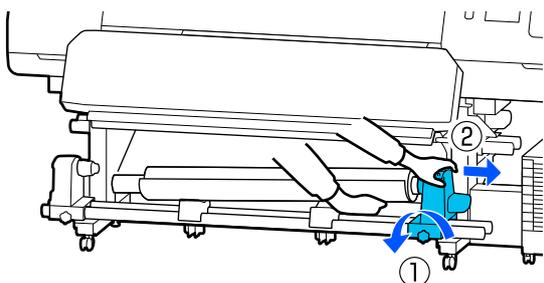


4 ロールをメディアサポート上に降ろします。

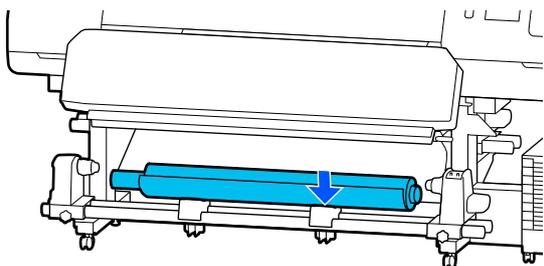


5 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの右側を下から支えます。

6 右側のメディアホルダーの固定ネジを緩めて、メディアホルダーを引き抜きます。



7 ロールをメディアサポート上に降ろします。



8 背面の搬送ユニットのメディアは、セットしたときと逆の手順で取り外します。

**！重要**

メディアを取り外した後はメディアセットレバーを正面側に倒してください。

## 印刷前の確認

印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートするに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。

### インク残量の確認 (SC-R5050 の場合)

印刷途中でインクが限界値以下になったときは、対象のインクパックを交換すれば印刷を続行できます。ただし、印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。あらかじめ、大量に印刷することがわかっているときは事前に残量が残り少ないインクパックを新品に交換しておくことをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。

インク残量は画面のアイコンで確認できます。☞ [「画面の見方」14 ページ](#)

インクパックの交換 ☞ [「交換方法」78 ページ](#)

### インク残量の確認 (SC-R5050L の場合)

インク残量が限界値以下になると、インク供給が自動で同色のもう一方のインクパックに切り替わります。そのまま印刷が継続されるので、現在稼働中のインクパックの残量が十分にあるうちに残量が限界値以下になった方のインクパックを交換してインクを補充してください。同色のインクパックが2個とも残量が限界値以下になると、印刷はできません

ホーム画面でインク状態を示すアイコンのエリアを押すと稼働状態・非稼働状態の両方のインクパックの残量状況を確認できます。

インクパックの交換 ☞ [「交換方法」78 ページ](#)

### ノズルチェックパターンの確認

ノズルチェックパターンを印刷すると、ノズルの状態をチェックができます。

印刷したノズルチェックパターンにバンディングやムラがあると感じるときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

☞ オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。

## 印刷途中に設定を変更する

印刷の途中で以下の設定を変更できます。

- メディアの送り量の補正
- 硬化ヒーター/プラテンヒーター/プリヒーターの設定温度
- 乾燥時間  
[乾燥動作] が [乾燥時間設定に従う] に設定されているときに限り、設定を変更できます。
- プラテンギャップ値

以降では、各ヒーターの温度設定の変更と印刷結果にバンディングが生じるときのメディアの送り量の補正方法を例として説明します。

### 各ヒーターの温度を変更したいとき

- 1 始動時調整画面の「設定」エリアの  を押します。

各ヒーターの設定温度を変更するエリアが展開されます。

ホーム画面からもヒーター温度のエリアを押して変更できます。



- 2 設定値を変更します。

目的のヒーターの絵の下に配置された  /  を押して温度を変更します。

- 3  を押すと設定温度変更エリアが格納され、現在選択している登録メディアの設定値が更新されます。

硬化ヒーターの設定温度は、選択している登録メディア番号の各パスモードごとに値が保持されます。ここで変更した設定値で、現在選択しているパスモードに設定されている値を更新します。

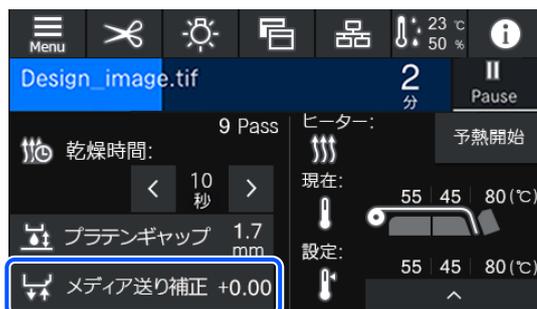
#### 参考

室温などにより、設定したヒーター温度になるまでに時間がかかることがあります。

### バンディングを補正したいとき

印刷中にバンディングを補正したいときは、メディアの送り量を補正します。

- 1 印刷の途中で始動時調整画面の以下のエリアを押します。



始動時調整画面になっていないときは、ホーム画面の  (画面切り替え) を押します。

- 2 画面の  / 、または操作パネルの  /  ボタンを押して値を変更します。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング(濃い色のスジ)が発生しますので  (または  ボタン) を押して+方向に調整します。逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング(白または薄い色のスジ)が発生しますので  (または  ボタン) -方向に調整します。

- 3 印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じるときは、さらに  / 、または操作パネルの  /  ボタンを押して値を変更します。

現在選択している登録メディア番号の設定値が更新されます。

**4** ← を押してホーム画面に戻ります。

**参考**

設定を変更した結果は、以下の操作を行うと解除されます。

- [メディア送り調整] をやり直す。
- [全て初期化] を実行する。

目的の印刷が終了したら、設定メニューで [印刷調整] を行うことをお勧めします。

🔗 [「メディア設定値の最適化 \(一括自動調整\)」 51 ページ](#)

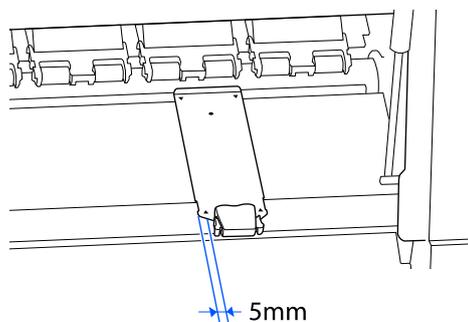
## 印刷可能領域

本機が認識するメディア左端・右端は、メディア幅自動検出の設定により以下の通り異なります。

メディア幅自動検出：セットしたメディアの左右端を本機が自動検出します。

【オン】

メディア押さえ板を取り付けたときは、メディアの左右両端から5mm内側をメディア端と認識します。

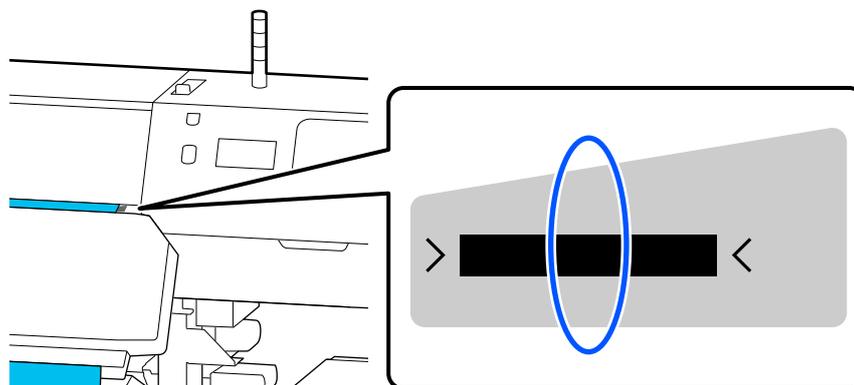


メディア押さえ板を正しく装着していないと、メディア端が正しく検出されません。

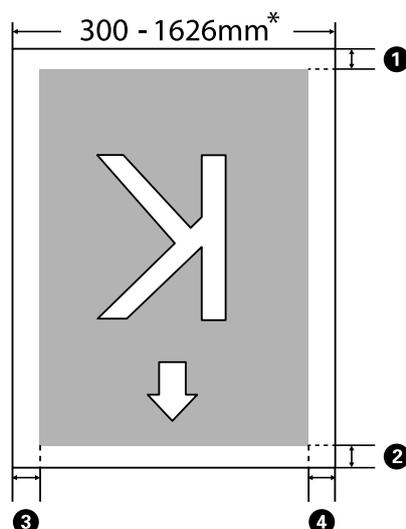
🔗 [「メディアのセット方法」38ページ](#)

メディア幅自動検出：下図のラベルの黒い四角の中央をメディア右端基準位置と認識します。メディア左端は、セットしているメディアの幅にかかわらず設定メニューの【メディア幅自動検出】 - 【オフ】で設定した値（300～1625.6 mm）になります。

【オフ】



下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。



\* メディア幅自動検出の設定が [オフ] のときは、そのとき設定した値 (300~1625.6 mm) になります。

①～④ は、四辺の余白を示しています。詳細は、下表の通りです。

| 余白位置      | 説明   | 設定有効範囲    |
|-----------|--|-----------|
| ① 後端*1    | [ページ間余白] で設定している値の 1/2 が余白として付加されます。RIP でも設定が可能です。                                       | 0~499.5mm |
| ② 先端*1    |  |           |
| ③ 右端*2、*3 | 本機のプリンター設定メニューの印刷開始位置とサイドマージン (右) で設定した値の合計値です。メーカー設定値は印刷開始位置が 0mm、サイドマージン (右) が 5mm です。 | 3~1000mm  |
| ④ 左端*2、*3 | 本機のプリンター設定メニューのサイドマージン (左) で設定した値です。メーカー設定値は 5mm です。                                     | 3~25mm    |

\*1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

\*2 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

\*3 余白を設定する際は、以下の点を守ってください。

- メディア押さえ板を取り付けるときは、余白を 5mm 以上に設定してください。それ以下に設定すると、メディア押さえ板の上に印刷されることがあります。
- 印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

**参考**

メディア幅自動検出を [オフ] に設定しているときは、以下の点を守らないと、メディアの左右にはみ出して印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

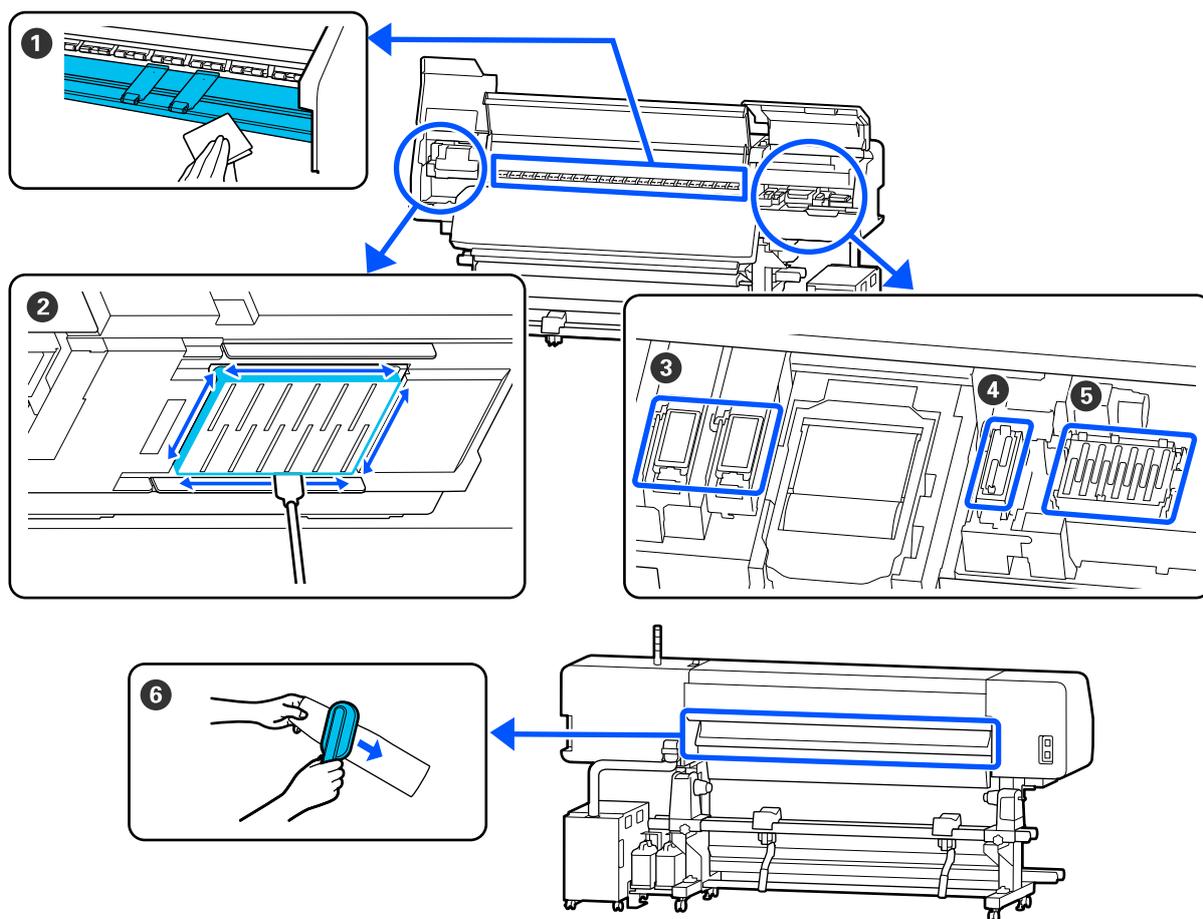
- 印刷データ幅がセットしたメディア幅を超えないようにしてください。
- メディアを右端基準位置より左側にセットするときは、[印刷開始位置] の設定をメディアをセットした位置に合わせてください。  
 オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。

# メンテナンス

## メンテナンスの種類と実施時期

### 定期清掃箇所と実施時期

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。



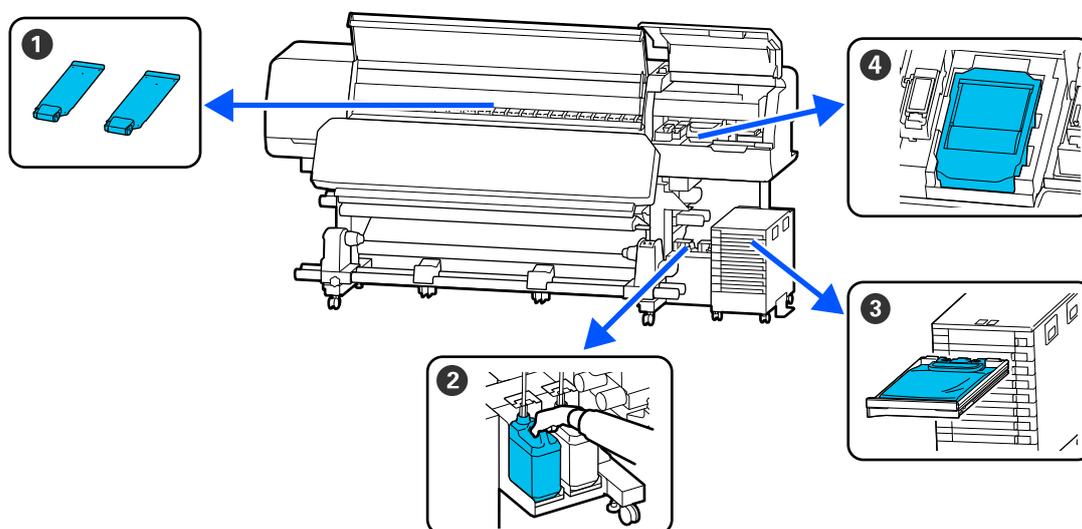
| 実施時期  | 清掃箇所  |
|---|---|
| 毎日の作業開始時  | <b>① プラテンヒーター・メディア押さえ板</b><br>☞ <a href="#">「毎日の清掃」 67 ページ</a>  |
| 操作パネルの画面に清掃を促すメッセージが表示されたとき<br>(定期的にメッセージが表示されます) | <b>② プリントヘッド周辺</b><br>☞ <a href="#">「プリントヘッド周辺の清掃」 68 ページ</a><br><b>③ フラッシング用吸引材</b><br>☞ <a href="#">「フラッシング用吸引材周辺の清掃」 74 ページ</a><br><b>④ 吸引キャップ</b><br>☞ <a href="#">「吸引キャップの清掃」 73 ページ</a><br><b>⑤ 乾燥防止キャップ</b><br>☞ <a href="#">「乾燥防止キャップの清掃」 70 ページ</a><br><br>手順は YouTube から動画でご覧いただけます。<br><a href="#">動画マニュアル</a> |

| 実施時期  | 清掃箇所                                   |
|---|--|
| 操作パネルの画面に清掃を促すメッセージが表示されたとき<br>(定期的にメッセージが表示されます) | ⑥ メディアクリーナー<br>🔗 「メディアクリーナーの清掃」 76 ページ |

**！重要**

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質が低下します。  
使用環境や使用メディアによっては、定期清掃の回数を増やしてください。

## 消耗品の箇所と交換時期



| 実施時期                             | 交換箇所   |
|----------------------------------|--|
| 変形したり破損したりしたとき                   | ① メディア押さえ板<br>🔗 オンラインマニュアルから「ユーザーズガイド」をご覧ください。                                   |
| 操作パネルの画面に交換を促すメッセージが表示されたとき      | ② 廃インクボトル<br>🔗 「廃インク処理」 80 ページ<br>④ ワイパーユニット<br>🔗 オンラインマニュアルから「ユーザーズガイド」をご覧ください。 |
| 操作パネルの画面にインク残量が限界値以下のエラーが表示されたとき | ③ インクパック<br>🔗 「インクパックのかくはんと交換」 77 ページ  |

## その他のメンテナンス

| 実施時期   | 実施事項  |
|--|---|
| インクユニットの LED ランプが青色点滅しているとき (1 週間に 1 度)  | インクパックのかくはん<br>☞ <a href="#">「かくはんの方法」 77 ページ</a>     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• ノズルが目詰まりしているか確認したいとき</li> <li>• 目詰まりしている色を確認したいとき</li> <li>• 水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング) が見られるとき</li> </ul> | プリントヘッドのノズルチェック<br>☞ オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。   |
| ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき   | プリントヘッドのクリーニング<br>☞ オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。    |
| メッセージで乾燥防止キャップの清掃を指示されたとき  | 乾燥防止キャップの清掃<br>☞ <a href="#">「乾燥防止キャップの清掃」 70 ページ</a> |
| 本機を長期間使用しない (電源を切る) とき   | 長期保管<br>☞ オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。              |
| 印刷結果にローラー汚れが付くとき   | 加圧ローラーの清掃<br>☞ オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。         |
| 本機内部が見えにくくなったと感じるとき  | プリンターカバー内側面の清掃<br>☞ オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。    |

## 準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。  
インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。

🔗 [「消耗品とオプション」82 ページ](#)

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

### 保護メガネ（市販品）

インクや洗浄液が目に入らないように保護します。

### マスク（市販品）

インクや洗浄液が口や鼻に入らないように保護します。

### 柔らかい布（市販品）

本機内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお勧めします。

## 作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って行ってください。

### ⚠️ 注意

- インクパック、クリーニングインクパック、洗浄液、廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。  
インクや廃インク、洗浄液が皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
  - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
  - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- 廃インクボトルの交換や洗浄液を使った作業の後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- プrintヘッド周辺や吸引キャップ周辺の清掃には、指定の洗浄液以外は使わないでください。指定以外のものを使うと本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

## 定期清掃の仕方

### 毎日の清掃

プラテンヒーター上やメディア押さえ板に毛羽ゴミやホコリ、インクが付着していると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。

きれいな状態で印刷が行えるように、毎日の作業開始前に清掃することをお勧めします。

#### ⚠ 注意

- 硬化ヒーターやヒーター、メディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 硬化ヒーターの中に手を入れないでください。火傷のおそれがあります。
- プリンターカバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをすることがあります。

#### ! 重要

プラテンヒーターの清掃には、洗浄液を使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。

- 1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

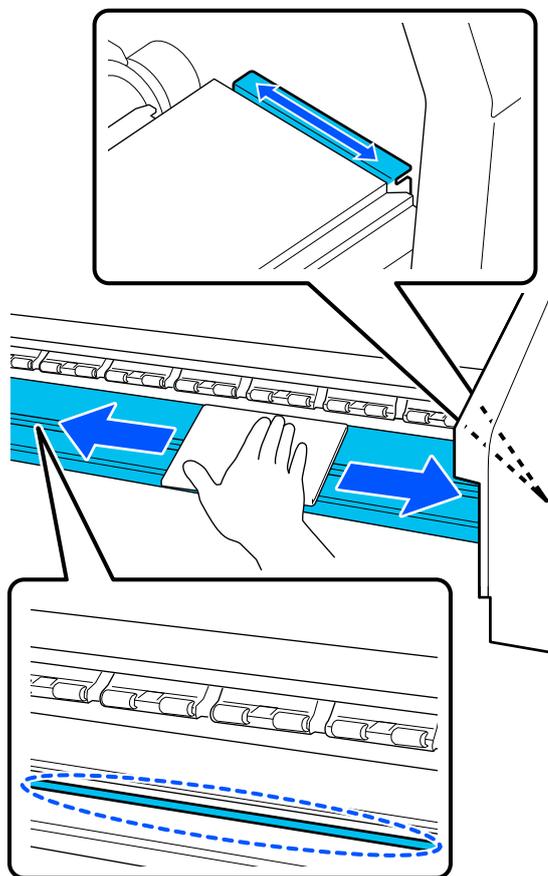
電源プラグは2つとも抜きます。

- 2 電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

- 3 プリンターカバーを開けます。

- 4 水に浸してよく絞った柔らかい布で、プラテンヒーターとプラテン右端の部品に付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれいに取り除いてください。



- 5 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押さえ板の表面に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。

#### ! 重要

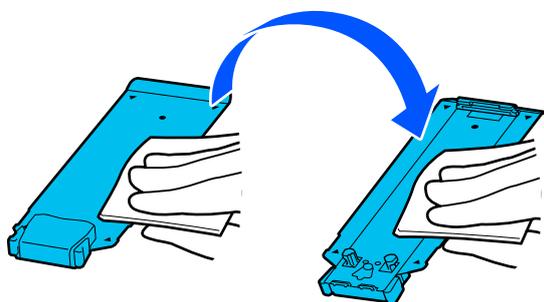
のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取ってください。裏面にのりが固着したまま使用し続けると、ヘッドこすれの原因になることがあります。

#### のり付きメディアを使用したとき・インクが付着したとき

メディア押さえ板を本機から取り外して、表裏両面の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてください。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方  オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。



**！重要**

- 一度清掃に使った洗浄液は、次回清掃時に使わないでください。汚れた洗浄液を使うと、かえって汚れが付着します。
- 使用済みの洗浄液は、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。  
 「使用済み消耗品の処分」81 ページ
- 洗浄液を使用後は、蓋をしっかり閉めて高温多湿、直射日光を避けて常温で保管してください。

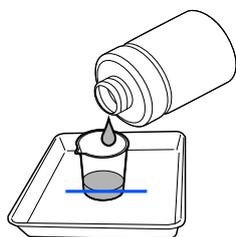
## 洗浄液の使い方

洗浄液は、マニュアルで指示した清掃箇所に関り使用してください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

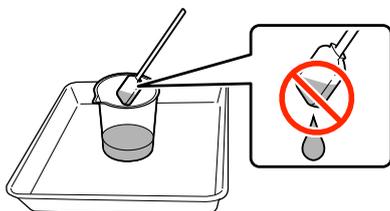
 「作業時のご注意」66 ページ

- 1 クリーニングキットに付属の容器をトレイに載せて洗浄液を約 10ml 注ぎます。



- 2 クリーニング棒に洗浄液を染み込ませます。

このとき、クリーニング棒から洗浄液が垂れないように注意してください。



## プリントヘッド周辺の清掃

操作パネルの画面にプリントヘッド周辺の清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら、以下の手順で清掃を行ってください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

 「作業時のご注意」66 ページ

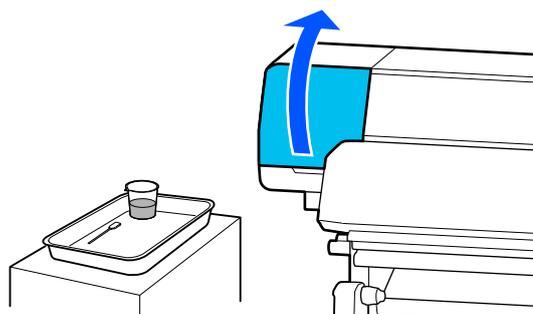
**！重要**

操作パネルの画面にプリントヘッド周辺の清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら、速やかに清掃を行ってください。そのまま使い続けると、印刷品質が低下します。

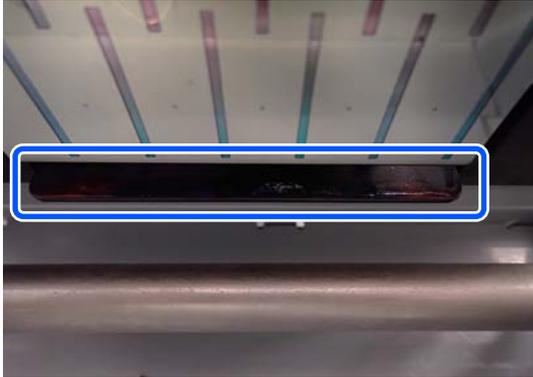
- 1 操作パネルの画面にプリントヘッド周辺の清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら【開始】を押します。

プリントヘッドが左側端のメンテナンスポジションに移動します。

- 2 画面にメンテナンスカバーを開ける指示が表示されたのを確認して左側のメンテナンスカバーを開けます。

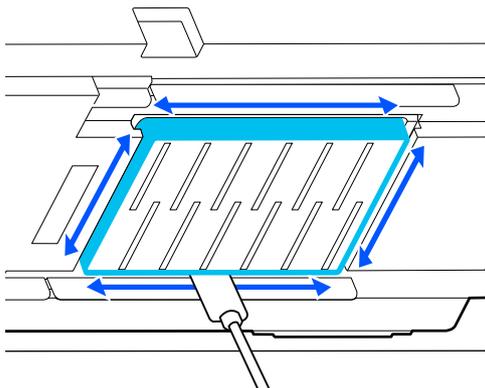
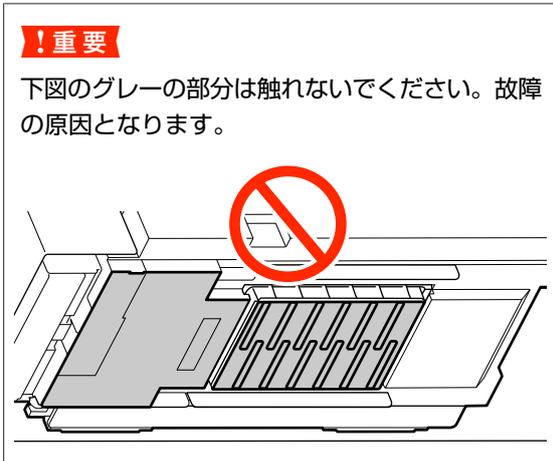


- 3** プリントヘッド周辺が汚れているか確認します。  
 写真のように汚れているときは清掃が必要です。手順4に進みます。  
 汚れていないときは、手順8に進みます。



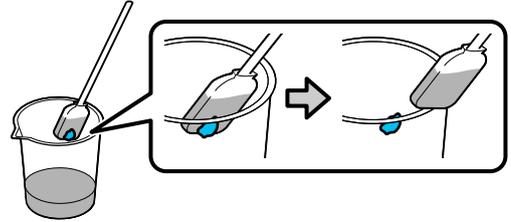
- 4** クリーニング棒に洗浄液を染み込ませます。  
 クリーニング棒、洗浄液とも新品をお使いください。  
 📖 「洗浄液の使い方」 68 ページ

- 5** 図で示した側面（4 辺）とプレートの角の部分に固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

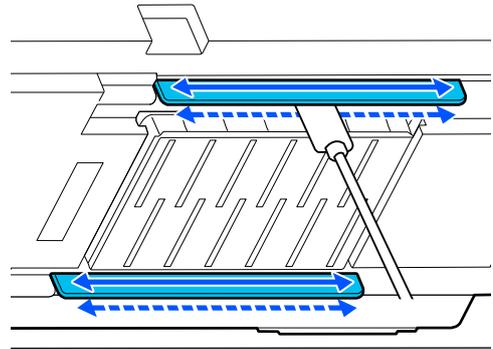


**！重要**

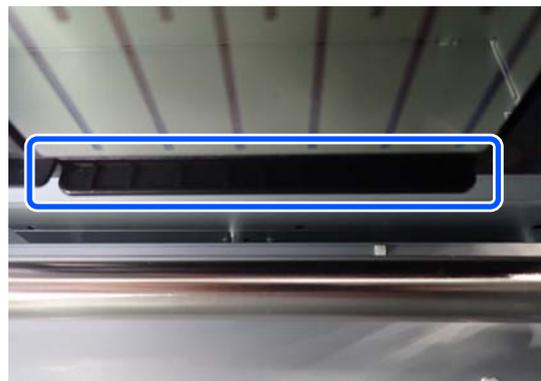
- クリーニング棒が汚れたら、洗浄液ですすぎながら拭き取ってください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いたときは、カップのフチでクリーニング棒に付着した固まりを取り除いてください。



- 6** 図の■部分のそれぞれ手前と裏側のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



- 7** 写真のように汚れが残っていない状態になったことを確認します。



- 8** 左側のメンテナンスカバーを閉めます。

- 9** 操作パネルの画面で [終了] を押します。  
 プリントヘッド周辺の清掃が終了します。

## 乾燥防止キャップの清掃

操作パネルの画面に乾燥防止キャップの清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら、以下の手順で清掃を行ってください。

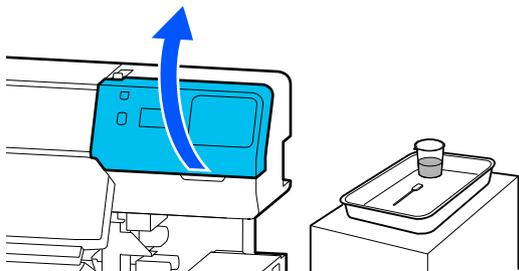
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ 「作業時のご注意」 66 ページ

- 1 操作パネルの画面に乾燥防止キャップの清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら [開始] を押します。

プリントヘッドが左側端のメンテナンスポジションに移動します。

- 2 右側のメンテナンスカバーを開けます。



- 3 乾燥防止キャップが汚れているか確認します。

写真のように汚れているときは清掃が必要です。手順 4 に進みます。

汚れていないときは、手順 11 に進みます。



- 4 クリーニング棒に洗浄液を染み込ませます。

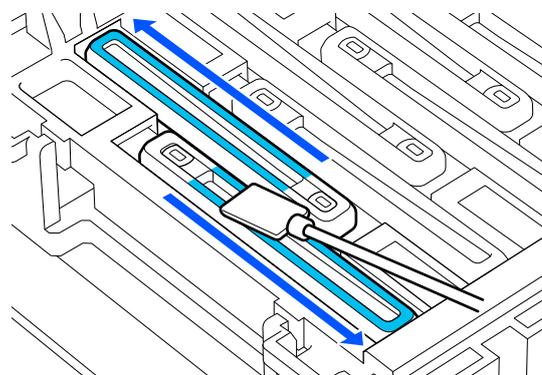
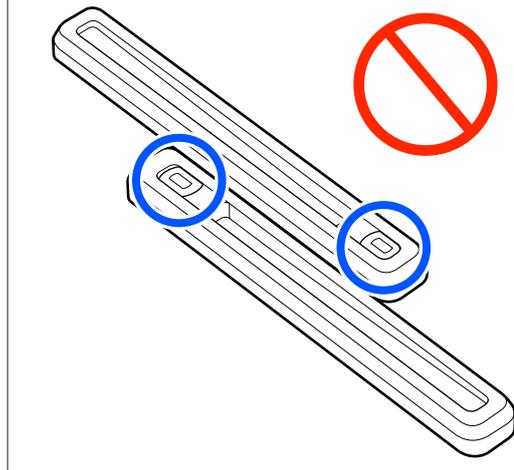
☞ 「洗浄液の使い方」 68 ページ

- 5 クリーニング棒を平らにして、キャップの上面のフチを拭き取ります。

逆向きに並んだ 2 個のキャップに対して手順 4～手順 7 まで通して作業をします。

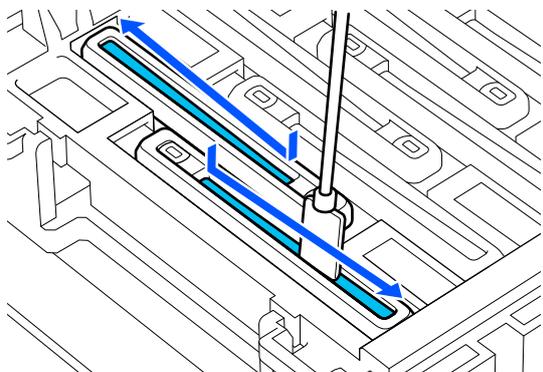
### !重要

清掃の際は、キャップ内の穴の部分には触れないでください。洗浄液が穴に入ってキャップが正常に動作しなくなるおそれがあります。



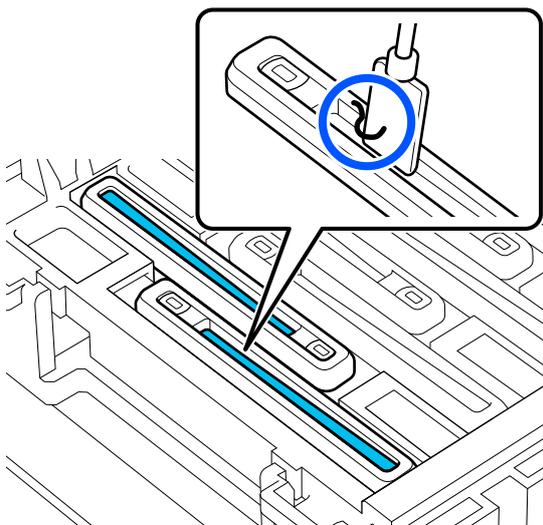
- 6** クリーニング棒を縦にして、キャップの内側を拭き取ります。

キャップ内の穴周辺は避けて、穴から反対側へ方向にのみクリーニング棒を動かして拭き取ってください。



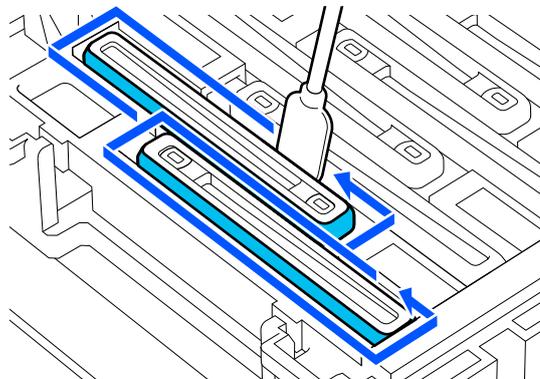
**キャップに毛羽ゴミ、ホコリが付いているとき**

クリーニング棒の先端で取り除きます。



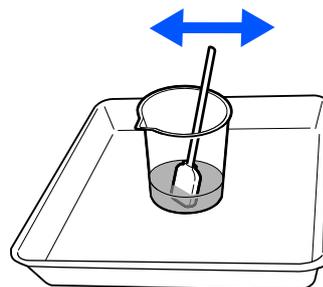
- 7** クリーニング棒を縦にして、清掃するキャップの外周を拭き取ります。

キャップ内の穴の周辺は避けて拭き取ってください。



- 8** 清掃に使ったクリーニング棒を洗浄液の入ったカップ内ですすぎます。

すすぎ終わったら、クリーニング棒から洗浄液が垂れないようにカップのフチで液を切ります。

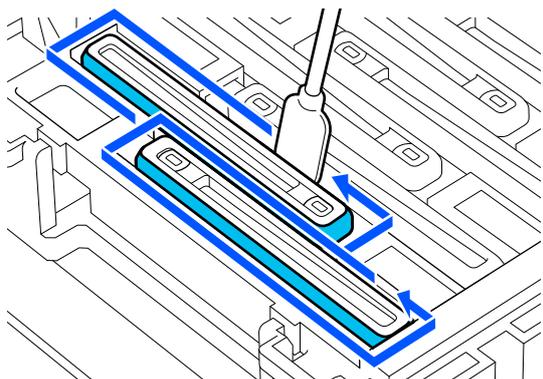
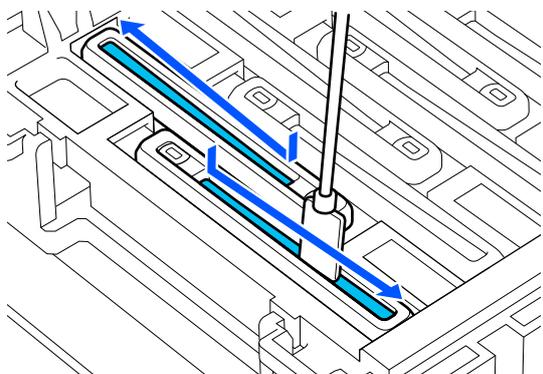
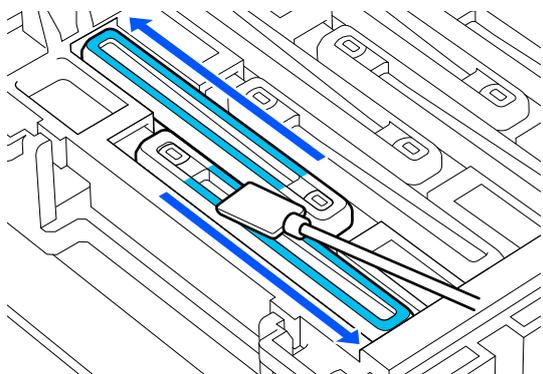


- 9** 別の汚れた乾燥防止キャップを清掃します。

手順 5~8 を繰り返して汚れている乾燥防止キャップを全て清掃します。

乾燥防止キャップが全てきれいになったら手順 10 に進みます。

- 10** 新品の乾いたクリーニング棒で、キャップの上面のフチ、内側、外周に付いたインクや洗浄液を全て拭き取ります。



下図のようにインクや洗浄液を残さず全て拭き取ったら清掃は完了です。インクや洗浄液が残っていると、ノズルの目詰まりが発生することがあります。



- 11** 右側のメンテナンスカバーを閉めます。
- 12** 操作パネルの画面で [完了] を押します。  
乾燥防止キャップの清掃が終了します。

## 吸引キャップの清掃

操作パネルの画面に吸引キャップの清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら、以下の手順で清掃を行ってください。

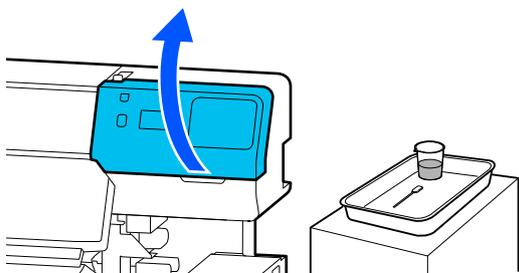
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ 「作業時のご注意」 66 ページ

- 1 操作パネルの画面に吸引キャップの清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら [開始] を押します。

プリントヘッドが左側端のメンテナンスポジションに移動します。

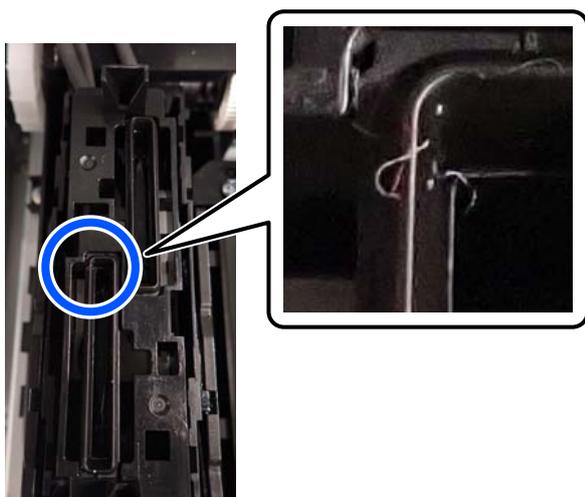
- 2 右側のメンテナンスカバーを開けます。



- 3 吸引キャップが汚れているか確認します。

写真のように汚れているときは清掃が必要です。手順 4 に進みます。

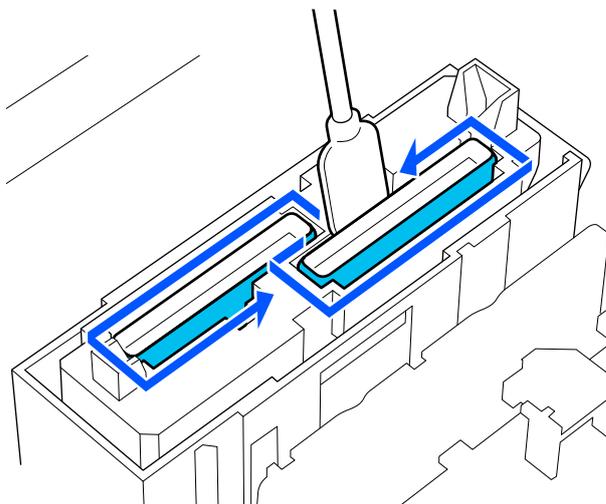
汚れていないときは手順 9 に進みます。



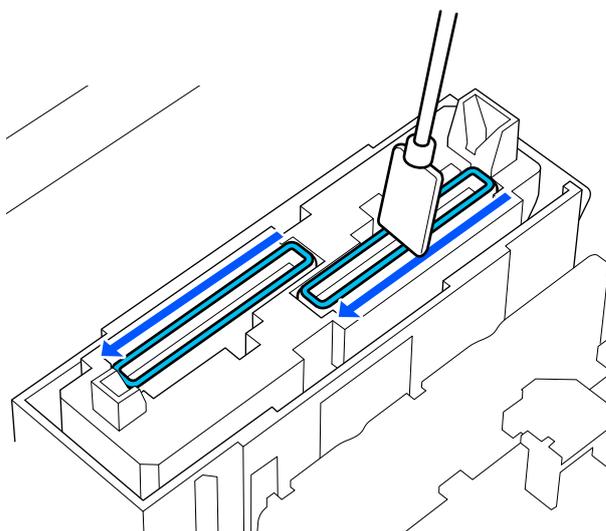
- 4 クリーニング棒に洗浄液を染み込ませます。クリーニング棒、洗浄液とも新品をお使いください。

☞ 「洗浄液の使い方」 68 ページ

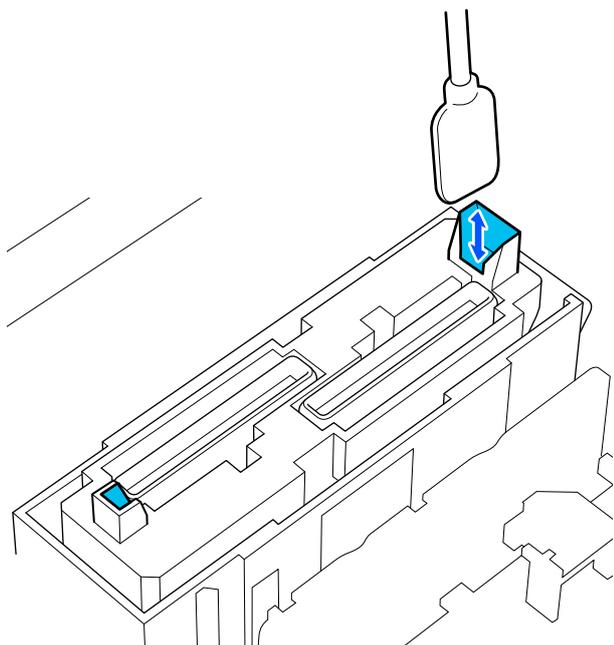
- 5 クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外周を拭き取ります。



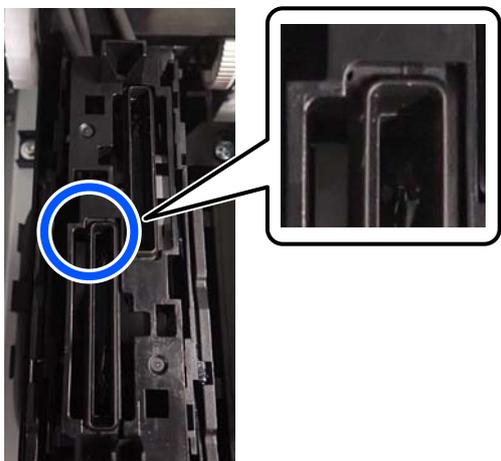
- 6 クリーニング棒を平らにして、全てのキャップの上面のフチを拭き取ります。



- 7 クリーニング棒を縦にしてガイド部の内側を拭き取ります。



- 8 写真のように汚れが残っていない状態になったことを確認します。



- 9 右側のメンテナンスカバーを閉めます。

- 10 操作パネルの画面で【終了】を押します。  
吸引キャップの清掃が終了します。

## フラッシング用吸収材周辺の清掃

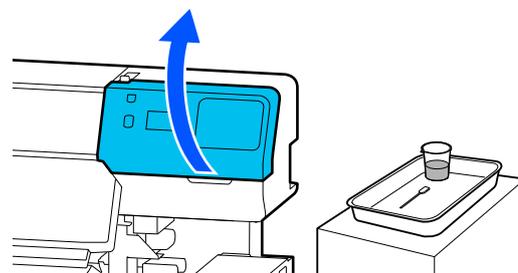
操作パネルの画面にフラッシング用吸収材周辺の清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら、以下の手順で清掃を行ってください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

「作業時のご注意」66 ページ

- 1 操作パネルの画面にフラッシング用吸収材周辺の清掃時期になったことを通知するメッセージが表示されたら【開始】を押します。

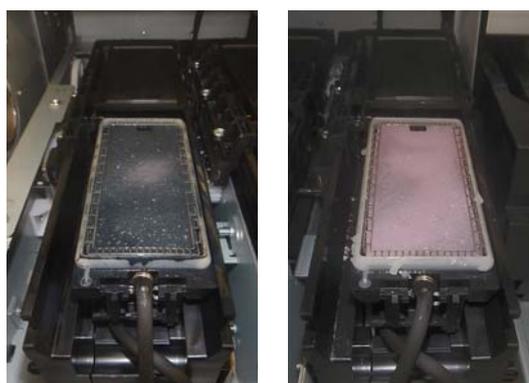
- 2 右側のメンテナンスカバーを開けます。



- 3 フラッシング用吸収材のフチの部分と左右のレールが汚れているか確認します。

写真のように汚れているときは清掃が必要です。手順4に進みます。

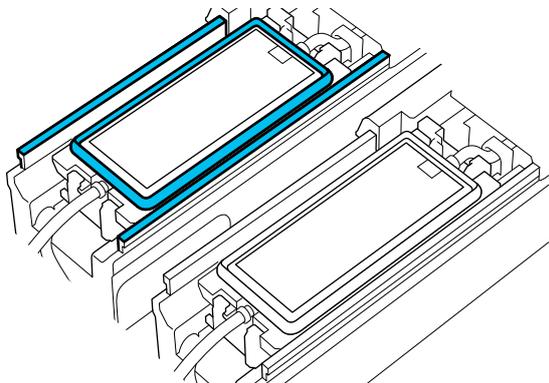
汚れていないときは、手順9に進みます。



- 4 クリーニング棒に洗浄液を染み込ませます。  
クリーニング棒、洗浄液とも新品をお使いください。

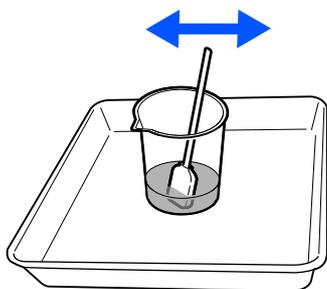
「洗浄液の使い方」68 ページ

- 5 クリーニング棒の先端で図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

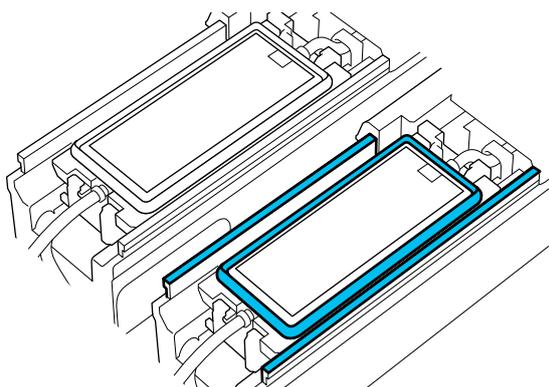


- 6 清掃に使ったクリーニング棒を洗浄液の入ったカップ内ですすぎます。

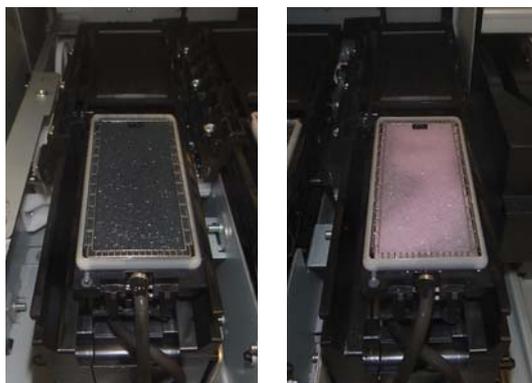
すすぎ終わったら、クリーニング棒から洗浄液が垂れないようにカップのフチで液を切ります。



- 7 クリーニング棒の先端で図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



- 8 写真のように汚れが残っていない状態になったことを確認します。



- 9 メンテナンスカバーを閉めます。

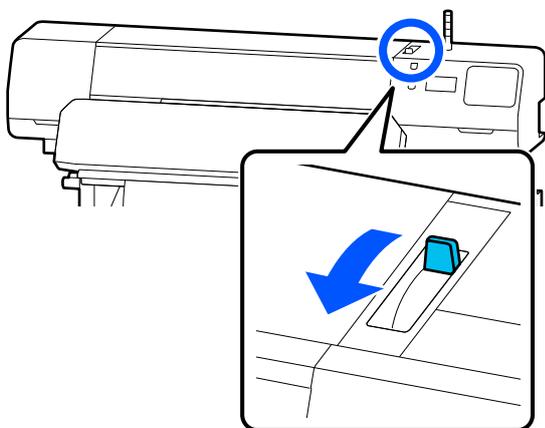
- 10 操作パネルの画面で [終了] を押します。フラッシング用吸収材周辺の清掃が終了します。

## メディアクリーナーの清掃

メディアクリーナーが汚れると、メディア表面のゴミやホコリを十分に拭き取れないためノズルの目詰まりなどの不具合が発生するおそれがあります。

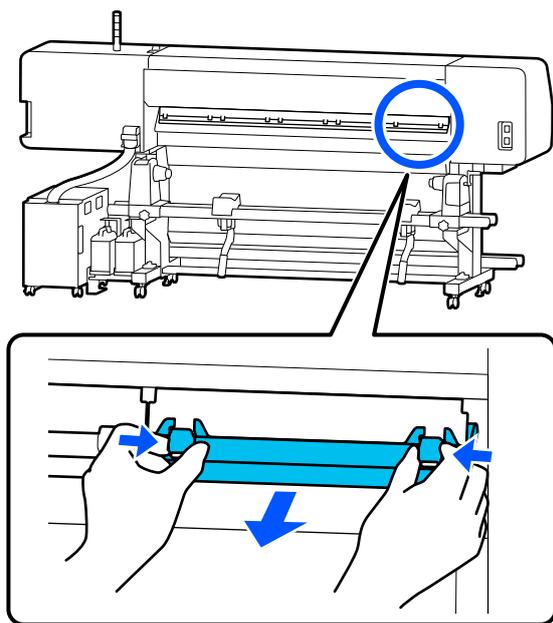
操作パネルの画面に [メディアクリーナーを清掃してください。清掃が終わったら [OK] を押してください。] とメッセージが表示されたら、本機に付属のメディアクリーナーブラシで清掃してください。

- 1 画面のメッセージを確認し、メディアセットレバーが正面側に倒れていることを確認します。



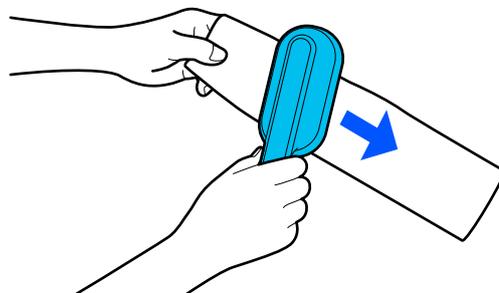
- 2 背面に移動してメディアクリーナーを取り外します。

ツマミの両側を押したまま引き抜きます。



- 3 付属のメディアクリーナーブラシを一方方向に動かして表面のゴミやホコリを拭き取ります。

ブラシ面には拭き取り方向があります。拭き取ると、返ってホコリがつくときは逆方向に動かしてください。

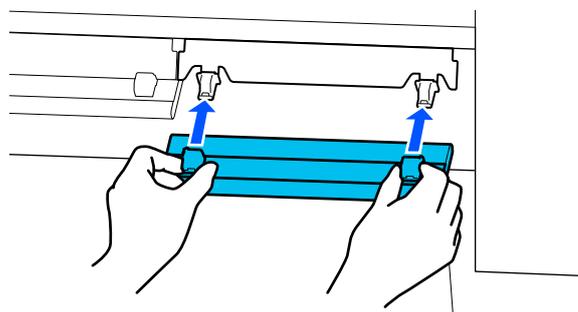


### 参考

拭き取り方向は切り替えることができます。

- 4 清掃済みのメディアクリーナーを本機に取り付けます。

ツマミを持ってカチッと音がするまで差し込みます。



- 5 手順 2~4 を繰り返して全てのメディアクリーナーを清掃します。

- 6 清掃が完了したら画面の [終了] を押します。

# インクパックのかくはんと交換

## かくはんの方法

### かくはんのタイミングと回数

**！重要**

本機のインクパックは、インクの特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。

新品に交換するとき、およびインクユニットに装着後も定期的に取り外してインクパックをかくはんしてください。

• 交換時

10 秒間に 10 回程度

OP と ML、クリーニングインクパックは、かくはん不要です。

• 1 週間に 1 度

LED ランプが青色点滅しているインクパケットレイを取り出してかくはんしてください。印刷品質を保つために青点滅した状態で使い続けしないでください。

5 秒間に 5 回程度

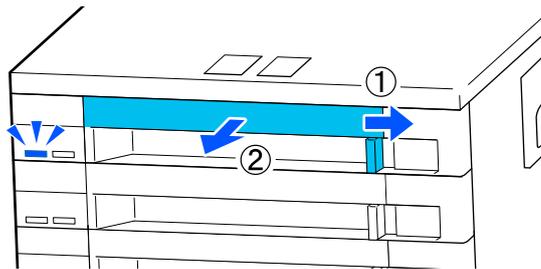
## 振り方

**1** 本機の電源が入っていることを確認してインクユニットからかくはん対象のインクパケットレイを引き出します。

LED ランプが青点滅しているのがかくはんが必要なインクパックです。

**！重要**

インクパケットレイを取り出すときは、インクパケットレイ底面に手を添えてください。片手で作業をすると、インクパケットレイを引き抜いたときに重さでインクパケットレイが落下し破損するおそれがあります。

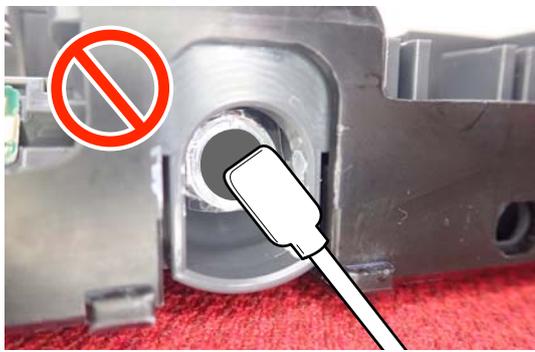


**参考**

インクパケットレイを引き出した際は、インクパックのインク供給孔を確認してください。写真のようにインクが垂れたり、インクが底面にたまったりしているときは、垂れたり、たまったりしているインクをクリーニング棒で拭き取ってください。

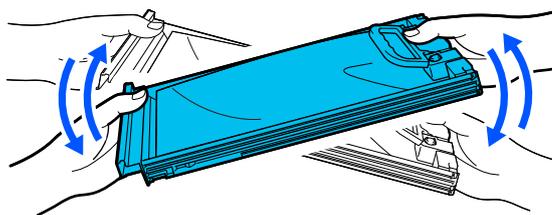


拭き取る際は、インク供給孔に触れないでください。



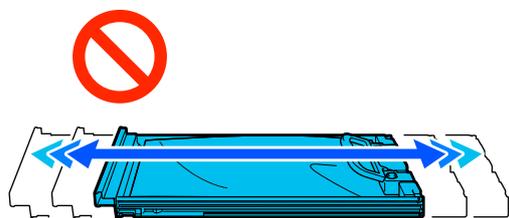
**2** インクパックがインクパケットレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 5 秒間に 5 回程度、よく振ります。

OP と ML、クリーニングインクパックは、かくはん不要です。



**！重要**

- インクパックがセットされたインクパケットレイやインクパックを強く振ったり、振り回したりしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

## 交換方法

**！重要**

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

### SC-R5050

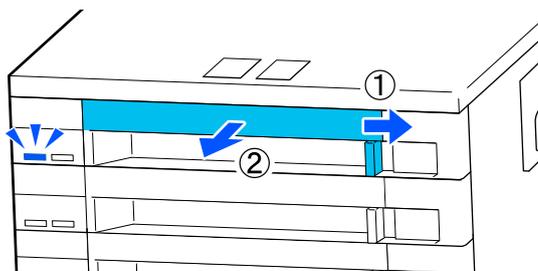
1色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクパックと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。インクパックとクリーニングインクパックの交換は、以降の手順で行います。

### SC-R5050L

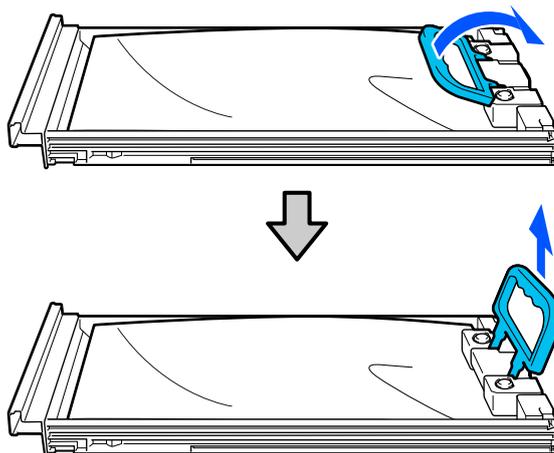
インク残量が限界値以下になると、インク供給が自動で同色のもう一方のインクパックに切り替わります。そのまま印刷が継続されるので、現在稼働中のインクパックの残量が十分にあるうちに残量が限界値以下になった方のインクパックを交換してインクを補充してください。一方のインクパックが稼働中なら、印刷中でももう一方のインクパックを交換できます。同色のインクパックが2個とも残量が限界値以下になると、印刷はできません。インクパックとクリーニングインクパックの交換は、以降の手順で行います。

- 1 本機の電源が入っていることを確認します。

- 2 インクユニットから交換するインクパックが入っているインクパケットレイを引き出します。



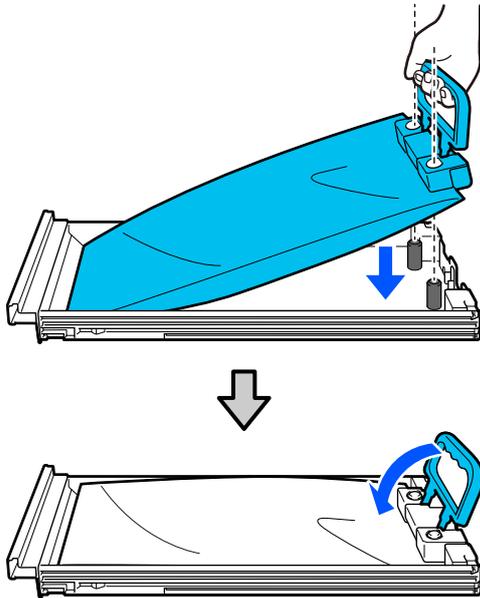
- 3 インクパックをインクパケットレイから取り外します。



**！重要**

取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

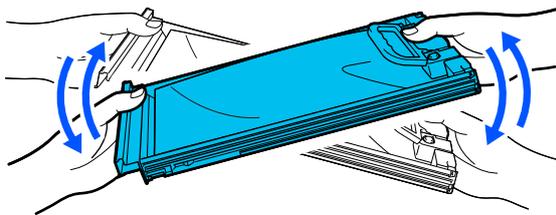
- 4** 新しいインクパックをインクパケットレイにセットしてハンドルを倒します。



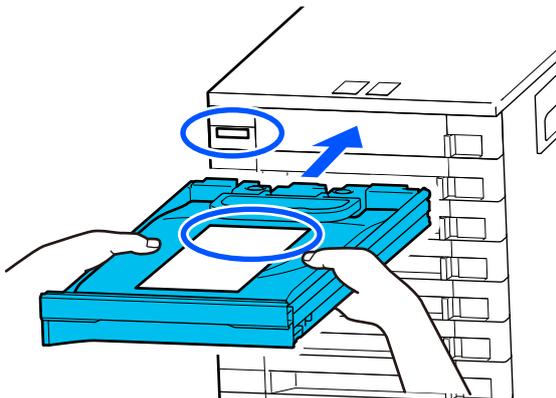
- 5** インクパックがインクパケットレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 10 秒間に 10 回程度、よく振ります。

OP と ML、クリーニングインクパックは、かくはん不要です。

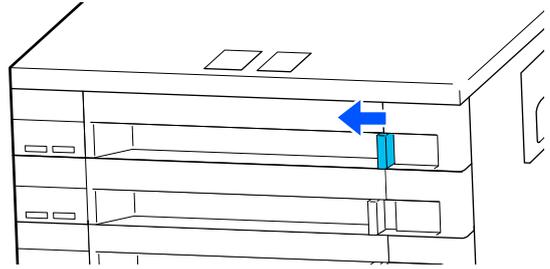
インクユニットに装着後かくはんを指示されたときは、5 秒間に 5 回程度よく振ります。



- 6** インクパックとインクユニットに貼付のラベルの色を合わせてインクパケットレイを奥まで押し込みます。



- 7** ロックスイッチを左に動かしてロックします。



別の色のインクパックも交換するときは、手順 2～手順 7 を行います。

**！重要**

全インクパケットレイにインクパックをセットしてインクユニットに装着してください。インクパックがセットされていないインクパケットレイやインクユニットに装着されていないインクパケットレイが 1 色でもあると印刷できない、または故障の原因となります。

インクパックの廃棄 ☞ [「使用済み消耗品の処分」](#)  
81 ページ

# 廃インク処理

## 準備と交換時期

【廃インクボトルの交換時期が近づいています。新しい廃インクボトルを用意してください。交換の案内が表示されるまで印刷できます。】と表示されたとき

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。夜間稼働などのため、この段階でメッセージで指示された方の廃インクボトルを交換するときは、設定メニューから【廃インクボトル交換】を実施して交換作業を行ってください。【廃インクボトル交換】を実施せずに交換すると、廃インクカウンターが正しく働かなくなります。プリンターのお手入れメニュー [☞ オンラインマニュアル](#) から『ユーザーズガイド』をご覧ください。廃インクカウンター [☞ 「廃インクカウンターについて」 80 ページ](#)

### ！重要

印刷中や本機が以下の動作を実行中は、画面の指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

- プリントヘッドのクリーニング
- 長期保管

【廃インクボトルの交換時期です。】と表示されたとき

直ちにメッセージで指示された方の廃インクボトルを新品と交換してください。

交換方法 [☞ 「廃インクボトルの交換」 80 ページ](#)

## 廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。【廃インクボトルの交換時期です。】のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューの【廃インクボトル交換】を実行してください。プリンターのお手入れメニュー [☞ オンラインマニュアル](#) から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

### ！重要

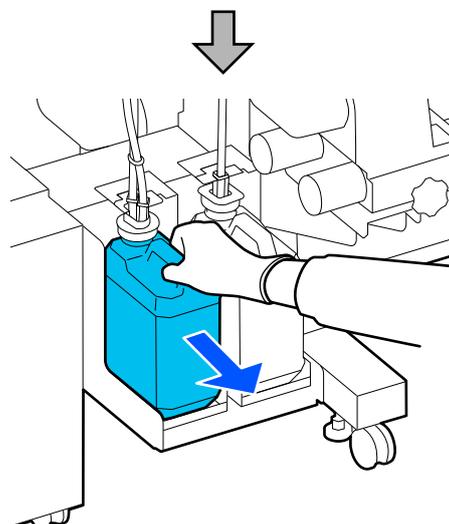
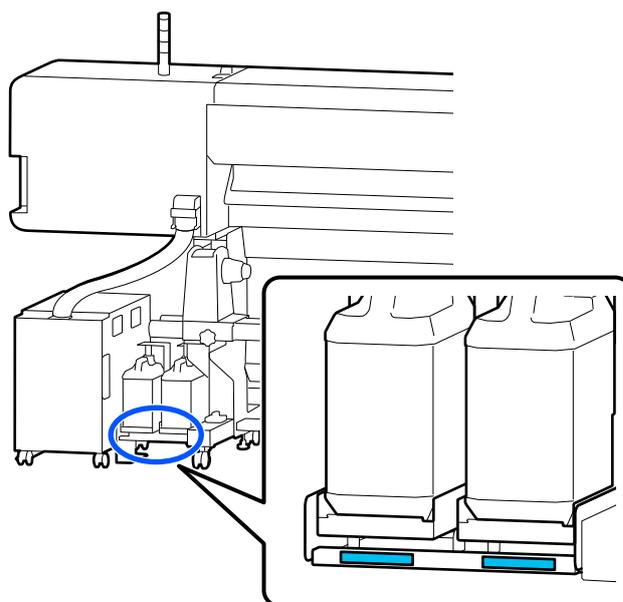
メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

## 廃インクボトルの交換

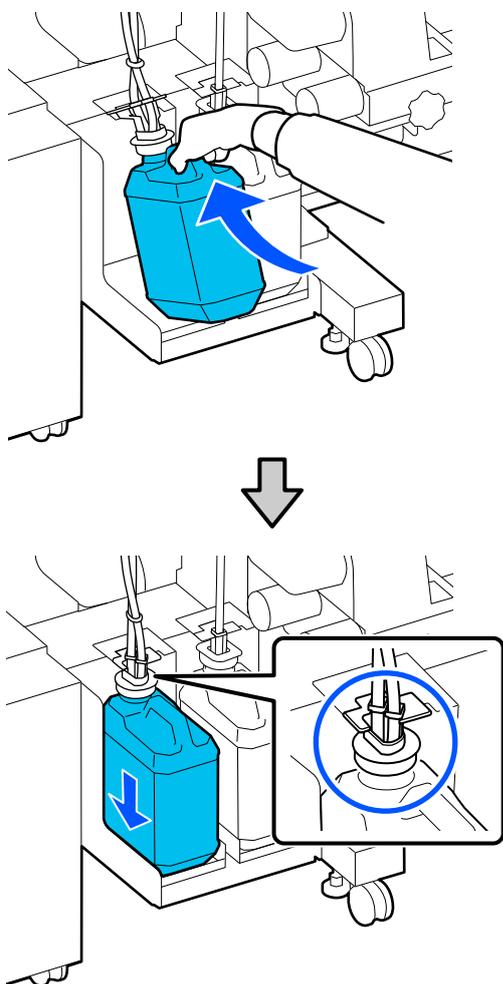
以降の手順に従って、交換作業を行います。作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[☞ 「作業時のご注意」 66 ページ](#)

- 1 メッセージで指示された方の廃インクボトルをラベルで確認して廃インクボトルホルダーから取り出します。



- 2** 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。



使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

**！重要**

新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。

- 3** [OK] を押します。

- 4** 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。[完了] を押すと、廃インクカウンターがクリアされます。

**！重要**

必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

**参考**

廃インクを廃インクボトルから別の容器に移すときは、以下の点に留意してください。

- 移し替える側の容器は、PE 製をお使いください。
- 本製品に付属のそそぎ口を廃インクボトルの口に取り付けて廃インクを移してください。
- 慎重に注いでください。勢いよく注ぐと廃インクがこぼれたり飛び散ったりします。
- 廃インクを移し替えた容器は、しっかりと蓋を閉めて火気の無い場所で保管してください。
- カラーインクの廃インクと OP の廃インクは混ぜても有毒ではありません。ただし、混ぜると固まり堆積します。

使用済み廃インクと廃インクボトルの廃棄 「使用済み消耗品の処分」 81 ページ

## 使用済み消耗品の処分

使用済みの以下のインク付着物は産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- クリーンルーム用ワイパー
- 洗浄液
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ワイパーユニット
- 印刷後のメディア
- 空のインクパック

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。製品安全データシートは、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

# 付録

## 消耗品とオプション

最新の情報は、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。(2020年6月現在)

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

## インクパック

### SC-R5050

| 商品名    |            | 型番       |
|--------|------------|----------|
| インクパック | ブラック       | SC22BK15 |
|        | シアン        | SC22C15  |
|        | マゼンタ       | SC22M15  |
|        | イエロー       | SC22Y15  |
|        | ライトシアン     | SC22LC15 |
|        | ライトマゼンタ    | SC22LM15 |
|        | オブティマイザー   | SC22OP15 |
|        | メンテナンスリキッド | SC22ML15 |

### SC-R5050L

同色2個が1セットとなっています。

| 商品名    |            | 型番       |
|--------|------------|----------|
| インクパック | ブラック       | SC22BK30 |
|        | シアン        | SC22C30  |
|        | マゼンタ       | SC22M30  |
|        | イエロー       | SC22Y30  |
|        | ライトシアン     | SC22LC30 |
|        | ライトマゼンタ    | SC22LM30 |
|        | オブティマイザー   | SC22OP30 |
|        | メンテナンスリキッド | SC22ML30 |

## メンテナンス用品

| 商品名          | 型番       | 備考  |
|--------------|----------|---|
| クリーニングインクパック | SC22CLL  | 長期保管時に使用します。  |
| ワイパーユニット     | SC22FW   | 以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>• ワイパーユニット (1 個)</li> <li>• 手袋 (2 枚)</li> </ul> |
| クリーニングキット    | SC16CK   | 製品付属のクリーニングキットと同等品です。   |
| 廃インクボトル      | SC17WIB  | 製品付属の廃インクボトルと同等品です。1 個入りです。   |
| メディアクリーナーブラシ | SCF10MCB | 製品付属のメディアクリーナーブラシと同等品です。  |
| メディア押さえ板     | SCR5MEP  | 製品付属のメディア押さえ板と同等品です。  |
| 保温板          | SC22TS   | 製品付属の保温板と同等品です。   |
| クリーニング棒      | SC2CS    | 製品付属のクリーニングキットに付属のものと同等品です。   |
| クリーンルーム用ワイパー | SC2CRW   | 製品付属のクリーンルーム用ワイパーと同等品です。  |

## 使用可能なメディア

本機で使用できるメディアの仕様は、以下の通りです。メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響します。用途に合った適切なメディアをお使いください。また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュアルをご覧になるか、メーカーに詳細をお問い合わせください。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメディアに印刷したときの仕上がり具合を確認しておくことをお勧めします。

### ！重要

しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。

### ロールメディア

|            |   |
|------------|---|
| 紙管サイズ (芯径) | 2 インチ、3 インチ                               |
| ロール外径      | メディア搬送ユニット:最大 250mm<br>自動巻取りユニット:最大 200mm |
| メディア幅      | 300~1626 mm (64 インチ)                      |
| メディア厚さ     | 最大 1mm                                    |
| ロール重量      | 最大 45kg                                   |

## パス数別の印刷長とジョブの作り方

### パス数別の印刷長一覧

| パス数     | メディア幅    |         |
|---------|----------|---------|
|         | 54 インチ以下 | ～64 インチ |
| 1 pass  | 253.7 m  | 228.8 m |
| 4 pass  | 70.4 m   | 62.7 m  |
| 5 pass  | 56 m     | 49.9 m  |
| 6 pass  | 43.1 m   | 38.5 m  |
| 9 pass  | 31 m     | 27.7 m  |
| 14 pass | 19.5 m   | 17.4 m  |
| 20 pass | 13.5 m   | 12.1 m  |
| 26 pass | 10.7 m   | 9.5 m   |
| 35 pass | 7.8 m    | 6.9 m   |

### ジョブの作り方

印刷長が3時間を超えるときは、以下のいずれかの対応を行ってください。

- RIPでネストやステップ&リピートを行った結果3時間以上になっているときは、ネストは3時間以内の複数のジョブに分割したり、ステップ&リピートは配置領域サイズを上記表以内の印刷長に設定したりします。
- 単一のジョブで3時間を超えているときは、クリップ機能などで画像を分割して複数のジョブにします。
- 単一のジョブで3時間を超えているが画像を分割したくないときは、より高速な印字モードで印刷して3時間以内に印刷を終えるようにします。

## システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。(2020年6月現在)

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。

### Epson Edge Dashboard

#### ！重要

Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターは、以下の条件でお使いください。  
条件が守られないと正しくプリンターの監視が行えません。

- 休止状態（ハイバネーション）機能を設定しないでください。
- スリープ状態にならないようにスリープ機能を無効に設定してください。

#### Windows

|                          |  |
|--------------------------|--|
| オペレーティングシステム             | Windows 7 SP1 / Windows 7 x64 SP1<br>Windows 8 / Windows 8 x64<br>Windows 8.1 / Windows 8.1 x64<br>Windows 10 / Windows 10 x64 |
| CPU                      | マルチコアプロセッサ（3.0GHz 以上を推奨）   |
| 空きメモリー領域                 | 4GB 以上   |
| ハードディスク<br>（インストール時空き容量） | 2GB 以上   |
| ディスプレイ解像度                | 1280×1024 以上   |
| 通信インターフェイス               | High Speed USB<br>Ethernet 1000Base-T  |
| ブラウザ                     | Internet Explorer 11<br>Microsoft Edge   |

#### Mac

|                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| オペレーティングシステム             | Mac OS X 10.7 Lion 以降                 |
| CPU                      | マルチコアプロセッサ（3.0GHz 以上を推奨）              |
| 空きメモリー領域                 | 4GB 以上                                |
| ハードディスク<br>（インストール時空き容量） | 2GB 以上                                |
| ディスプレイ解像度                | 1280×1024 以上                          |
| 通信インターフェイス               | High Speed USB<br>Ethernet 1000Base-T |
| ブラウザ                     | Safari 6 以降                           |

**Linux**

|                          |   |
|--------------------------|---|
| ディストリビューション              | Debian 8.6 64bit (MATE desktop environment only) 以降 |
| CPU                      | マルチコアプロセッサ (3.0GHz 以上を推奨)                           |
| 空きメモリー領域                 | 4GB 以上  |
| ハードディスク<br>(インストール時空き容量) | 2GB 以上  |
| ディスプレイ解像度                | 1280×1024 以上  |
| 通信インターフェイス               | High Speed USB<br>Ethernet 1000Base-T               |
| ブラウザ                     | Mozilla Firefox 45 (ESR) 以降                         |

**Epson Edge Print**

|                          |   |
|--------------------------|---|
| オペレーティングシステム             | Windows 7 x64 SP1<br>Windows 8 x64<br>Windows 8.1 x64<br>Windows 10 x64 |
| CPU                      | マルチコアプロセッサ (3.0GHz 以上を推奨)   |
| 空きメモリー領域                 | 8GB 以上  |
| ハードディスク<br>(インストール時空き容量) | 50GB 以上   |
| ディスプレイ解像度                | 1280×1024 以上  |
| 通信インターフェイス               | High Speed USB<br>Ethernet 100Base-TX/1000Base-T                        |

本ソフトウェアをインストールするコンピューターは、Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトも合わせてお使いになることを考慮し、なるべくスペックの高いものをお使いになることをお勧めします。  
また、本ソフトウェアで取り扱うデータは通常でも数 GB、高品質の長尺印刷を行う際は数十 GB になることがあります。  
このため、ハードディスクの空き容量にも十分余裕があるコンピューターをお勧めします。

**Web Config**

対応ブラウザは以下の通りです。

Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Firefox\*、Chrome\*、Safari\*

\*最新バージョンを使用してください。

## 仕様一覧

| 本体仕様       |   |
|------------|---|
| 印字方式       | オンデマンドインクジェット方式                                 |
| ノズル配列      |   |
| LM, LC 以外: | 400 ノズル×2×2 列×5 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、オブティマイザー) |
| LM, LC :   | 400 ノズル×2×1 列×2 色 (ライトマゼンタ、ライトシアン)              |
| 解像度 (最大)   | 1200×2400 dpi<br>600×600×8 層 HT での印刷解像度         |
| コントロールコード  | ESC/P ラスター (コマンドは非公開)                           |
| メディア送り方式   | フリクションフィード方式                                    |
| 内蔵メモリー     | 2 GB  |
| インターフェイス   | High Speed USB<br>100Base-TX/1000Base-T*1       |
| 定格電圧 (入力)  |   |
| #1、#2      | AC200-240 V                                     |
| インクユニット*2  | AC100-240 V                                     |
| 定格電圧 (出力)  |   |
| #3         | AC200-240 V                                     |
| 定格周波数 (入力) |   |
| #1、#2      | 50/60 Hz  |
| インクユニット    | 50/60 Hz  |
| 定格周波数 (出力) |   |
| #3         | 50/60 Hz  |
| 定格電流 (入力)  |   |
| #1、#2      | 16 A  |
| インクユニット    | 1.4 A   |
| 定格電流 (出力)  |   |
| #3         | 1.4 A   |
| 消費電力       |   |

| 本体仕様                                   |   |
|--|---|
| SC-R5050<br>(#1、#2 の合計)                | 動作時: 約 4.6 kW<br>スリープモード時: 約 44.0 W<br>電源オフ時: 約 1.0 W |
| SC-R5050L<br>(#1、#2 の合計)               | 動作時: 約 4.6 kW<br>スリープモード時: 約 46.0 W<br>電源オフ時: 約 1.1 W |
| 温度・湿度 (結露しないこと)                        |   |
| 推奨                                     | 20~25°C、40~60 %                                       |
| 動作時                                    | 15~30°C、20~80 %                                       |
| 保管時 (開梱前)                              | -20~60°C (60°C の場合 120 時間以内、40°C の場合 1 カ月以内)、5~85 %   |
| 保管時*3 (開梱後)                            | -20~40°C (40°C の場合 1 カ月以内)、5~85 %                     |
| 温度・湿度範囲<br>グレー部: 動作時<br>斜線部: 推奨<br>(%) |   |
| 外形サイズ                                  |   |
| 収納時                                    | 幅 2949×奥行 1045×高さ 1605 mm                             |
| 最大時                                    | 幅 2949×奥行 1045×高さ 1774 mm                             |
| 質量*4                                   |   |
| SC-R5050                               | 約 425 kg  |
| SC-R5050L                              | 約 449 kg  |

\*1 シールドツイストペアケーブル (カテゴリー 5e 以上) を使用してください。

\*2 インクユニットの電源コードは、必ずプリンターの電源コネクター (#3) に接続してください。

\*3 本機を-15℃以下の環境で保管するときは、必ず設定メニューの[長期保管]を実施してください。実施せずに保管すると、プリントヘッドが故障するおそれがあります。

📖 オンラインマニュアルから『ユーザーズガイド』をご覧ください。

\*4 インクパック含まず

| インク仕様    |  |
|----------|--|
| 形態       | 専用インクパック   |
| インク種類    | レジンインク   |
| 有効期限     | 個装箱、インクパックに記載された期限   |
| 印刷品質保証期限 | 1年（インクユニットに装着した日から）  |
| 保管温度     | 梱包保管時：<br>-20～40℃（-20℃の場合4日以内、40℃の場合1カ月以内）<br>インクユニット装着時：<br>-20～40℃（-20℃の場合4日以内、40℃の場合1カ月以内）<br>梱包輸送時：<br>-20～60℃（-20℃の場合4日以内、40℃の場合1カ月以内、60℃の場合3日以内） |
| 外形寸法     | 幅 180×長さ 410×高さ 30mm   |
| 容量       | 1500ml   |

**！重要**

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

## サービス・サポートのご案内

---

### 各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[🔗 「お問い合わせ先」 92 ページ](#)

---

### 保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず『オンラインマニュアル』をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

### 補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

### 保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター

[🔗 「お問い合わせ先」 92 ページ](#)

## 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

| 種類       |      | 概要   | 修理代金と支払方法 |  |
|----------|------|--|-----------|--|
|          |      |  | 保証期間内     | 保証期間外                                      |
| 年間保守契約   | 出張修理 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。</li> <li>• 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。</li> <li>• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</li> </ul> | 無償        | 年間一定の保守料金                                  |
| スポット出張修理 |      | お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。   | 無償        | 有償<br>（出張料+技術料+部品代）<br>修理完了後、その都度お支払いください。 |

\* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

### ！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくこととなります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

## エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうかかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 – スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 – トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 – エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 – エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

# お問い合わせ先

## ●エプソンのウェブサイト [epson.jp](http://epson.jp)

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

## ●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

**050-3155-8690**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

## ●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

**050-3155-8380**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。  
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

## ● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

[myepson.jp/](http://myepson.jp/)

▶ カンタンな質問に答えて  
会員登録。

## ●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
最新の情報はエプソンのウェブサイト([epson.jp/support](http://epson.jp/support))にてご確認ください。

**エプソン販売株式会社** 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

**セイコーエプソン株式会社** 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業(捺染) 2018.04

## 製品に関する諸注意と適合規格

### 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

### 本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

### 本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

### 液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

### プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

### 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

### 著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

### 電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### **瞬時電圧低下**

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

### **電源高調波**

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。